



つくば市 公共施設に関する市民アンケート 結果報告書

平成 28 年8月
つくば市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 実施目的	3
2. 調査方法及び期間	3
3. 回収の結果	3
4. 報告書を見る際の留意事項	4
5. 回答者の属性	4
第2章 調査の結果	7
1. サービスの利用状況について	8
2. サービスの提供主体について	33
3. サービスの満足度について	34
4. サービスの提供場所について	41
5. 公共施設に関する今後の取組について	42
6. 自由意見	52
巻末資料（調査票）	55

第1章 調査の概要

1. 実施目的

本調査は、つくば市が保有する公共施設や公共施設のサービスについて、市民の意向を把握するため実施しました。本調査の結果は、「つくば市公共施設等資産マネジメント計画」の策定や、今後の公共施設マネジメントの取組の参考とします。

2. 調査方法及び期間

①調査対象者

18 歳以上の市民 2,400 人を、住民基本台帳から層化無作為抽出法により抽出しました。

②調査方法

郵送による調査票の配布及び回収を行いました。

③調査期間

平成 28 年 6 月 14 日（火）～平成 28 年 6 月 28 日（火）

3. 回収の結果

居住地区	配布数		回収数		回収率 (b/a) (%)
	実数(a)	構成比	実数(b)	構成比	
	(票)	(%)	(票)	(%)	
筑波地区	208	8.6	67	8.4	32.2
大穂地区	167	7.0	52	6.5	31.1
豊里地区	181	7.5	60	7.7	33.1
桜地区	233	9.7	70	8.8	30.0
谷田部地区	375	15.6	117	14.7	31.2
荃崎地区	254	10.6	85	10.7	33.5
研究学園地区	726	30.3	250	31.5	34.4
TX 沿線地区	256	10.7	93	11.7	36.3
合計	2,400	100.0	794	100.0	33.1

4. 報告書を見る際の留意事項

①集計方法

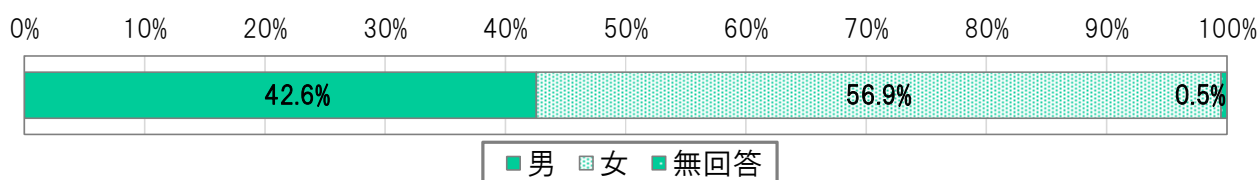
本調査では、回答全体（n=794）をまとめて集計した「単純集計」のほか、性別や年齢層などの属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。なお、属性によっては、回答数が少ないため、本調査の結果がつくば市における当該属性の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。また、各設問の集計には、無回答の数を除いています。

②数値の端数処理方法

回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。

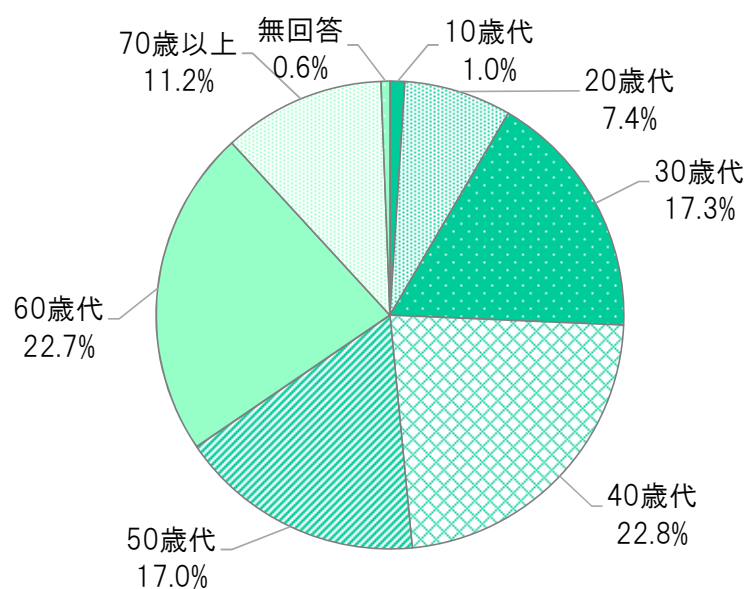
5. 回答者の属性

①性別



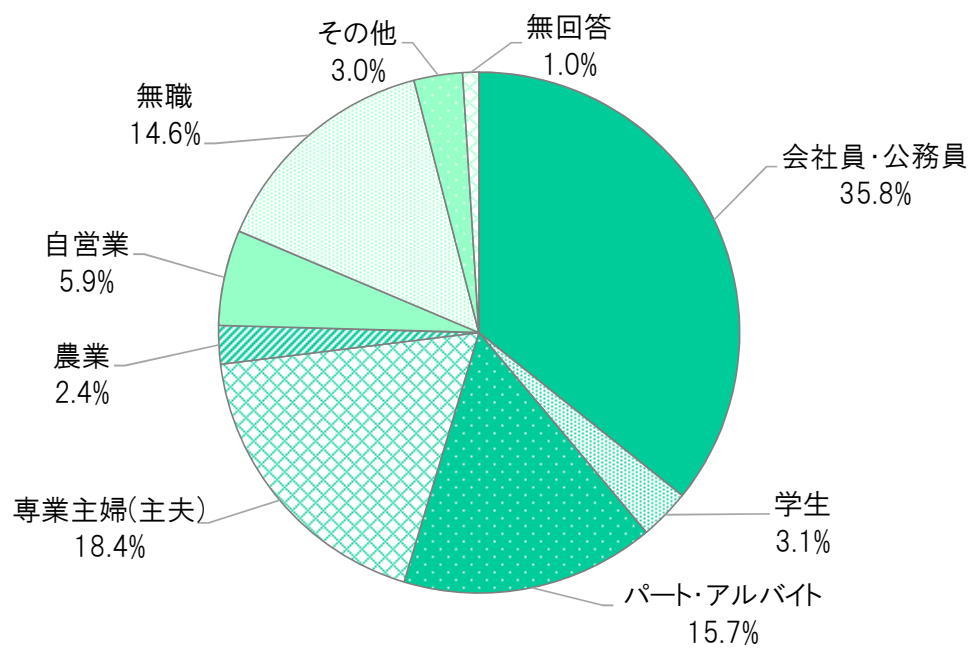
(n=794)

②年齢



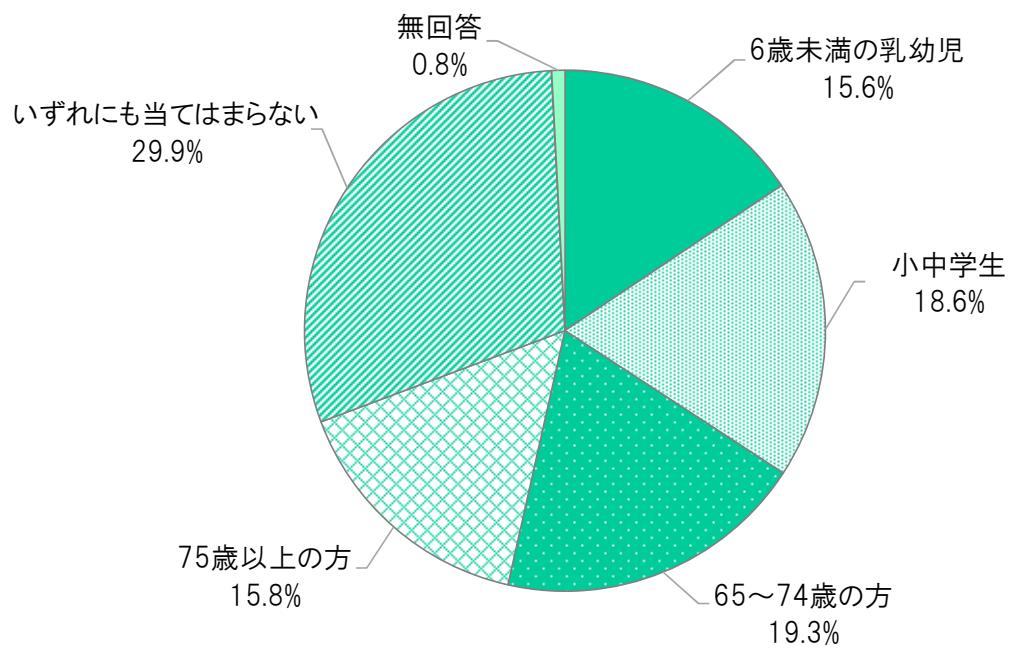
(n=794)

③職業



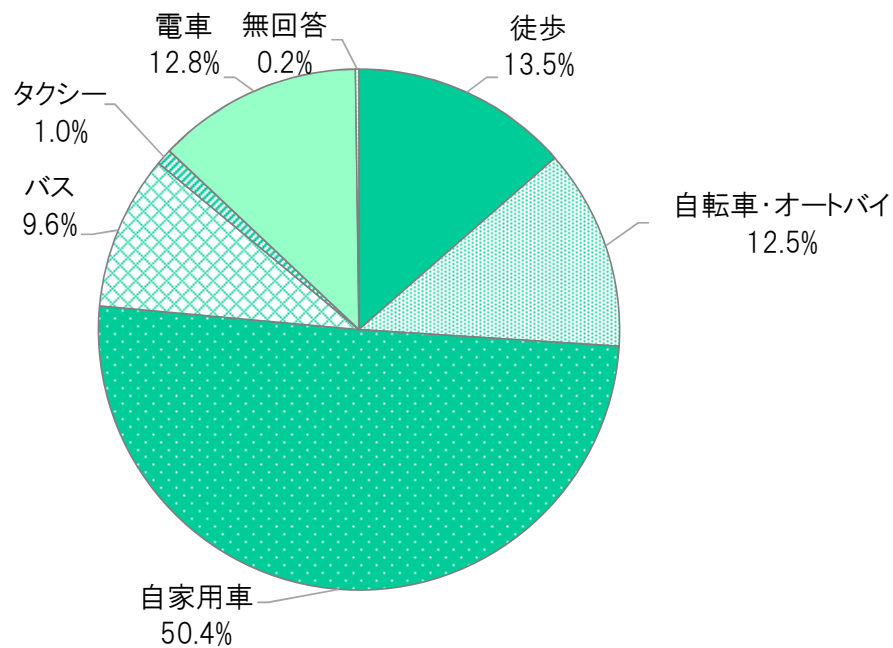
(n=794)

④世帯を構成している人の年齢層（複数回答）



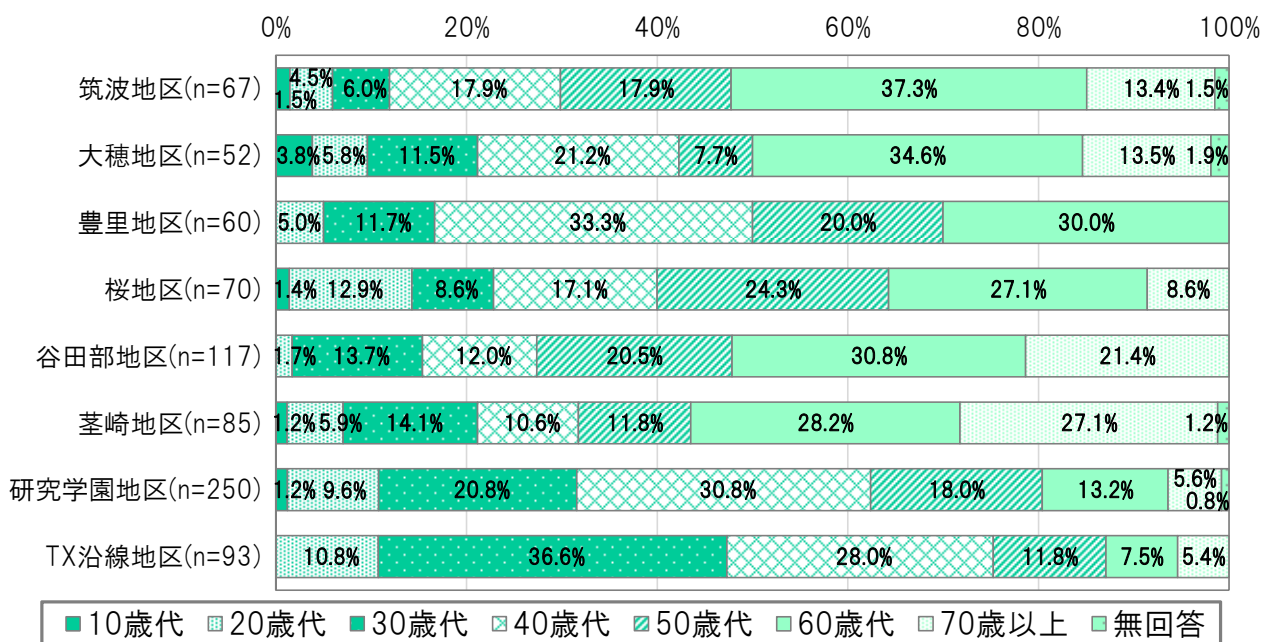
(n=968)

⑤よく利用する交通手段（複数回答）



(n=1, 410)

⑥居住地区別年齢層



第2章 調査の結果

1. サービスの利用状況について

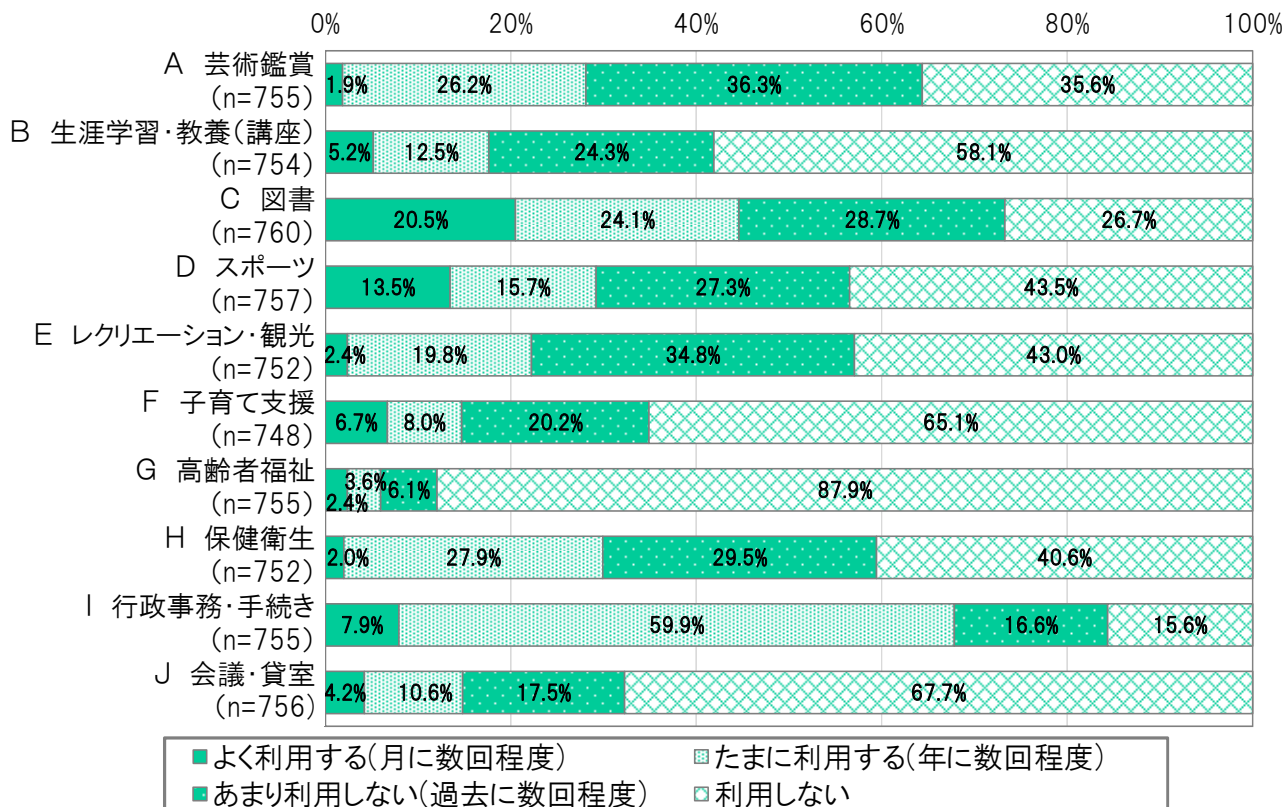
問1 つくば市の公共施設で提供されているサービスの利用頻度を教えてください。また、利用しない場合はその理由について、最も当てはまるものをA～Jのサービス分野ごとに教えてください。

【利用頻度】

<集計結果>

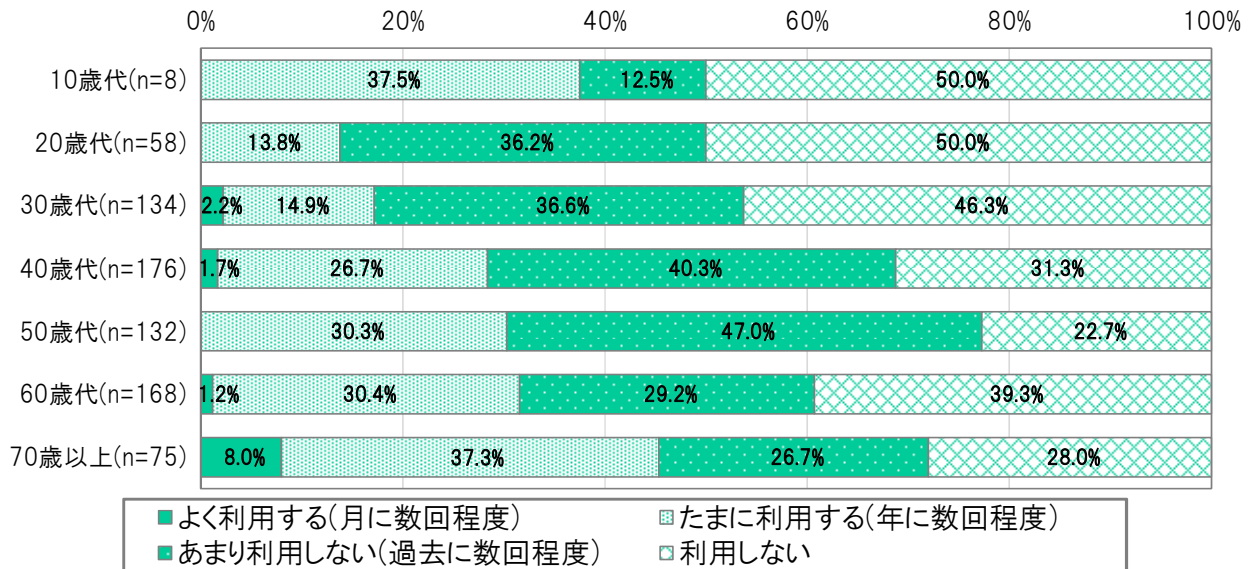
《全体集計》

- 「よく利用する（月に数回程度）」の割合が最も高いサービス分野は「C 図書」で、20.5%となっています。
- 「たまに利用する（年に数回程度）」の割合が最も高いサービス分野は「I 行政事務・手続き」で、59.9%となっています。
- 「あまり利用しない（過去に数回程度）」の割合が高いサービス分野は「A 芸術鑑賞」と「E レクリエーション・観光」で、それぞれ3割以上となっています。
- 「利用しない」の割合が最も高いサービス分野は「G 高齢者福祉」で、87.9%となっています。
- 「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」を合わせた割合が最も高いサービス分野は「I 行政事務・手続き」で、67.8%となっています。
- 「あまり利用しない（過去に数回程度）」と「利用しない」を合わせた割合が最も高いサービス分野は「G 高齢者福祉」で、94.0%となっています。

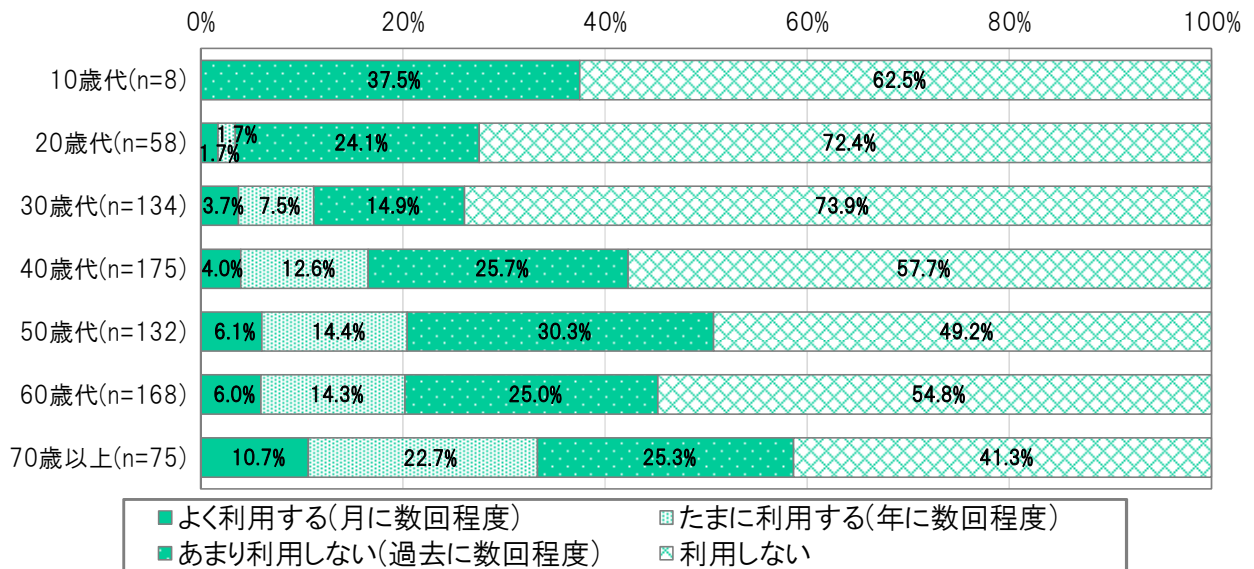


《年齢別集計》

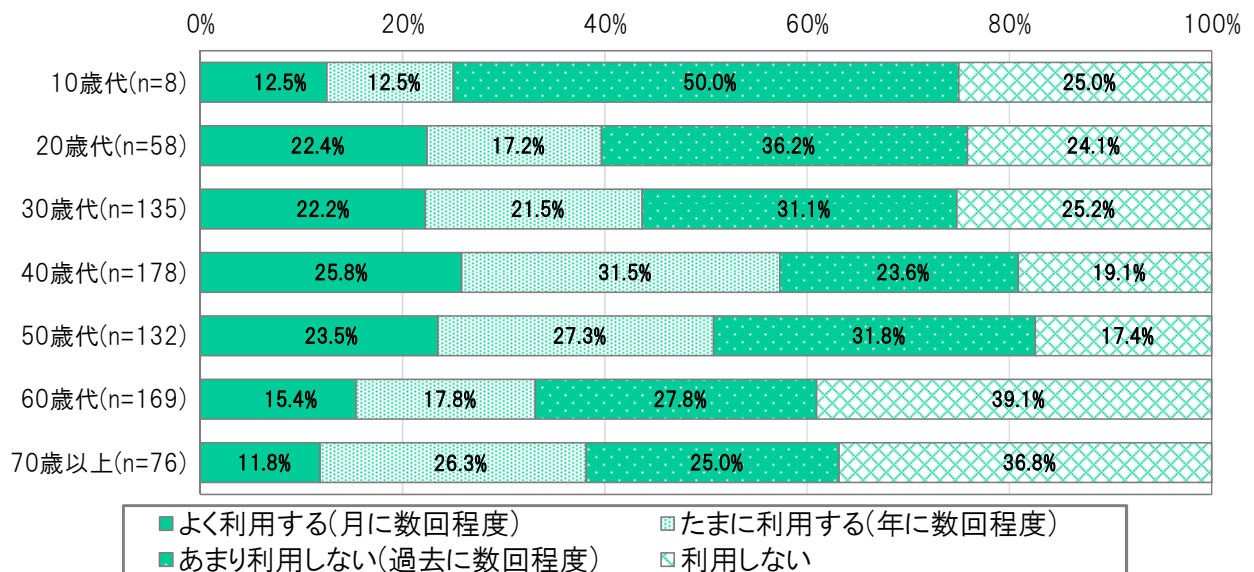
A 芸術鑑賞



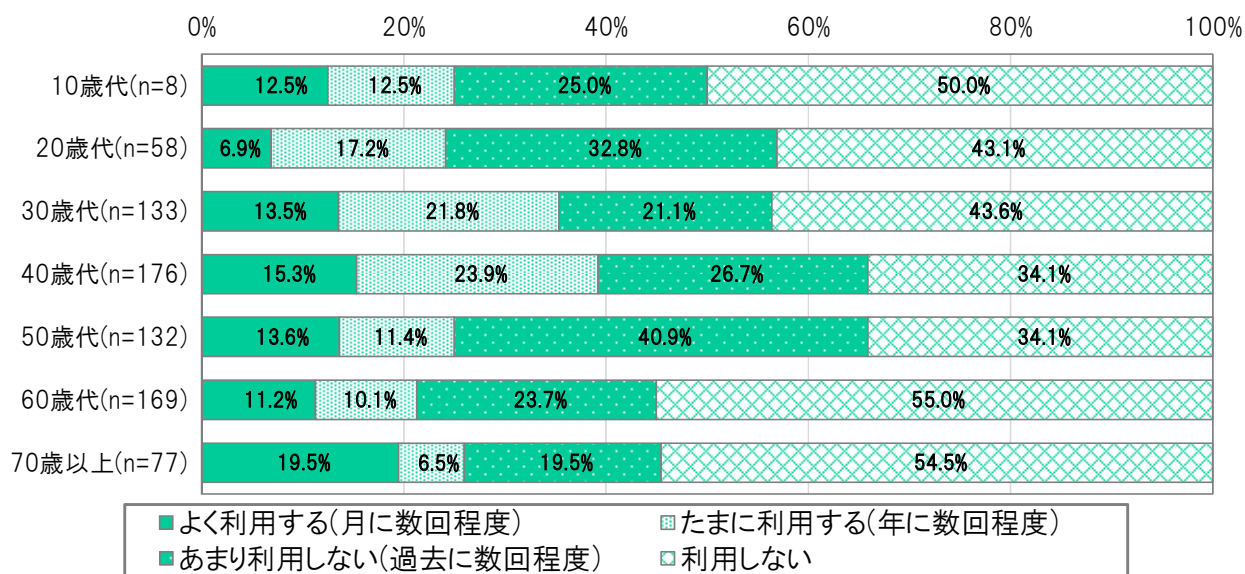
B 生涯学習・教養（講座）



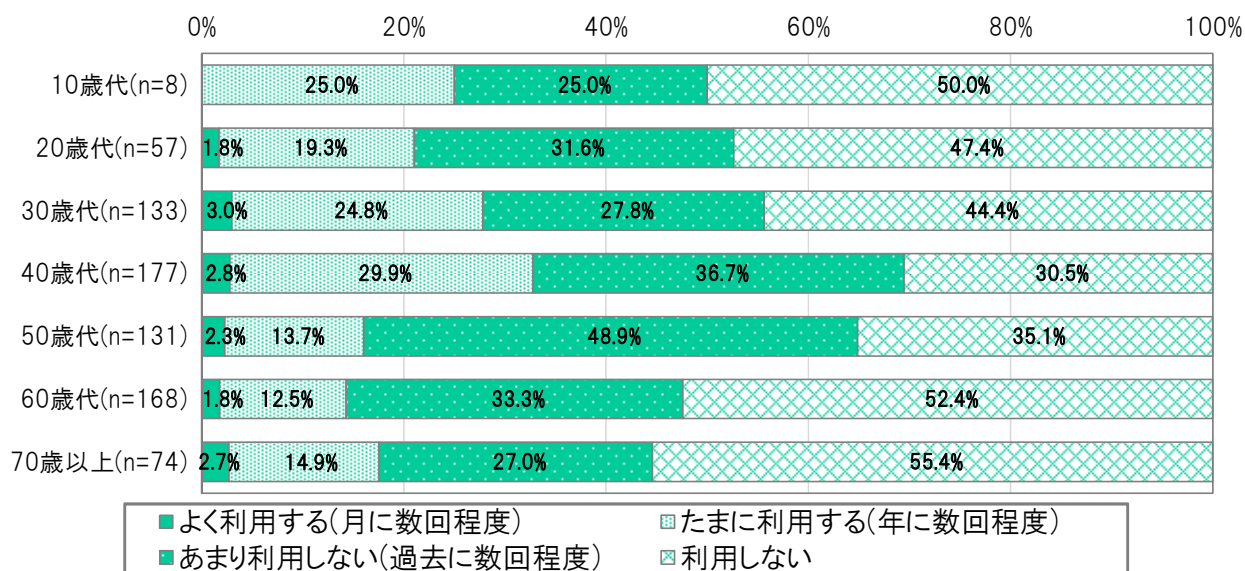
C 図書



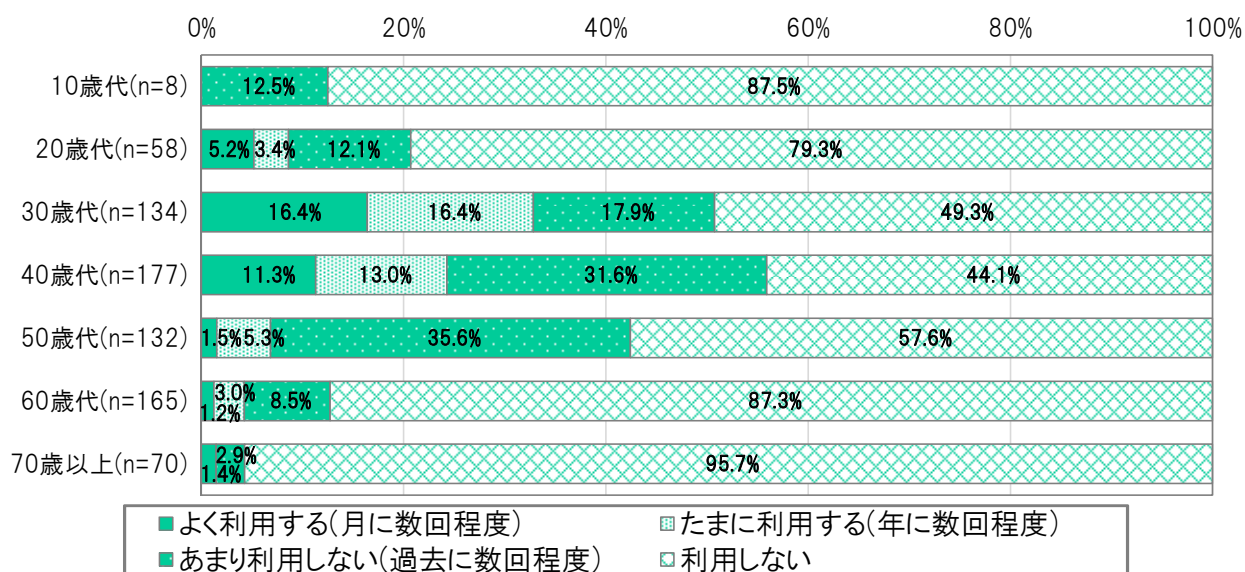
D スポーツ



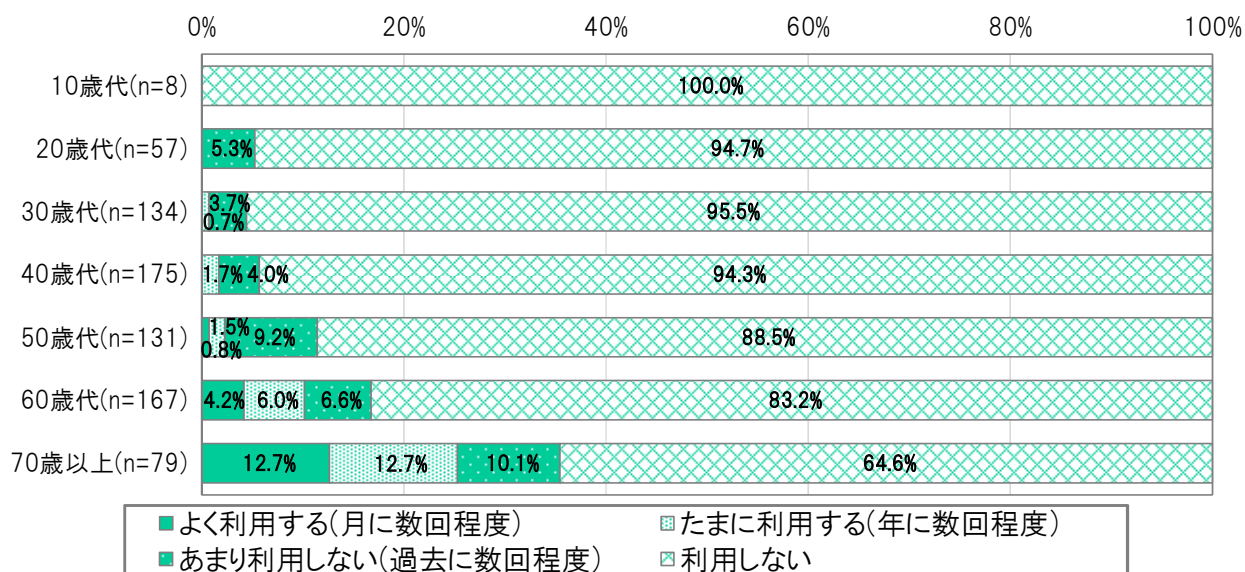
E レクリエーション・観光



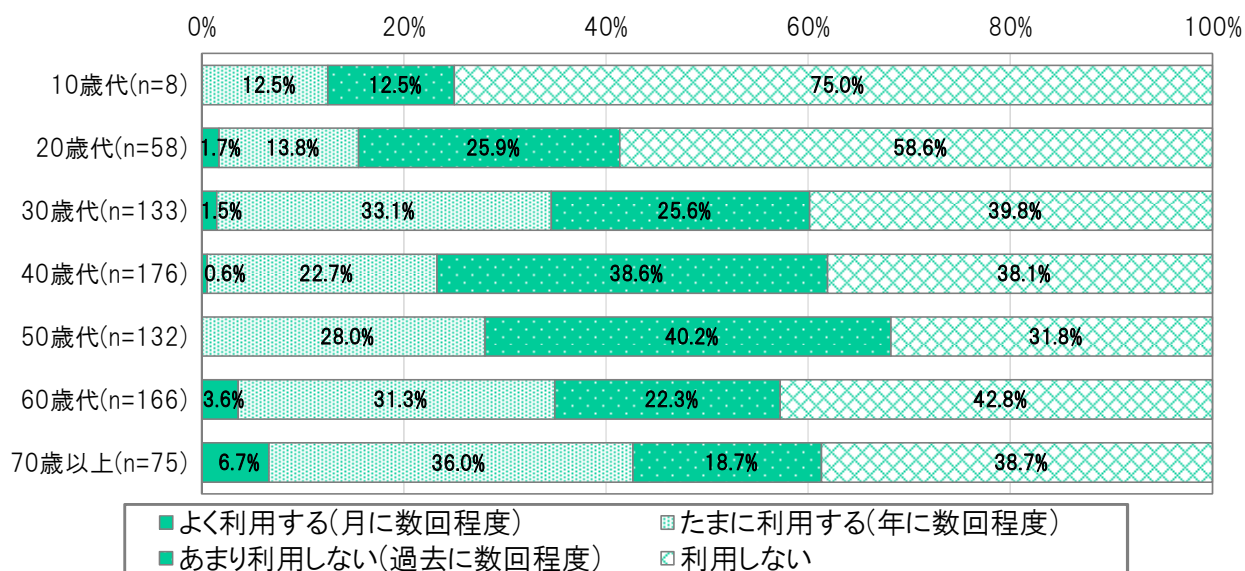
F 子育て支援



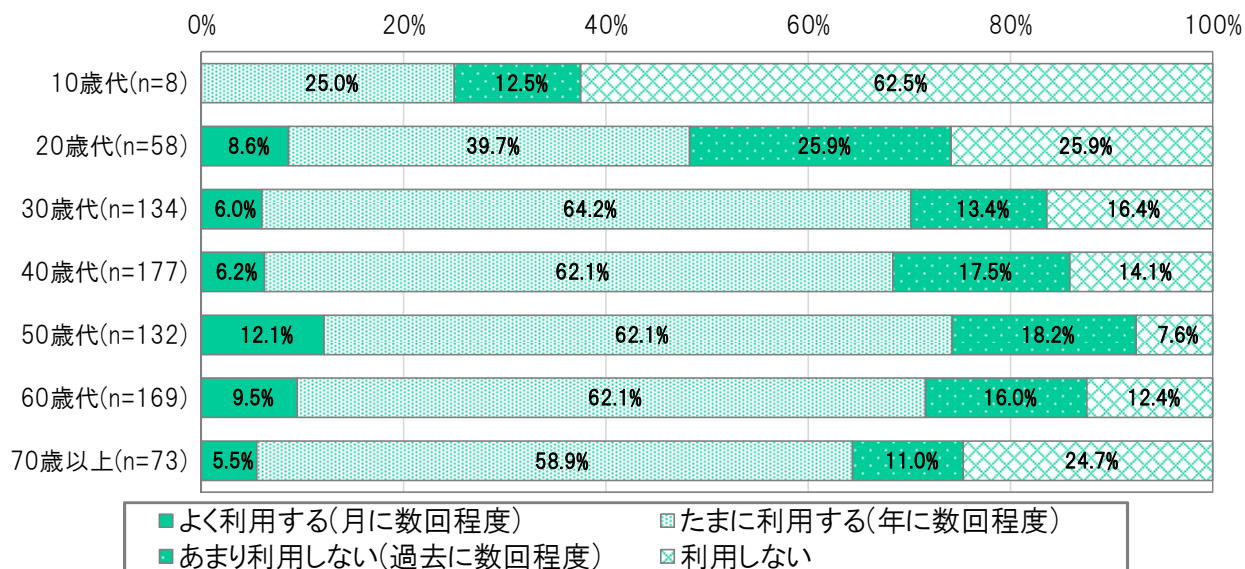
G 高齢者福祉



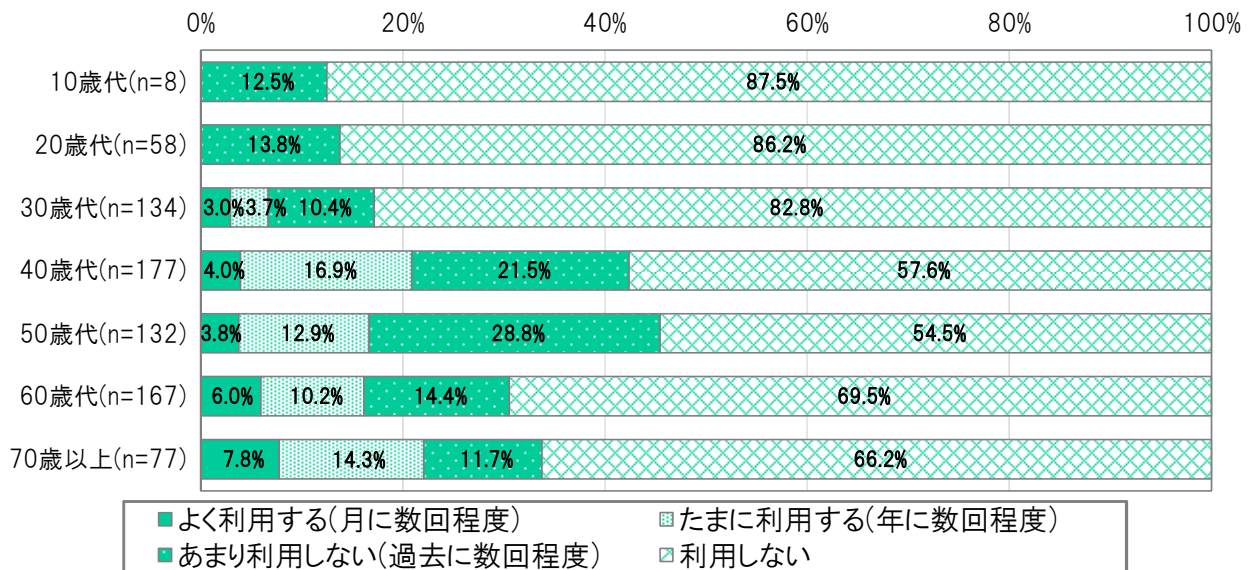
H 保健衛生



I 行政事務・手続き



J 会議・貸室

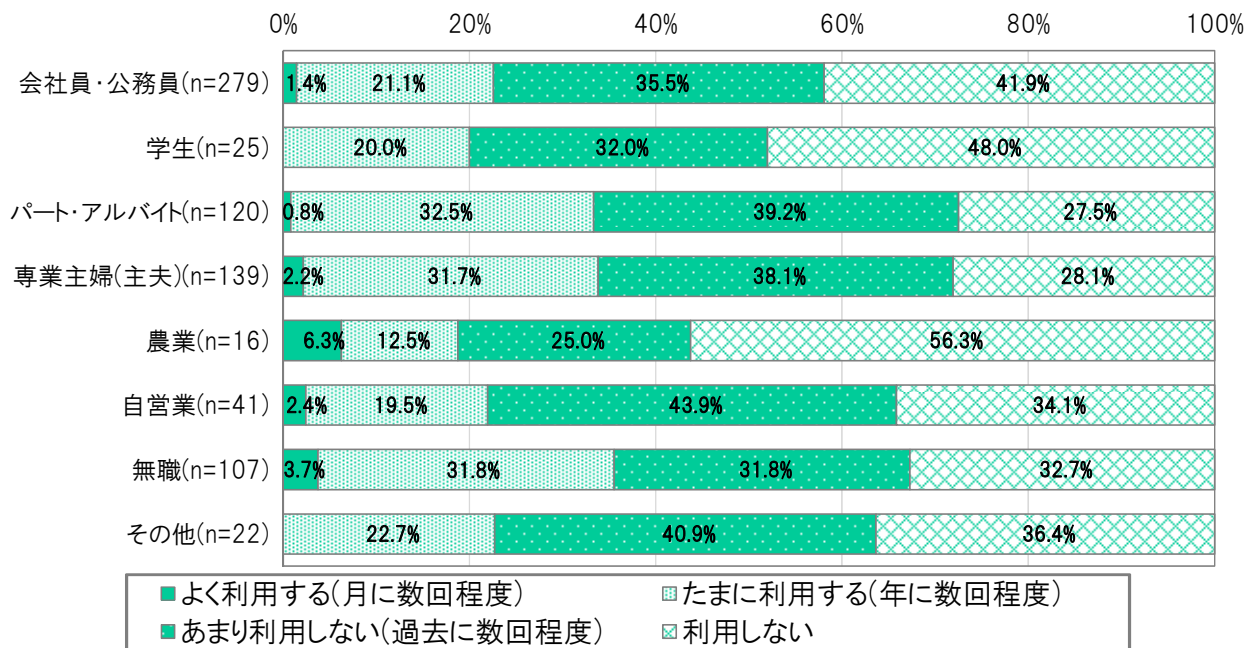


＜結果の傾向＞

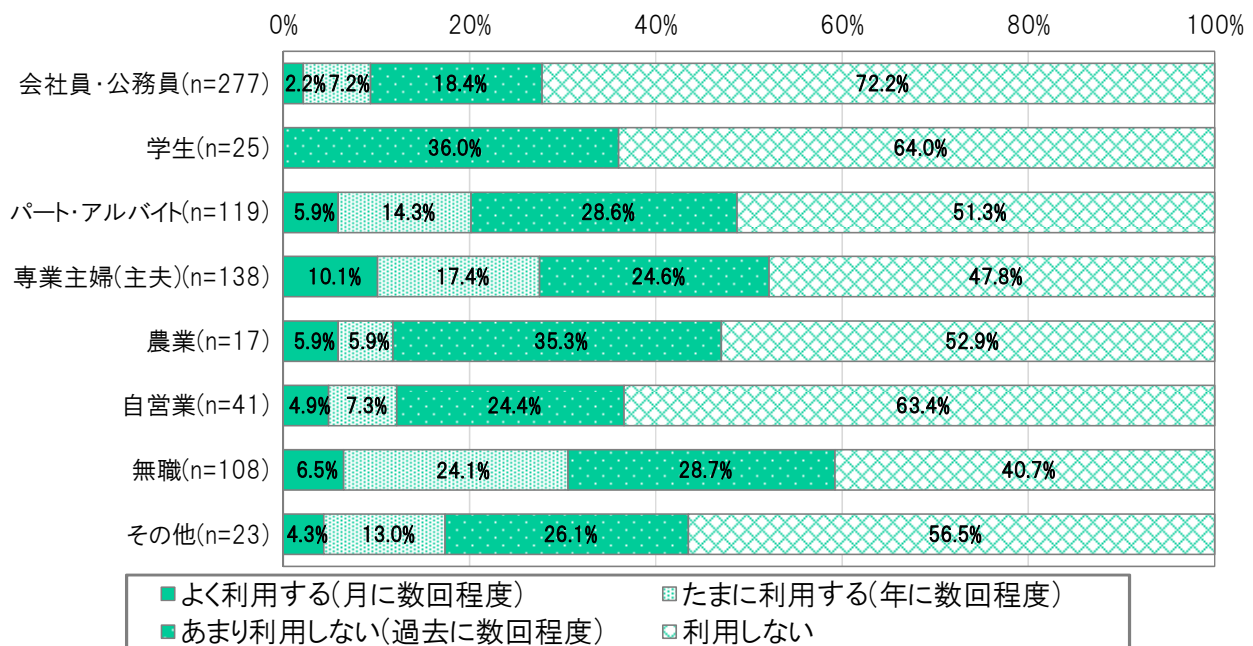
- ◆ 「A 芸術鑑賞」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が70歳以上で約5割となるなど、10歳代を除くと年齢層が上がるにつれて利用頻度が高くなる傾向が見られます。
- ◆ 「B 生涯学習・教養（講座）」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が70歳以上で3割以上となるなど、10歳代を除くと年齢層が上がるにつれて利用頻度が高くなる傾向が見られます。
- ◆ 「C 図書」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、20歳代と30歳代で約4割、40歳代と50歳代で5割以上となっており、他の年齢層と比べて生産年齢層の利用頻度が高いことがわかります。
- ◆ 「E 観光・レクリエーション」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、10～40歳代で2割以上となっており、他の年齢層と比べて10～40歳代の利用頻度が高いことがわかります。
- ◆ 「F 子育て支援」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、30歳代と40歳代で2割以上となっており、他の年齢層と比べて子育て世帯が多い30～40歳代の利用頻度が高いことがわかります。
- ◆ 「G 高齢者福祉」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、70歳以上で約3割となっているが、「利用しない」の割合が70歳以上を除く全年齢層で8割以上、70歳以上でも6割以上となるなど、全体的にあまり利用されていないことがわかります。
- ◆ 「H 保健衛生」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が70歳以上で4割以上となるなど、30歳代から70歳以上にかけて、年齢層が上がるにつれて利用頻度が高くなる傾向が見られます。
- ◆ 「I 行政事務・手続き」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、20歳代で約5割、30歳以上で6割以上となっており、10歳代を除く全年齢層の利用頻度が高いことがわかります。

《職業別集計》

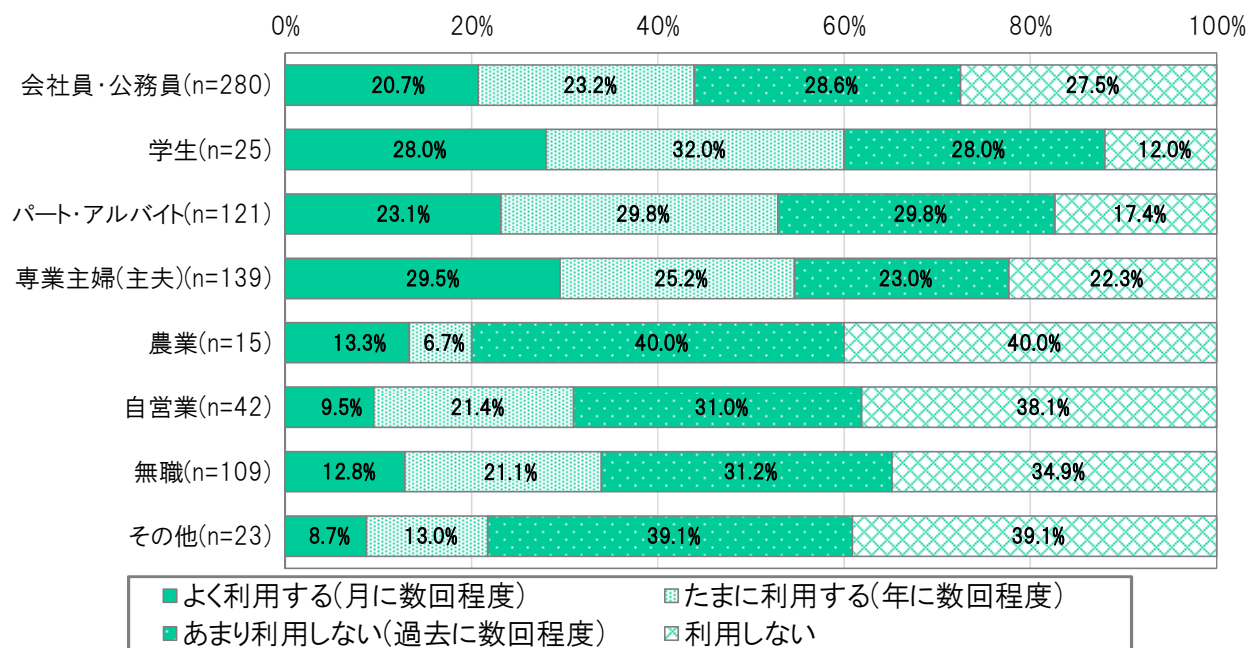
A 芸術鑑賞



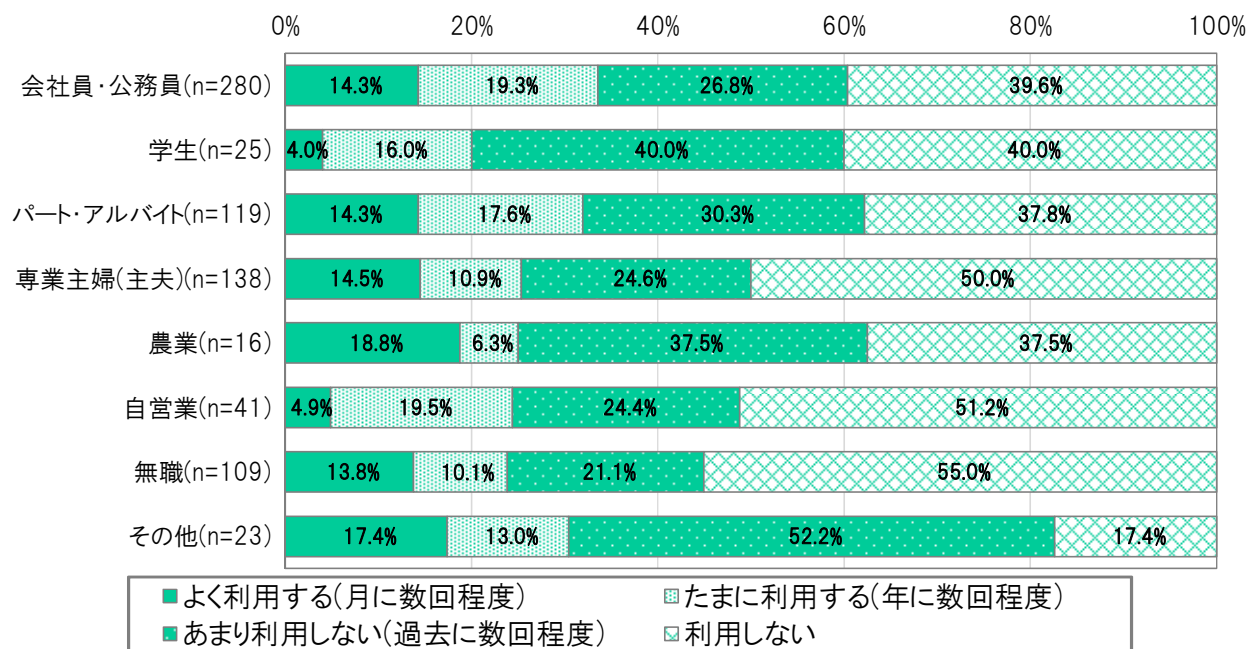
B 生涯学習・教養（講座）



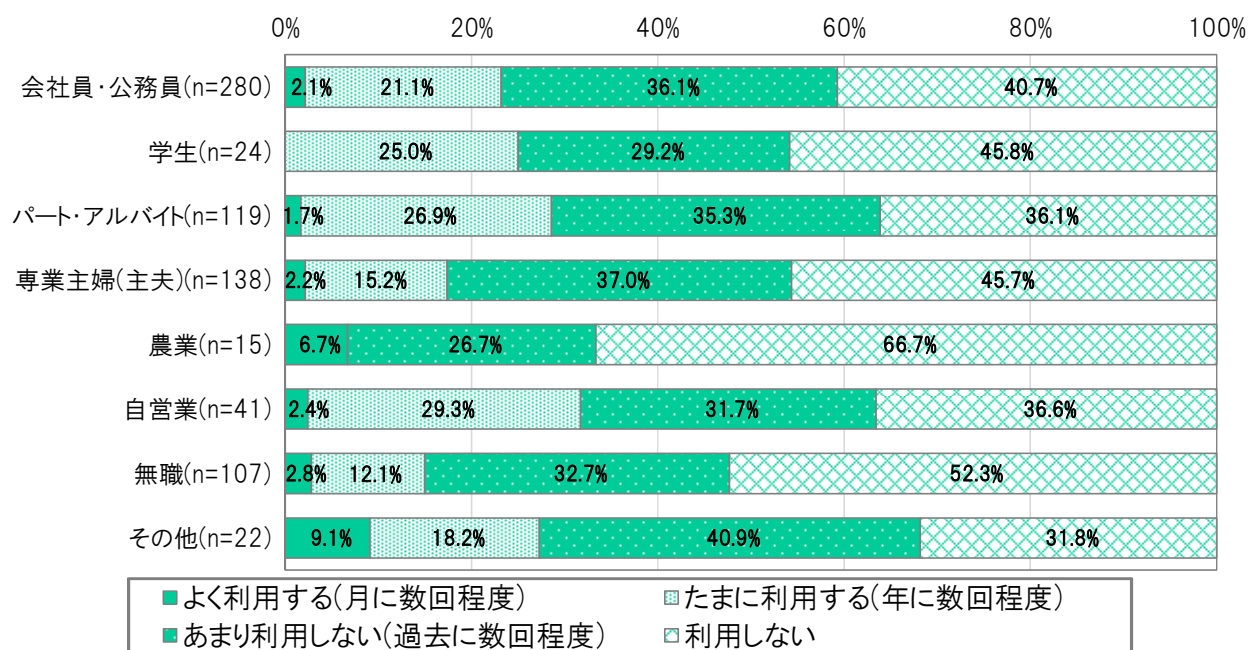
C 図書



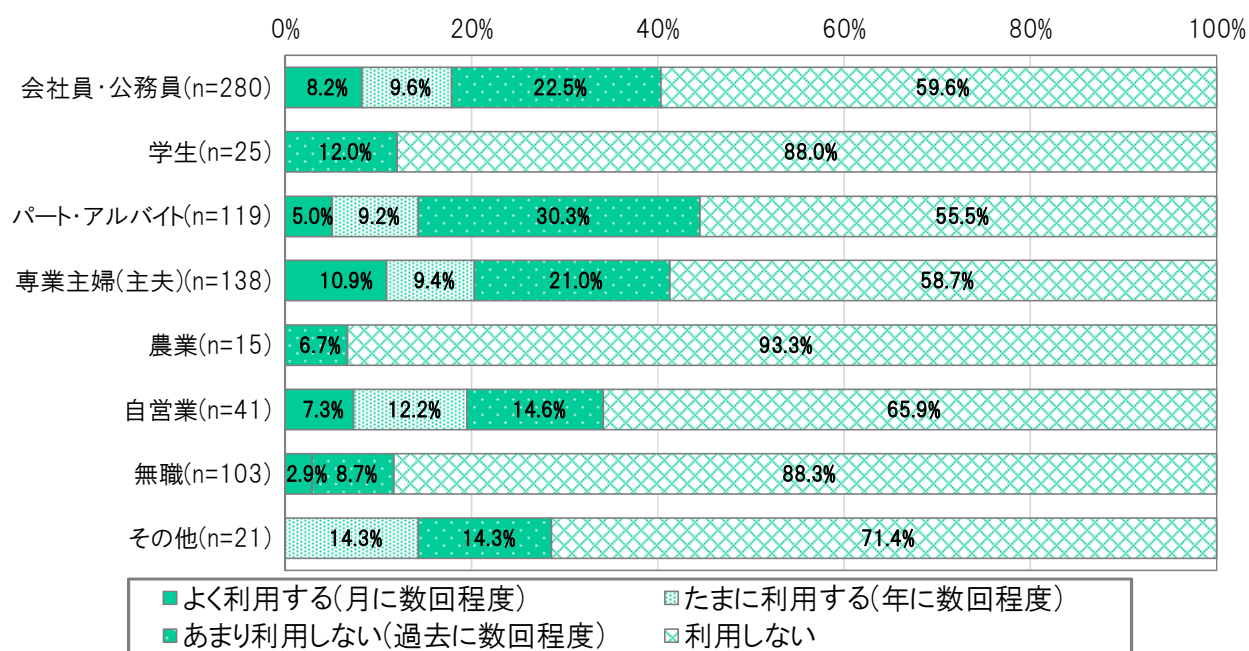
D スポーツ



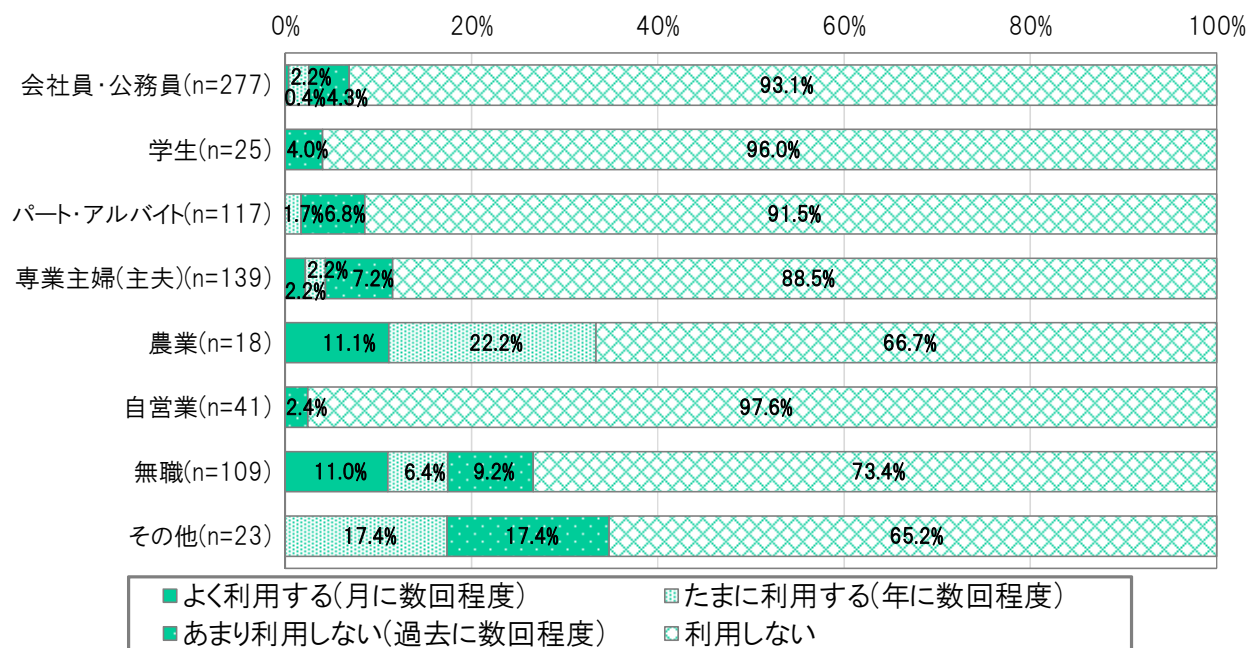
E レクリエーション・観光



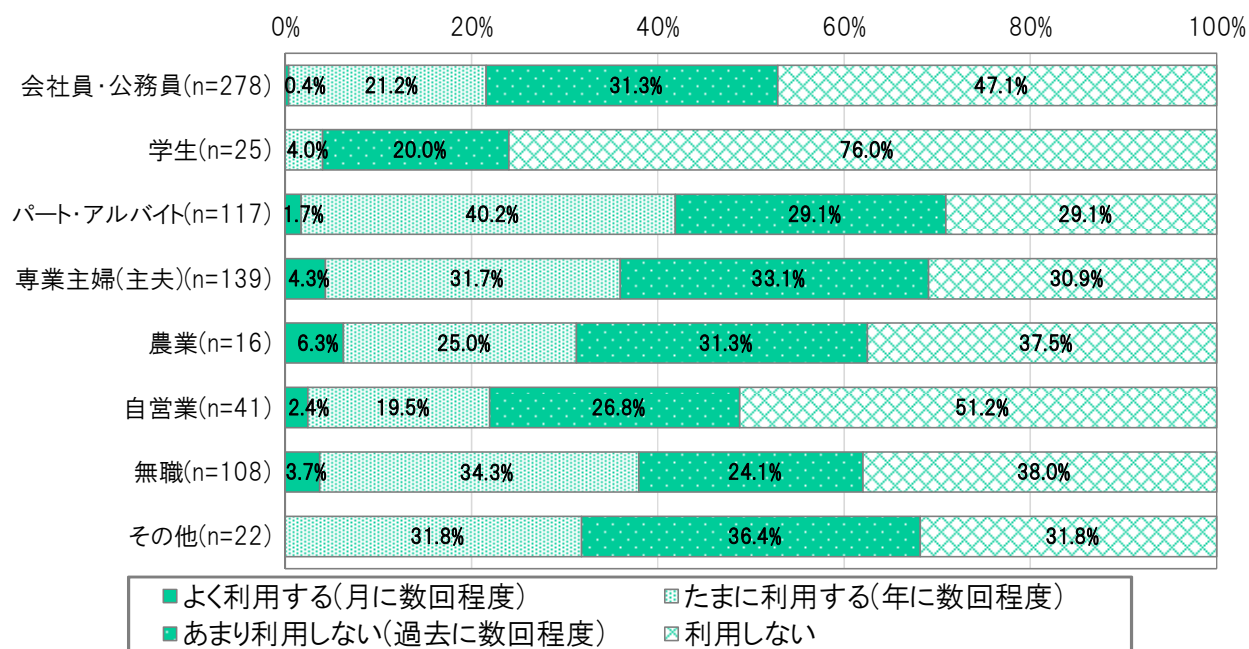
F 子育て支援



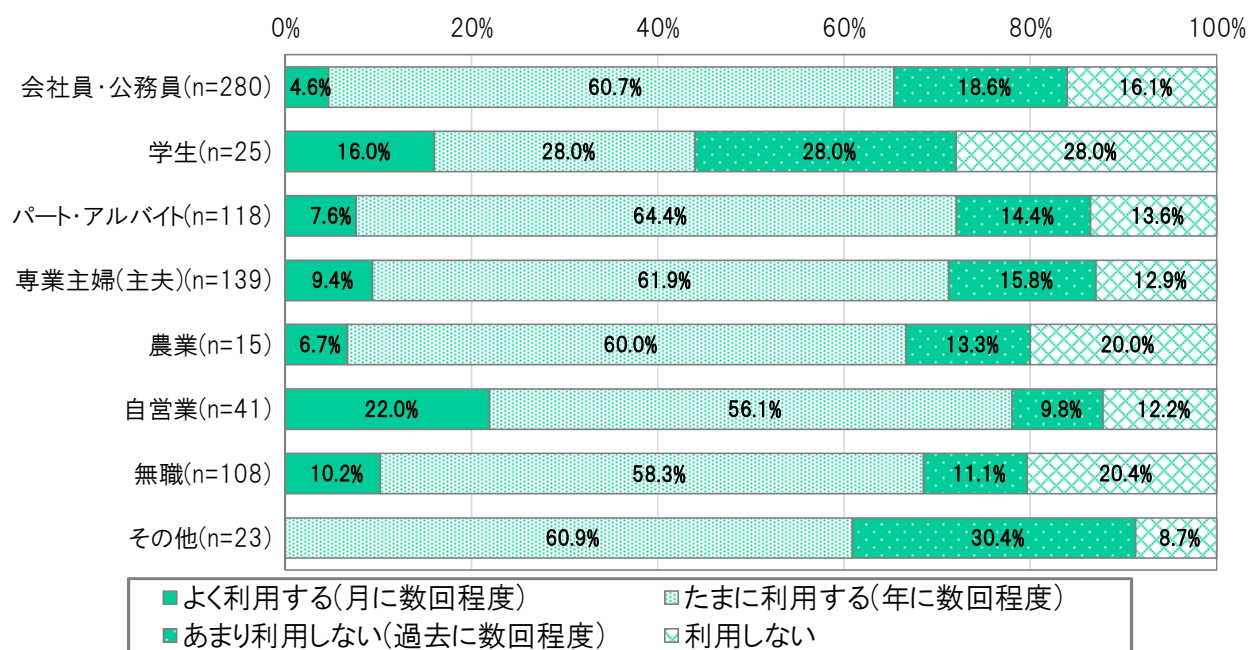
G 高齢者福祉



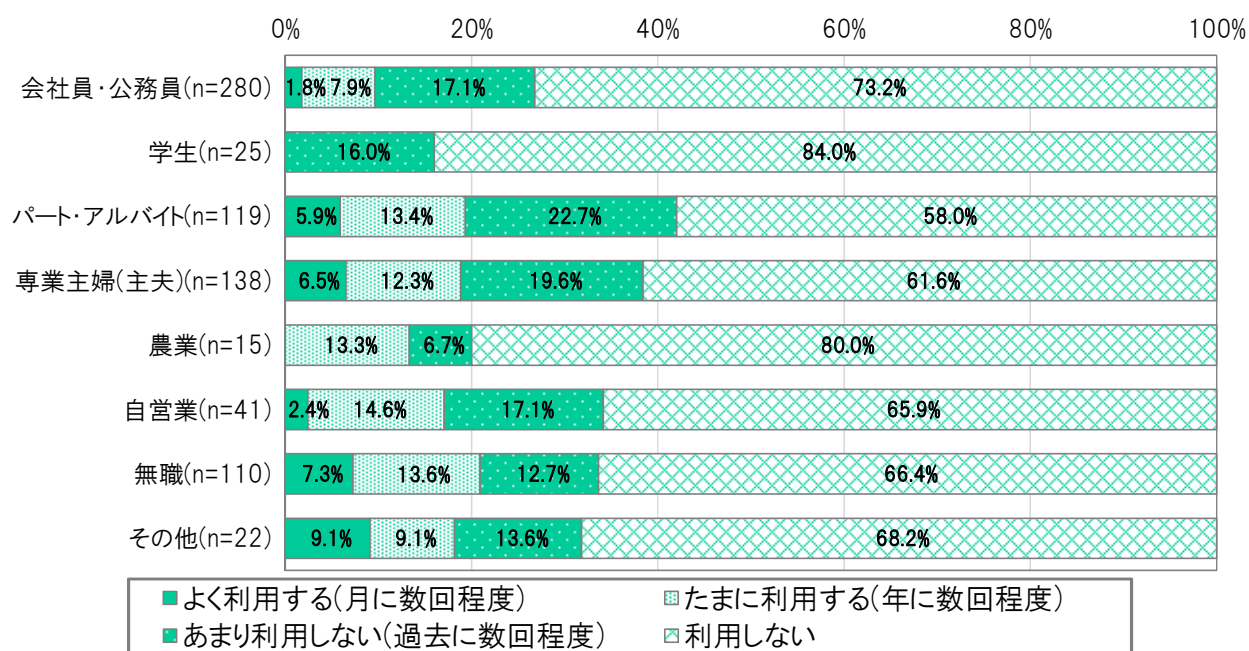
H 保健衛生



I 行政事務・手続き



J 会議・貸室

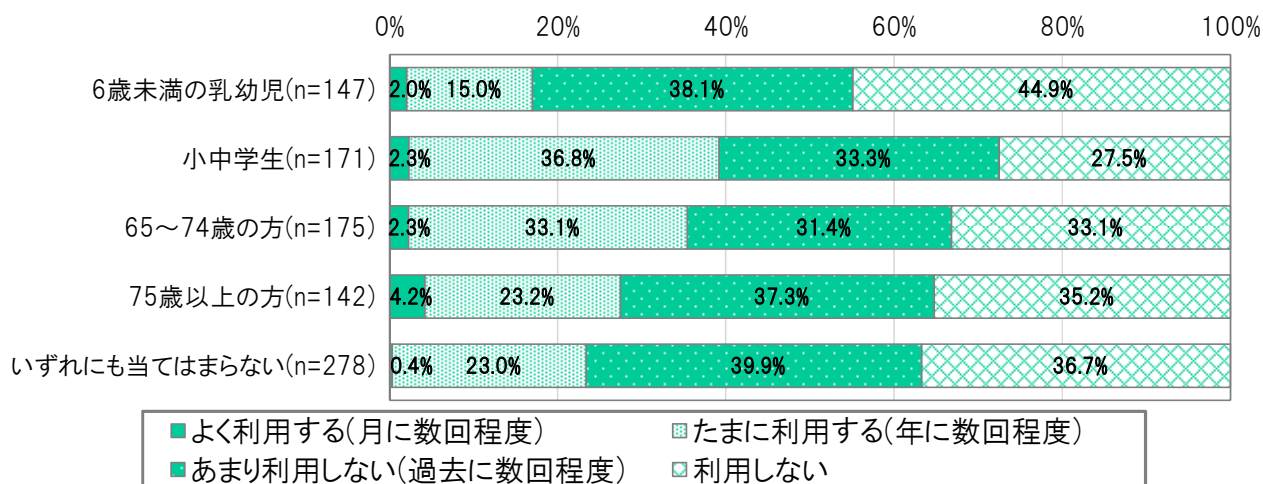


<結果の傾向>

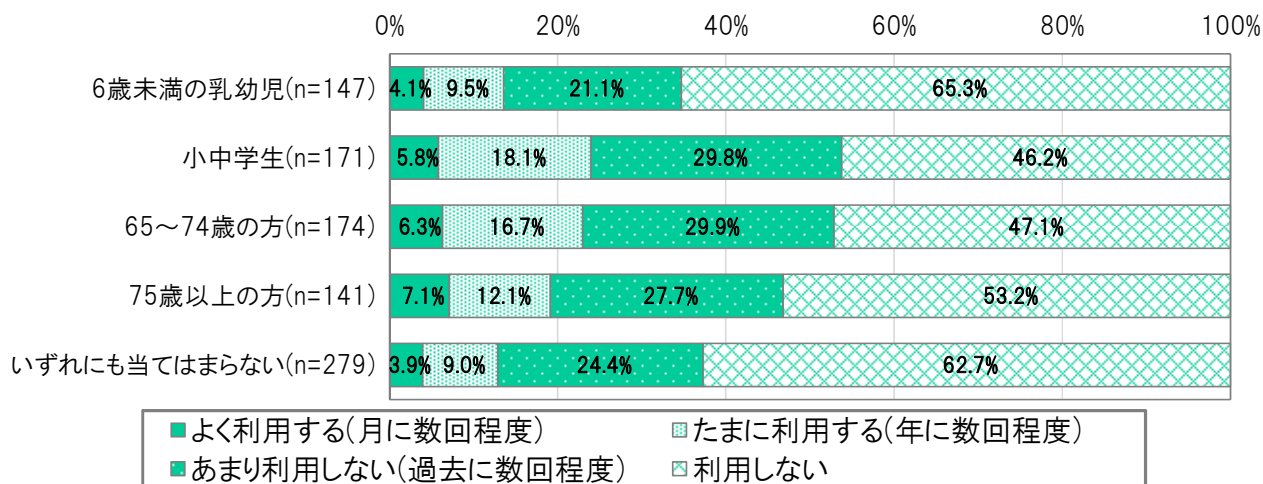
- ◆ 「A 芸術鑑賞」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、パート・アルバイト，専業主婦（主夫），無職で3割以上となっており，フルタイムで働いていない人の利用頻度が高いことがわかります。
- ◆ 「C 図書」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が，学生の60.0%を筆頭にその他と農業を除く全職業で3割以上となっており，全体的に利用頻度が高いことがわかります。
- ◆ 「D スポーツ」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が，全職業で2割以上となっており，職業によって利用頻度に差がないことがわかります。
- ◆ 「I 行政事務・手続き」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が，自営業の78.1%を筆頭に学生を除く全職業で6割以上となっており，全体的に利用頻度が高いことがわかります。

《世帯を構成している人の年齢層別集計》

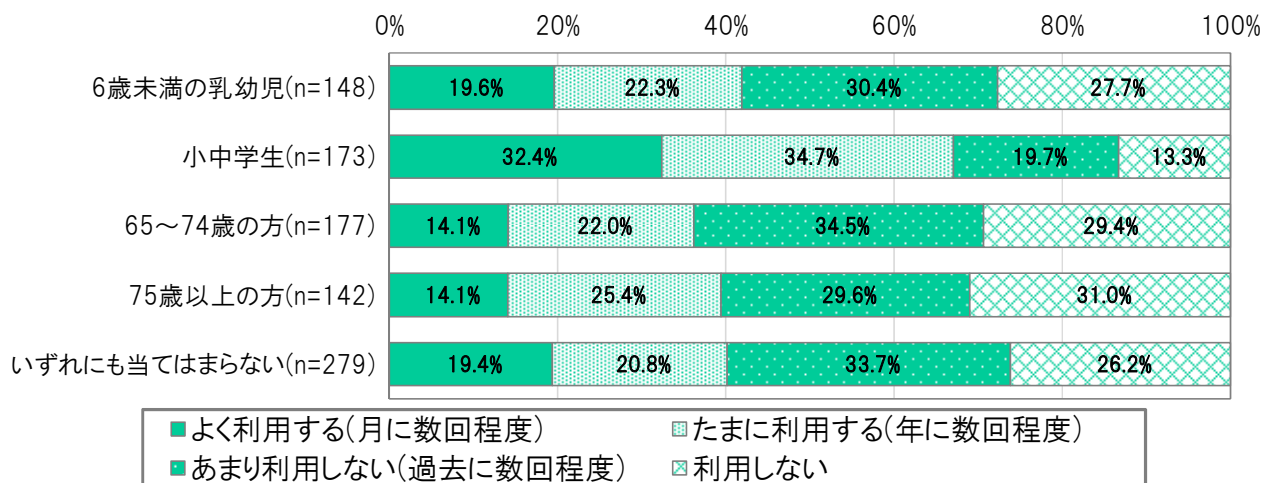
A 芸術鑑賞



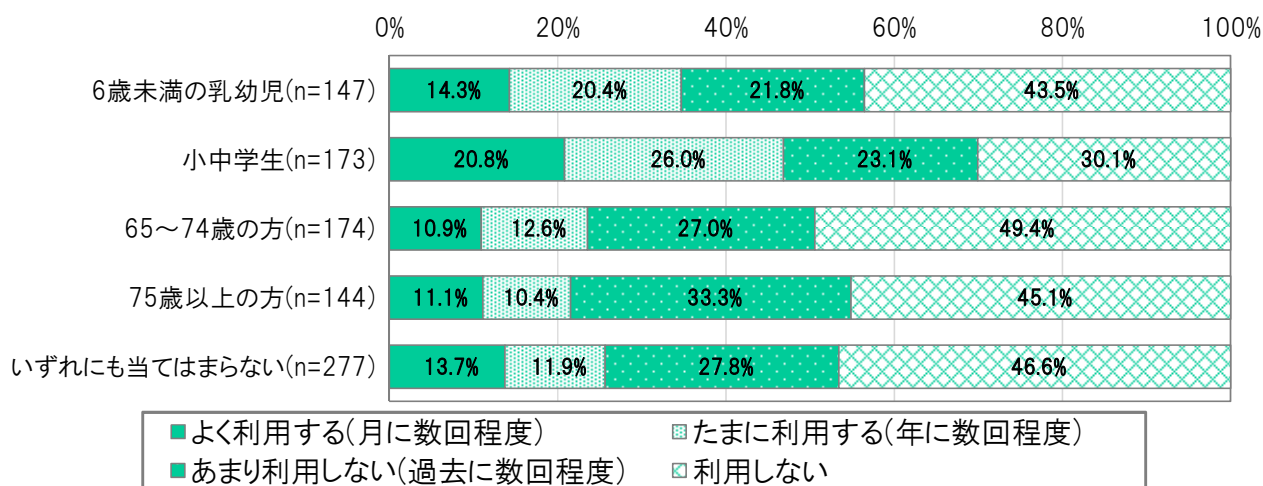
B 生涯学習・教養（講座）



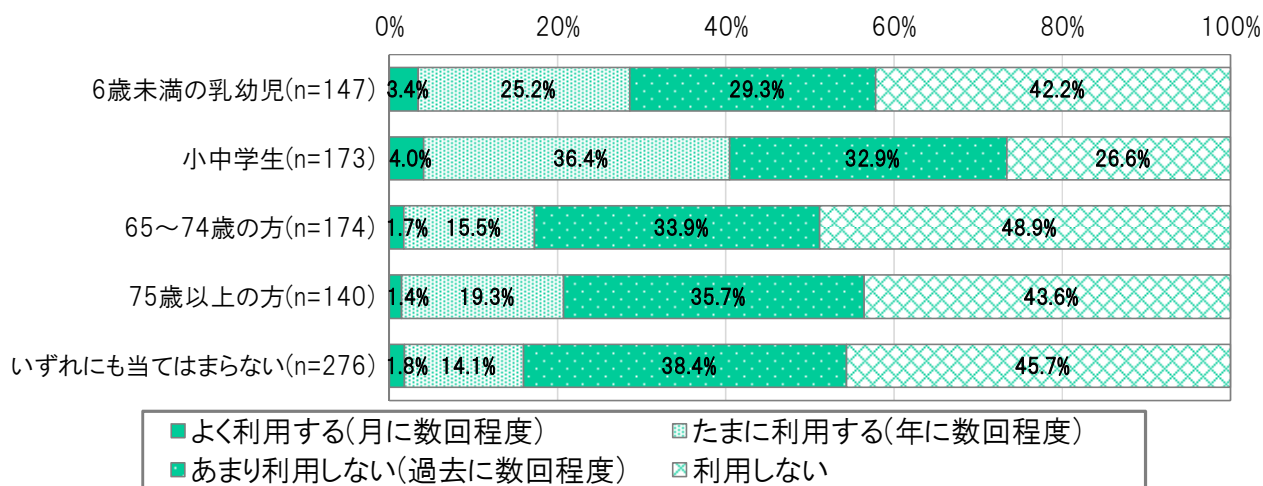
C 図書



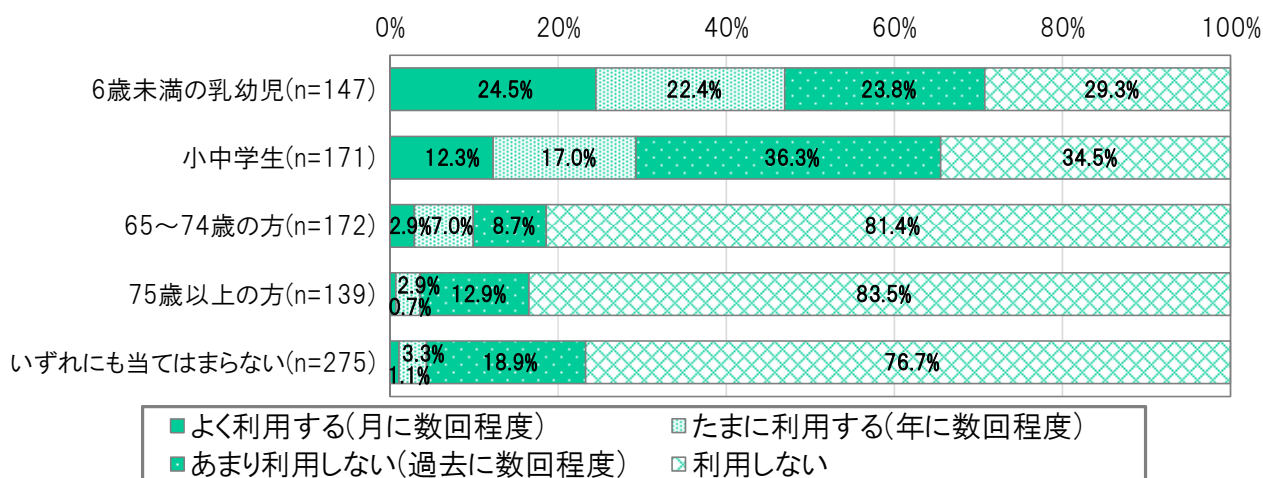
D スポーツ



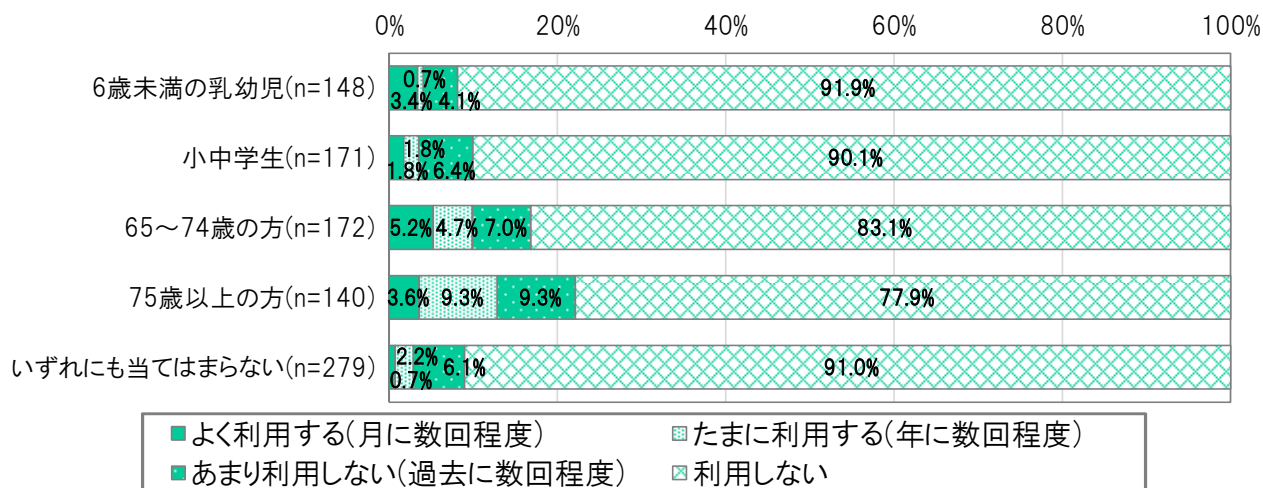
E レクリエーション・観光



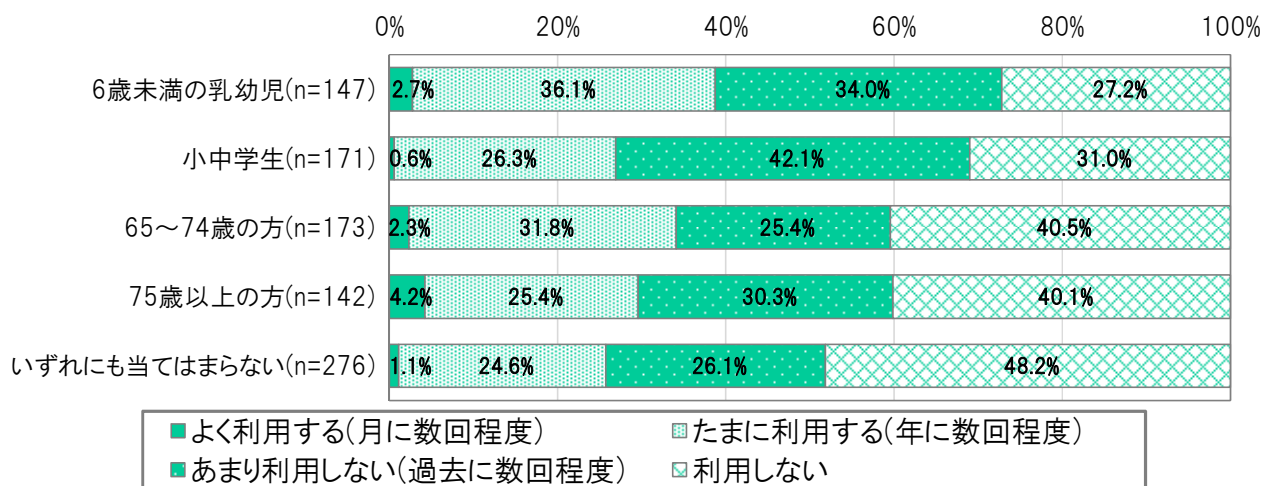
F 子育て支援



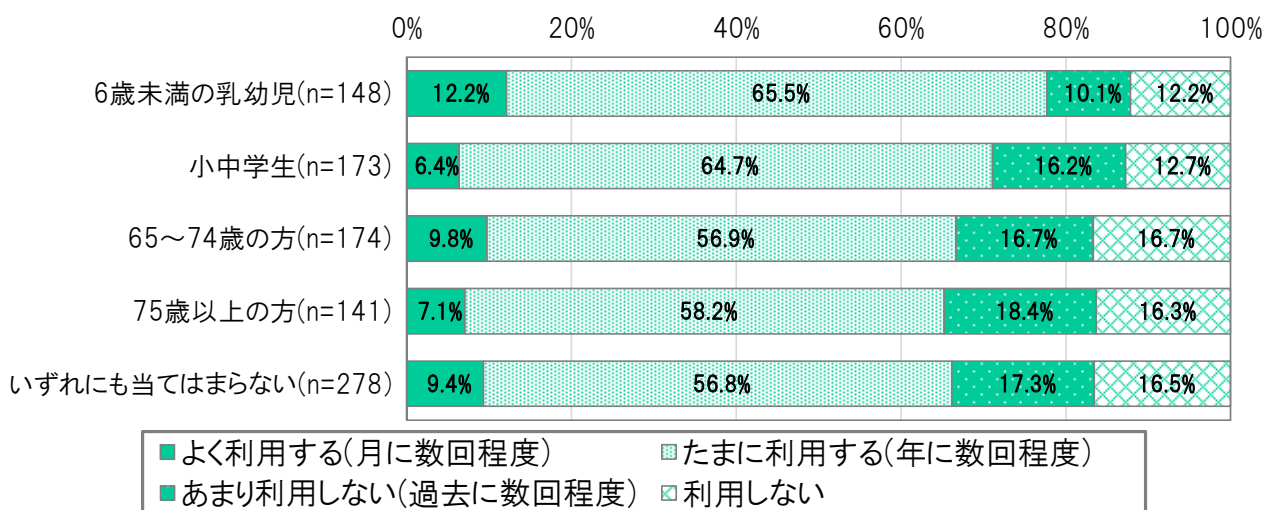
G 高齢者福祉



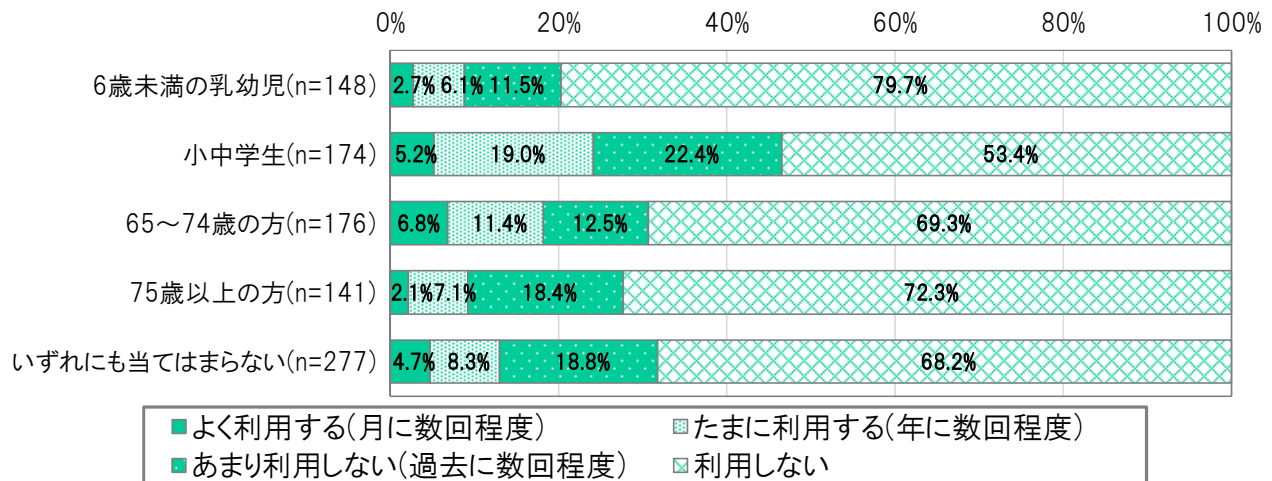
H 保健衛生



I 行政事務・手続き



J 会議・貸室

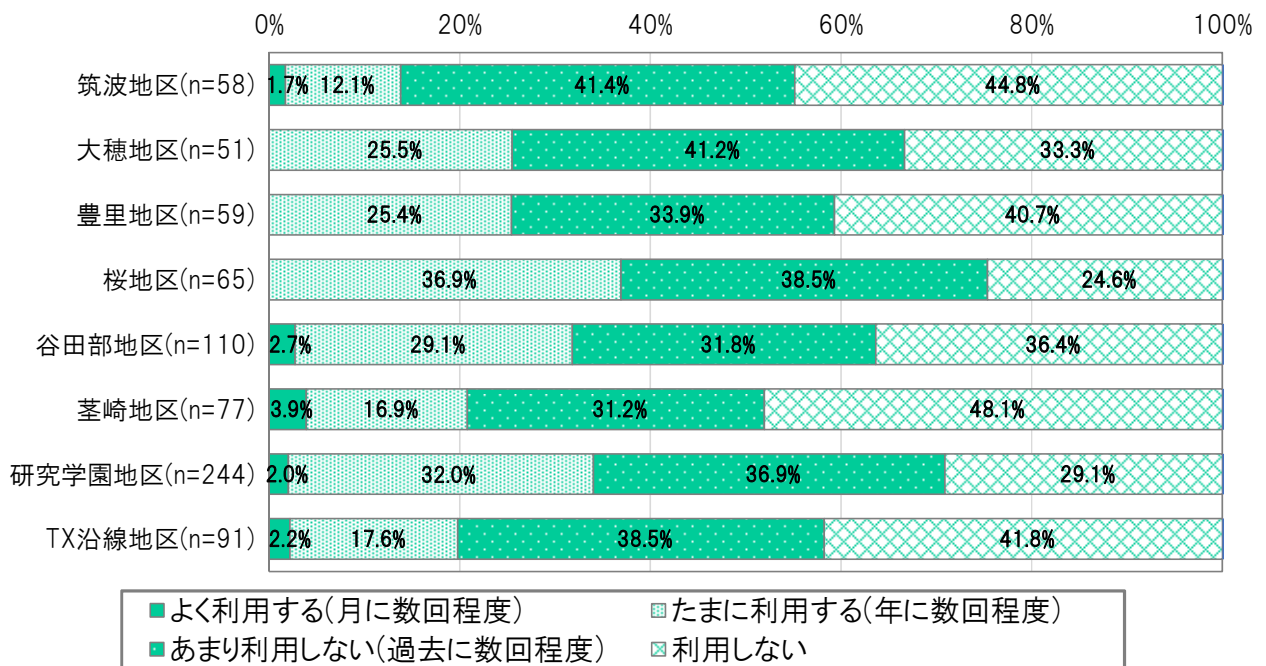


＜結果の傾向＞

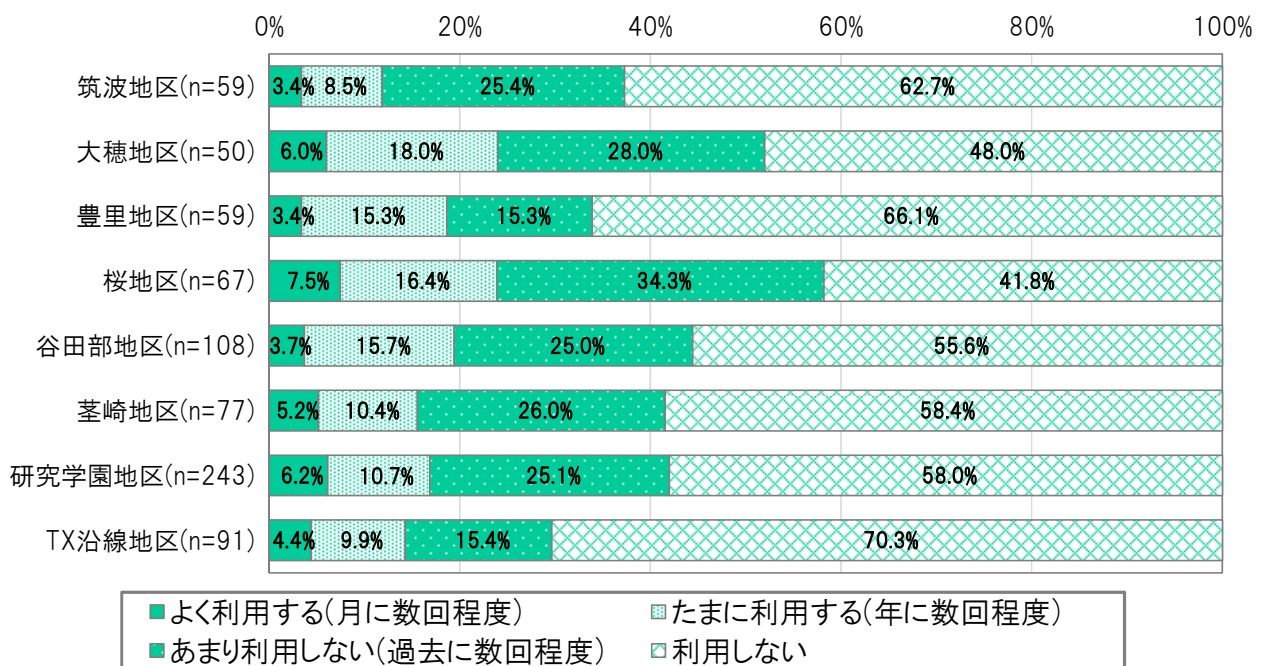
- ◆ 「C 図書」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、小中学生がいる世帯で約7割と、他の世帯よりも利用頻度が高くなっており、小中学生とその保護者の利用が多いことがわかります。
- ◆ 「D スポーツ」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、小中学生がいる世帯で約5割と、他の世帯よりも利用頻度が高くなっており、小中学生とその保護者の利用が多いことがわかります。
- ◆ 「E 観光・レクリエーション」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、小中学生がいる世帯で約4割、6歳未満の乳幼児がいる世帯で約3割と、他の世帯よりも利用頻度が高くなっており、小中学生や6歳未満の乳幼児とその保護者の利用が多いことがわかります。
- ◆ 「F 子育て支援」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、6歳未満の乳幼児がいる世帯で約5割、小中学生がいる世帯で約3割と、他の世帯よりも利用頻度が高くなっており、サービスの提供目的に沿った利用がなされていることがわかります。
- ◆ 「G 高齢者福祉」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、65～74歳の方がいる世帯と75歳以上の方がいる世帯で約1割と、他の世帯よりも利用頻度が高くなっていますが、両世帯とも「利用しない」の割合が約8割、その他の世帯では9割以上となっており、どの世帯においても需要が著しく低いことがわかります。

《居住地区別集計》

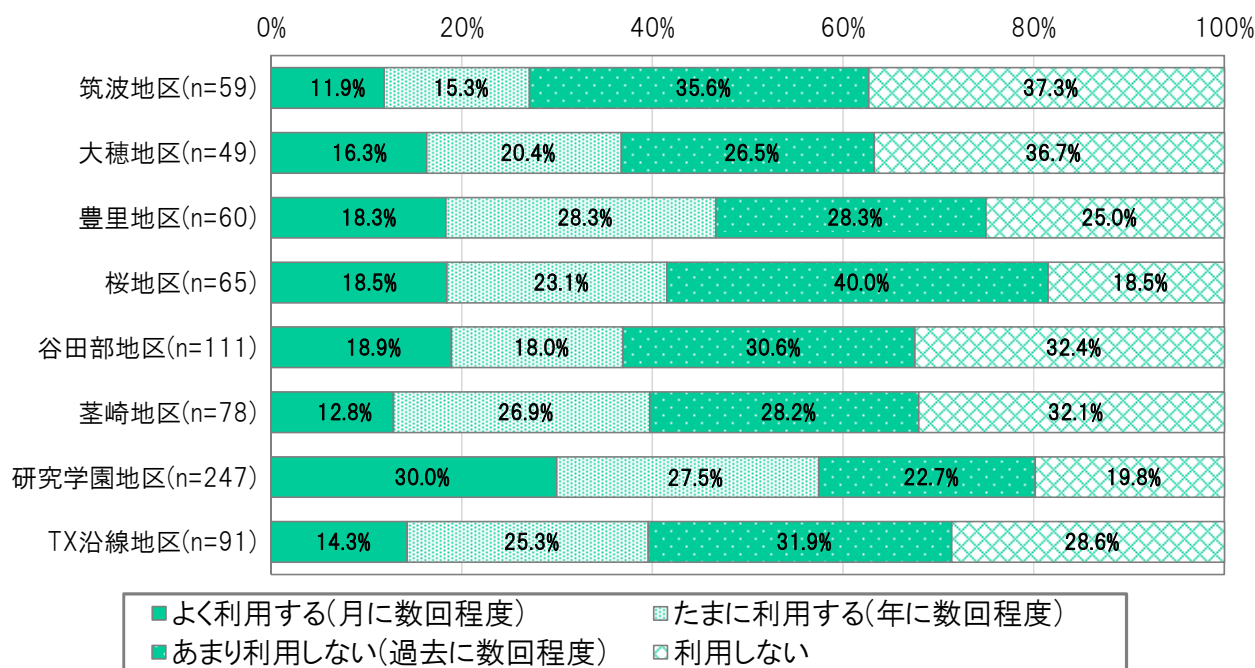
A 芸術鑑賞



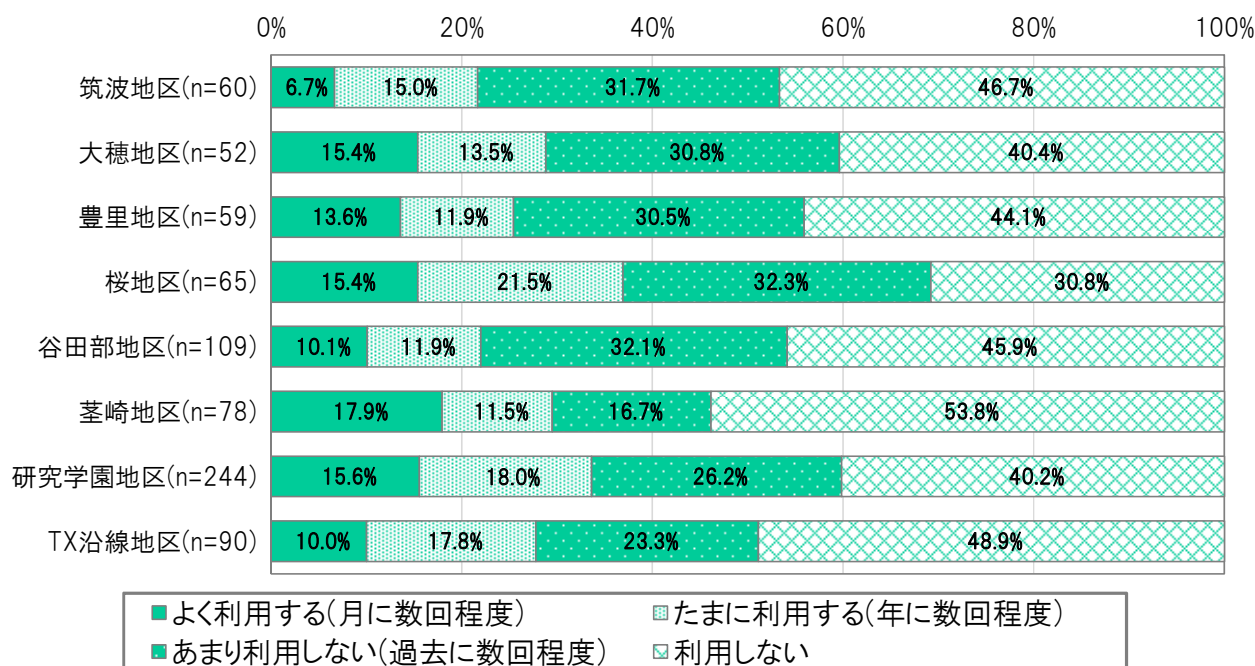
B 生涯学習・教養（講座）



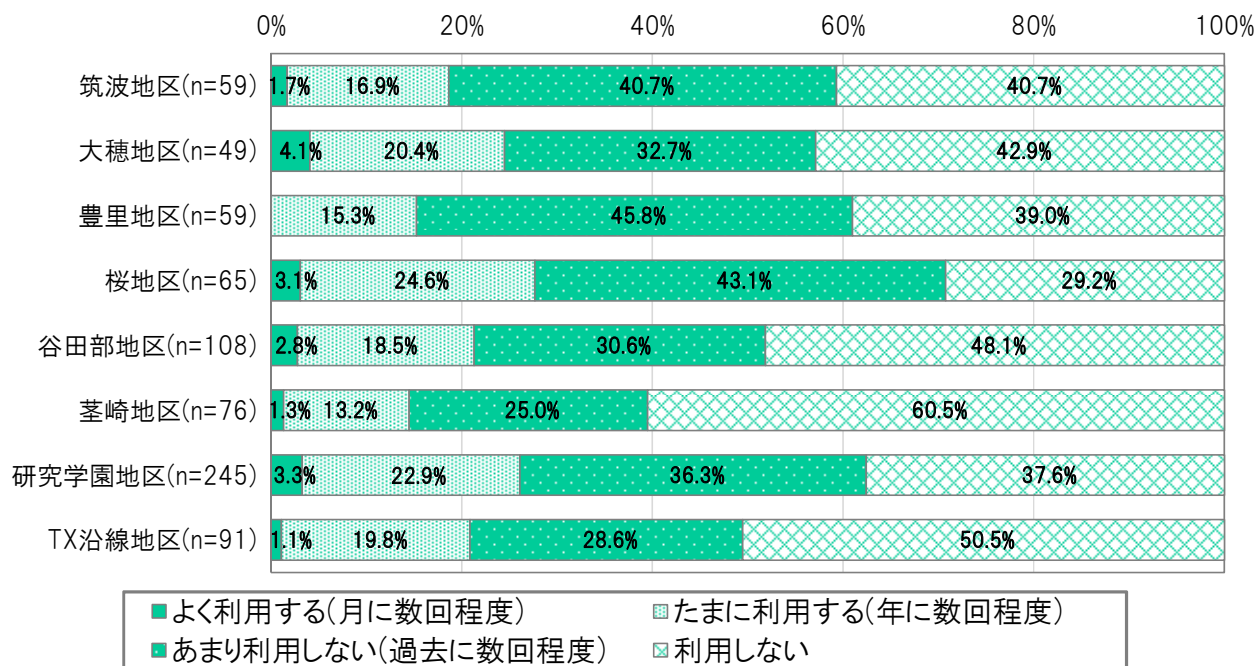
C 図書



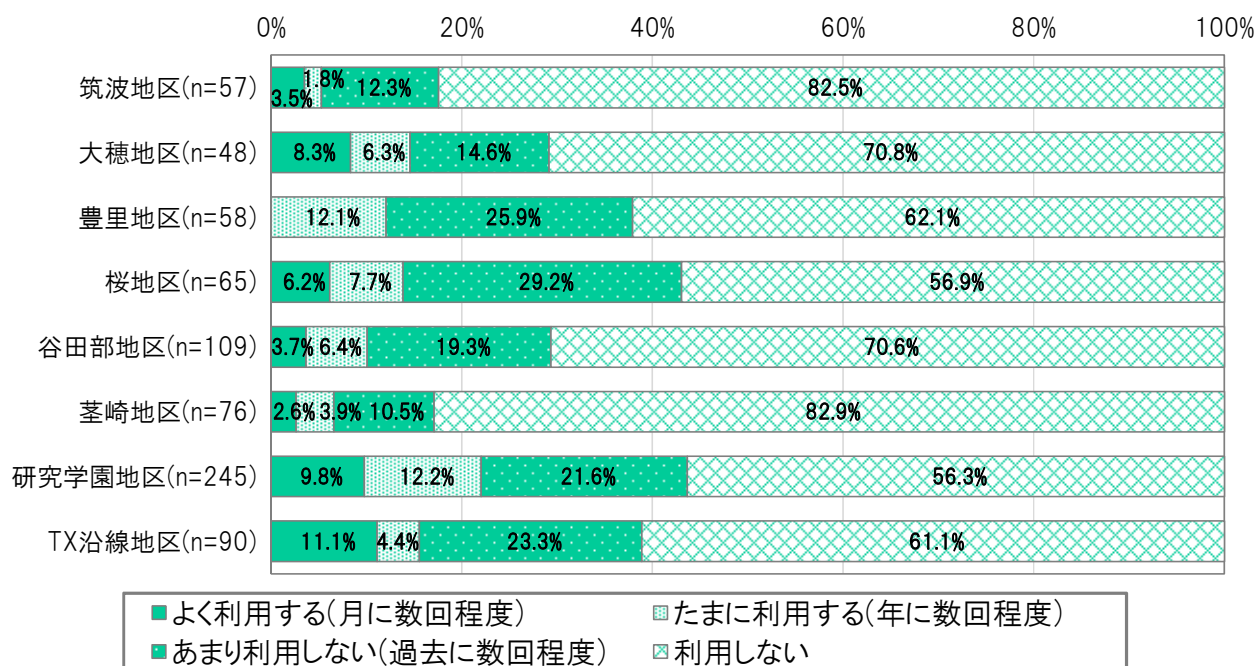
D スポーツ



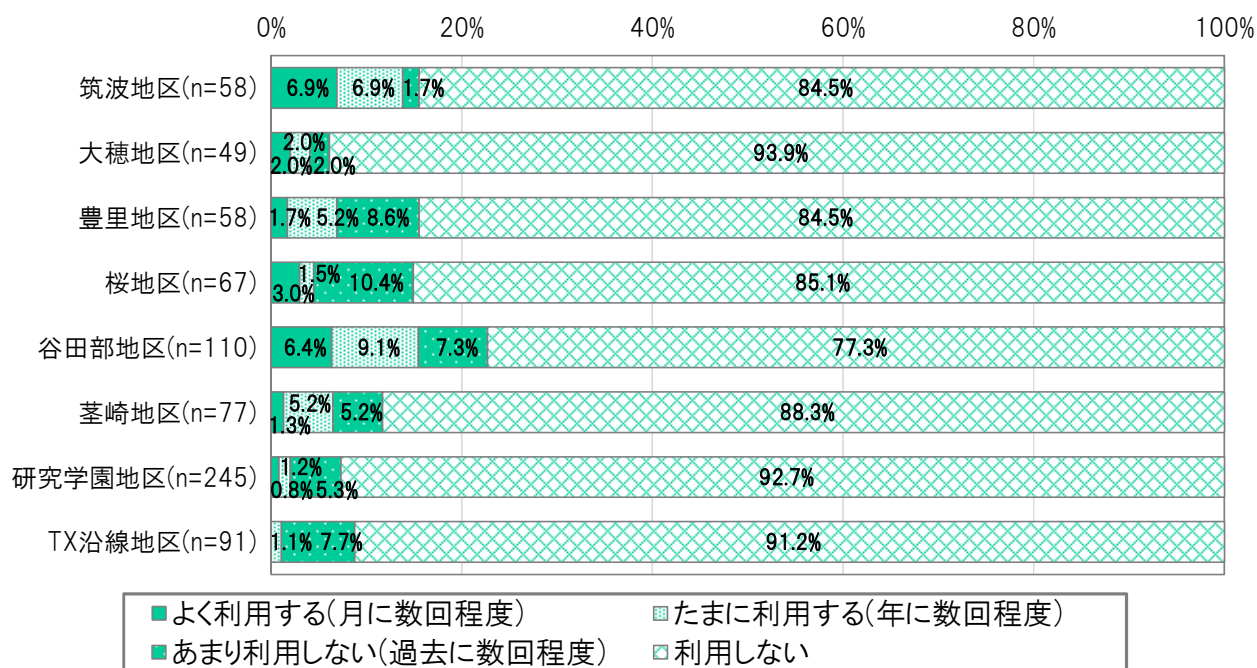
E レクリエーション・観光



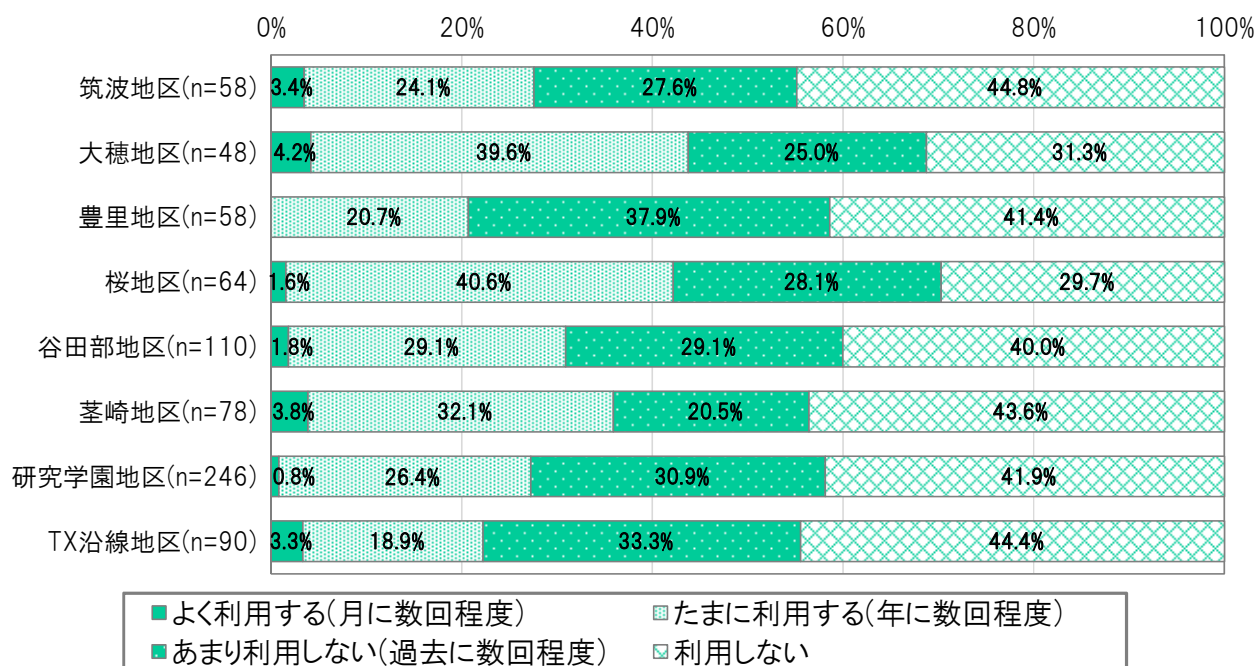
F 子育て支援



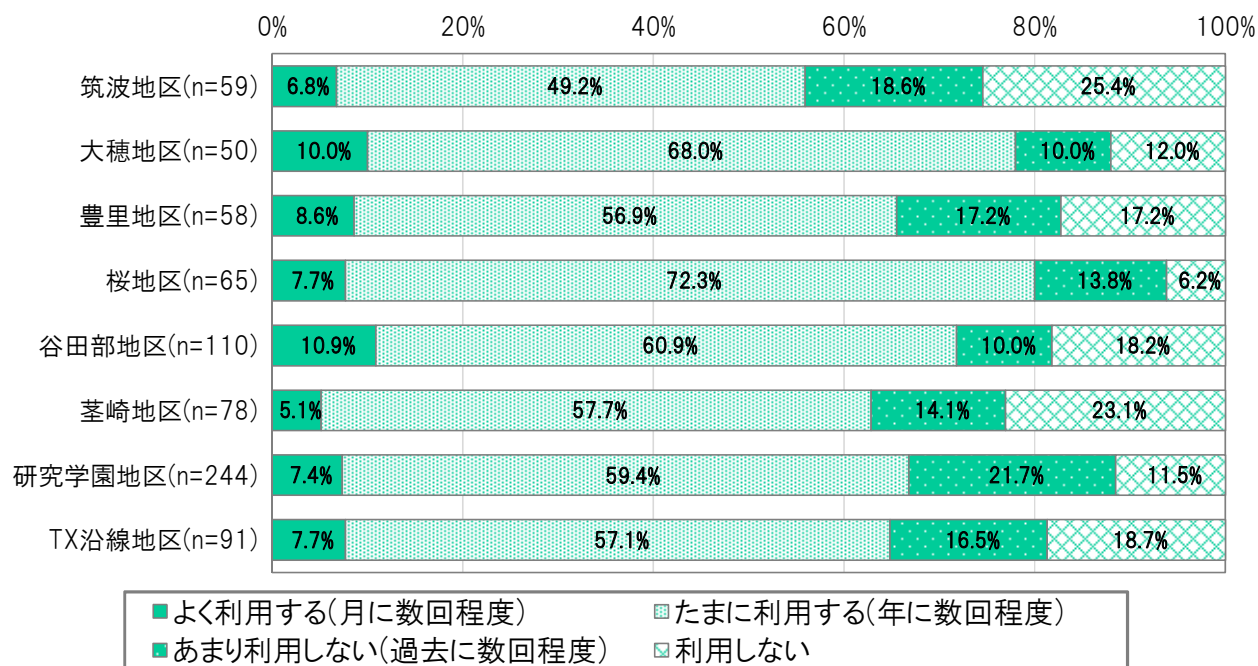
G 高齢者福祉



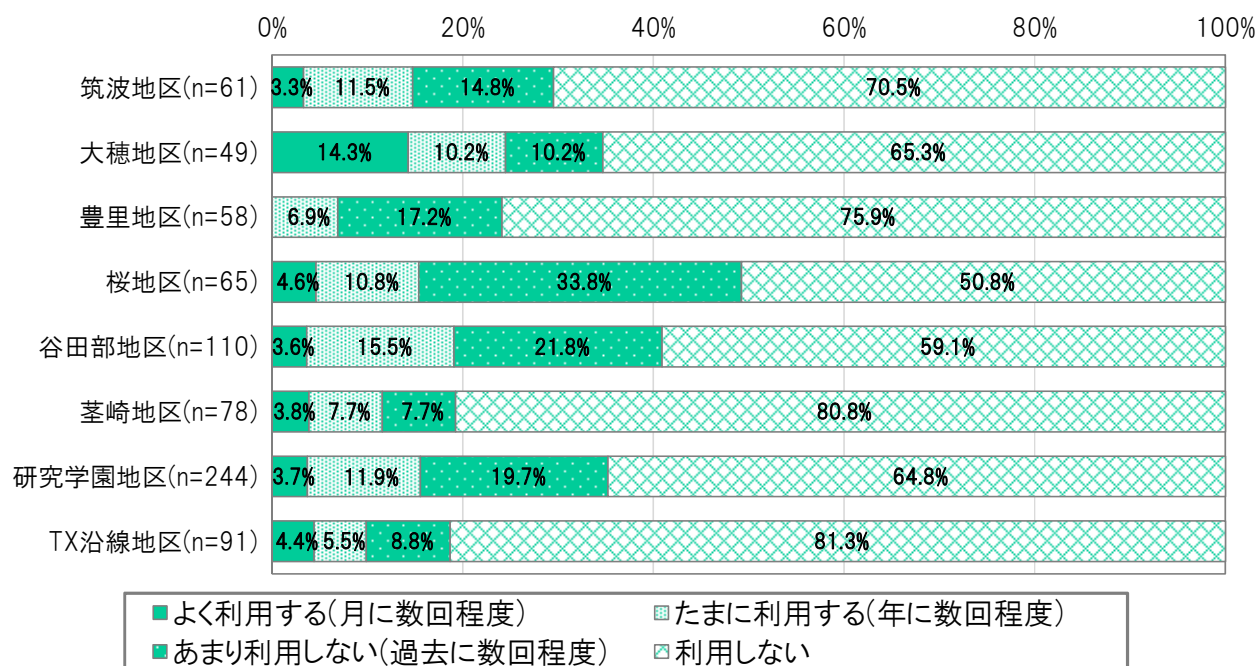
H 保健衛生



I 行政事務・手続き



J 会議・貸室



＜結果の傾向＞

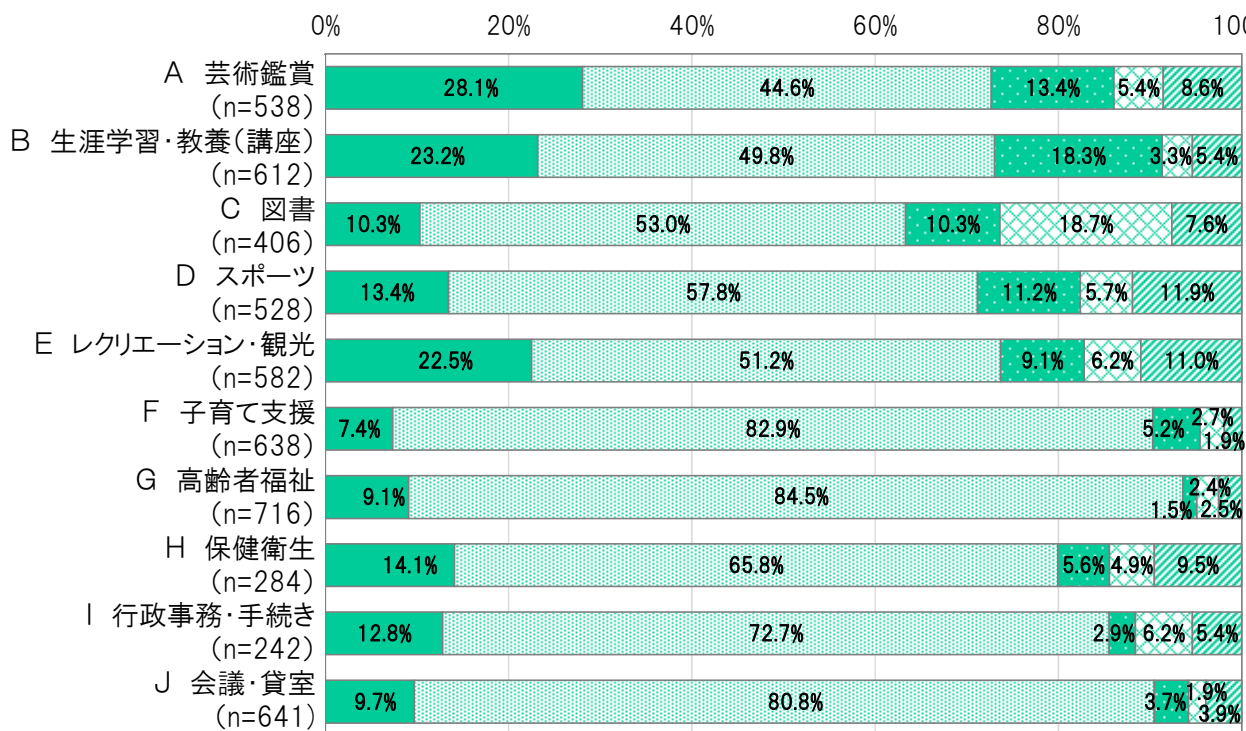
- ◆ 「A 芸術鑑賞」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、桜地区、研究学園地区、谷田部地区でそれぞれ3割以上と、他の地区よりも利用頻度が高くなっており、芸術鑑賞サービスを提供している「ノバホール」や「つくばカピオ」等の施設が立地している地域に住んでいる市民の利用頻度が高いことがわかります。
- ◆ 「C 図書」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、研究学園地区で約6割と、他の地区よりも利用頻度が高くなっており、図書サービスを提供している「中央図書館」が立地している地区に住んでいる市民の利用頻度が高いことがわかります。
- ◆ 「F 子育て支援」では、「利用しない」の割合が、筑波地区と茎崎地区でそれぞれ8割以上と、他の地区よりも利用しない市民の割合が高くなっており、両地区は子育て世帯が少なく、子育て支援サービスの需要が著しく低いことがわかります。
- ◆ 「G 高齢者福祉」では、「よく利用する（月に数回程度）」と「たまに利用する（年に数回程度）」の割合の合計が、筑波地区と谷田部地区でそれぞれ1割以上と、他の地区よりも利用頻度が高くなっていますが、全地区で7割以上、多い地区で9割以上の市民が「利用しない」と回答しており、どの地区においても需要が著しく低いことがわかります。

【利用しない理由】

<集計結果>

《全体集計》

- 「サービスの内容や提供場所（施設）を知らないから」の割合が最も高いサービス分野は「A 芸術鑑賞」で、28.1%となっています。
- 「利用する必要があるから」の割合が高いサービス分野は、「G 高齢者福祉」、「F レクリエーション・観光」、「J 会議・貸室」で、それぞれ8割以上となっています。
- 「利用時間、料金などの条件が合わないから」の割合が最も高いサービス分野は「B 生涯学習・教養（講座）」で、18.3%となっています。
- 「提供場所（施設）へアクセスしづらいから」の割合が最も高いサービス分野は「C 図書」で、18.7%となっています。
- 「他の施設で提供されているサービスを利用しているから」の割合が高いサービス分野は「D スポーツ」と「E レクリエーション・観光」で、それぞれ1割以上となっています。



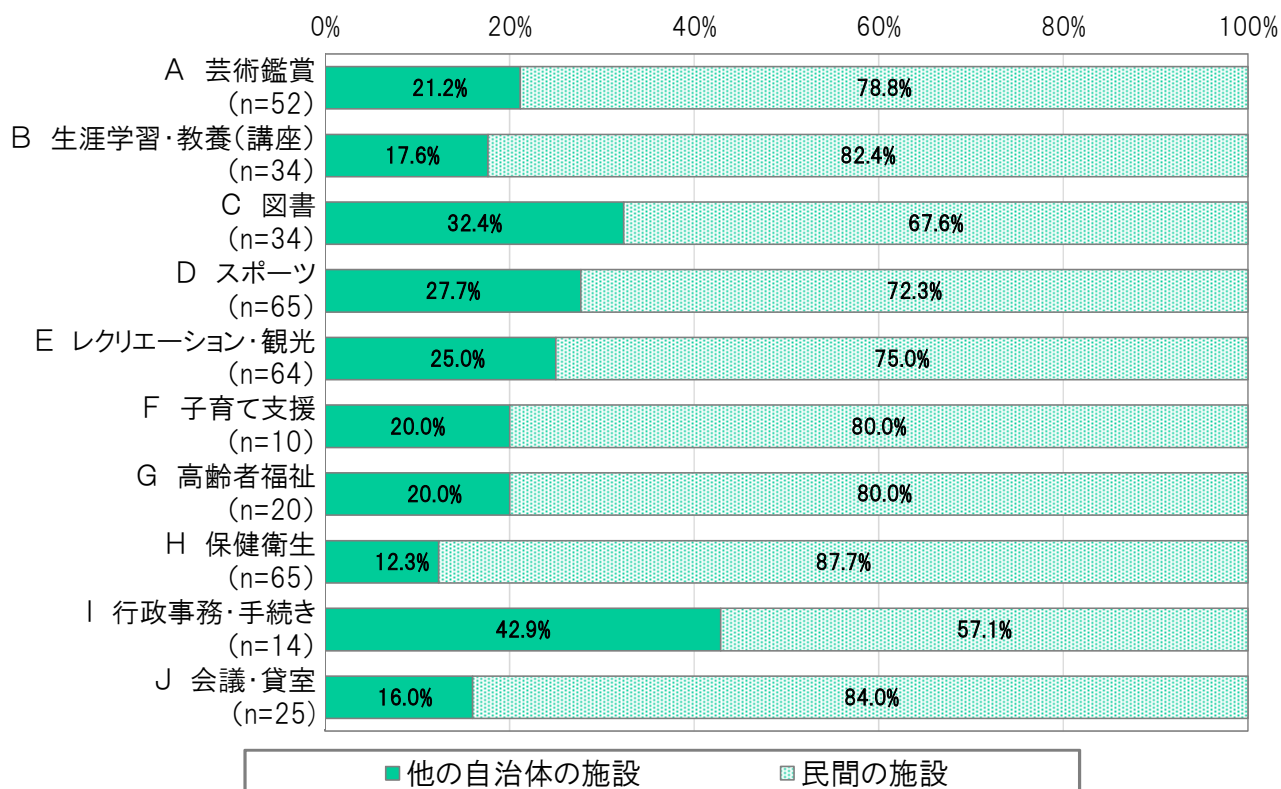
- サービスの内容や提供場所(施設)を知らないから
- ▨ 利用する必要があるから
- 利用時間、料金などの条件が合わないから
- ▨ 提供場所(施設)へアクセスしづらいから
- ▨ 他の施設で提供されているサービスを利用しているから

問2 【問1でサービスを利用しない理由として「5」を選択した方のみご回答ください。】実際に利用している「他の施設」とは、どのような施設ですか。問1で「5」を選択したサービス分野について教えてください。

<集計結果>

《全体集計》

- 「他の自治体の施設」の割合が最も高いサービス分野は「I 行政事務・手続き」で、42.9%となっています。
- 「民間の施設」の割合が最も高いサービス分野は「H 保健衛生」で、87.7%となっています。

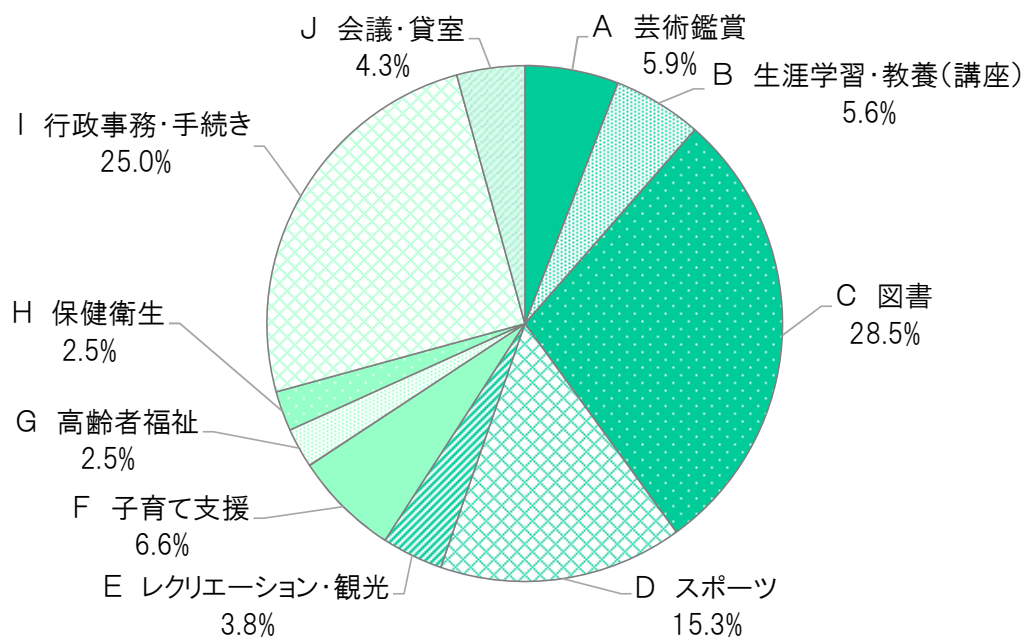


問3 問1のうち、最もよく利用するサービス分野をA～Jの中から1つ選び、下の解答欄にアルファベットを記入してください。

＜集計結果＞

《全体集計》

- 「C 図書」の割合が28.5%と最も高く、次いで「I 行政事務・手続き」が25.0%、「D スポーツ」が15.3%が続いています。



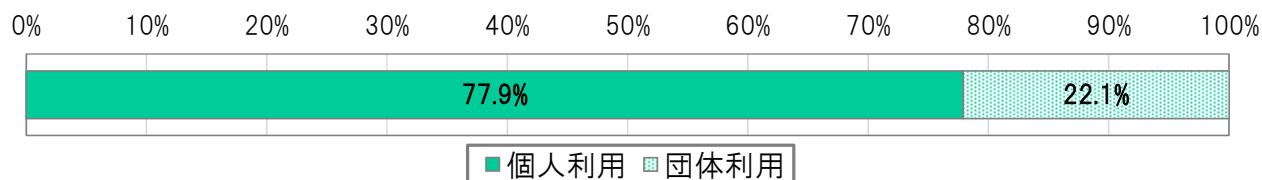
(n=680)

問4 問3でお答えいただいた「最もよく利用するサービス分野」の利用方法では、個人利用と団体利用、どちらの方が多いですか。

<集計結果>

《全体集計》

- 「個人利用」の割合が全体の約8割を占めています。



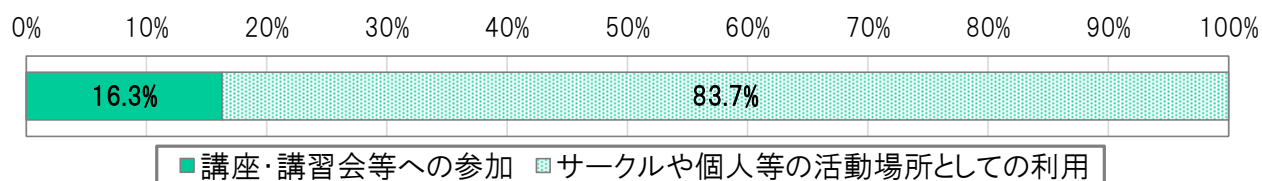
(n=674)

問5 問3でお答えいただいた「最もよく利用するサービス分野」の利用目的では、講座・講習会等への参加とサークルや個人等の活動場所としての利用、どちらの方が多いですか。

<集計結果>

《全体集計》

- 「サークルや個人等の活動場所としての利用」の割合が全体の約8割を占めています。



(n=589)

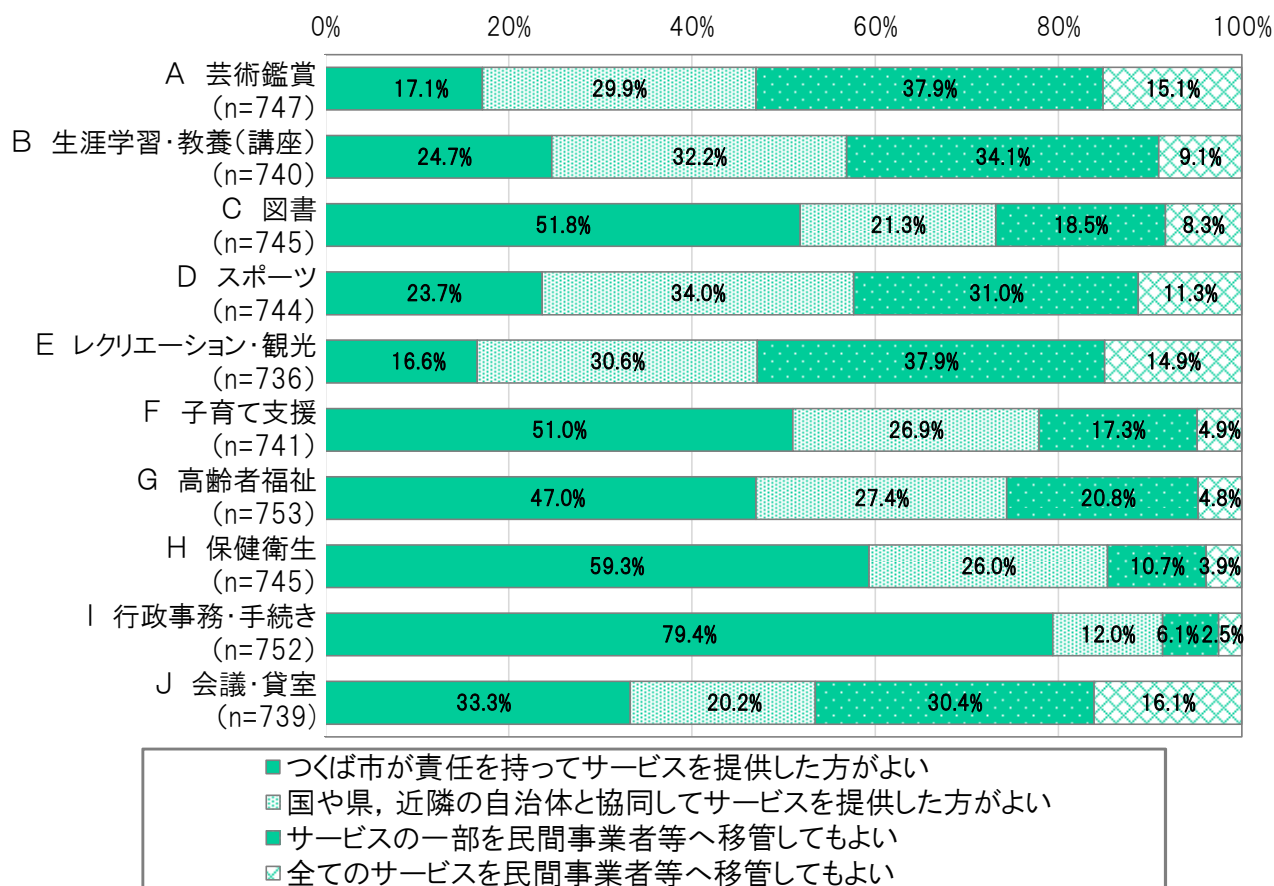
2. サービスの提供主体について

問6 つくば市のサービス提供への関わり方について、A～Jのサービス分野ごとにあなたの考えを教えてください。

＜集計結果＞

《全体集計》

- 「つくば市が責任を持ってサービスを提供した方がよい」の割合が最も高いサービス分野は「I 行政事務・手続き」で、79.4%となっています。
- 「国や県、近隣の自治体と協同してサービスを提供した方がよい」の割合が高いサービス分野は「D スポーツ」、「B 生涯学習・教養（講座）」、「E レクリエーション・観光」で、それぞれ3割以上となっています。
- 「サービスの一部を民間事業者等へ移管してもよい」の割合が最も高いサービス分野は「A 芸術鑑賞」及び「E レクリエーション・観光」で、37.9%となっています。
- 「全てのサービスを民間事業者等へ移管してもよい」の割合が高いサービス分野は「J 会議・貸室」と「A 芸術鑑賞」で、それぞれ約2割となっています。
- 「サービスの一部を民間事業者等へ移管してもよい」と「全てのサービスを民間事業者等へ移管してもよい」を合わせた割合では、「A 芸術鑑賞」と「E レクリエーション・観光」でそれぞれ5割以上となっています。



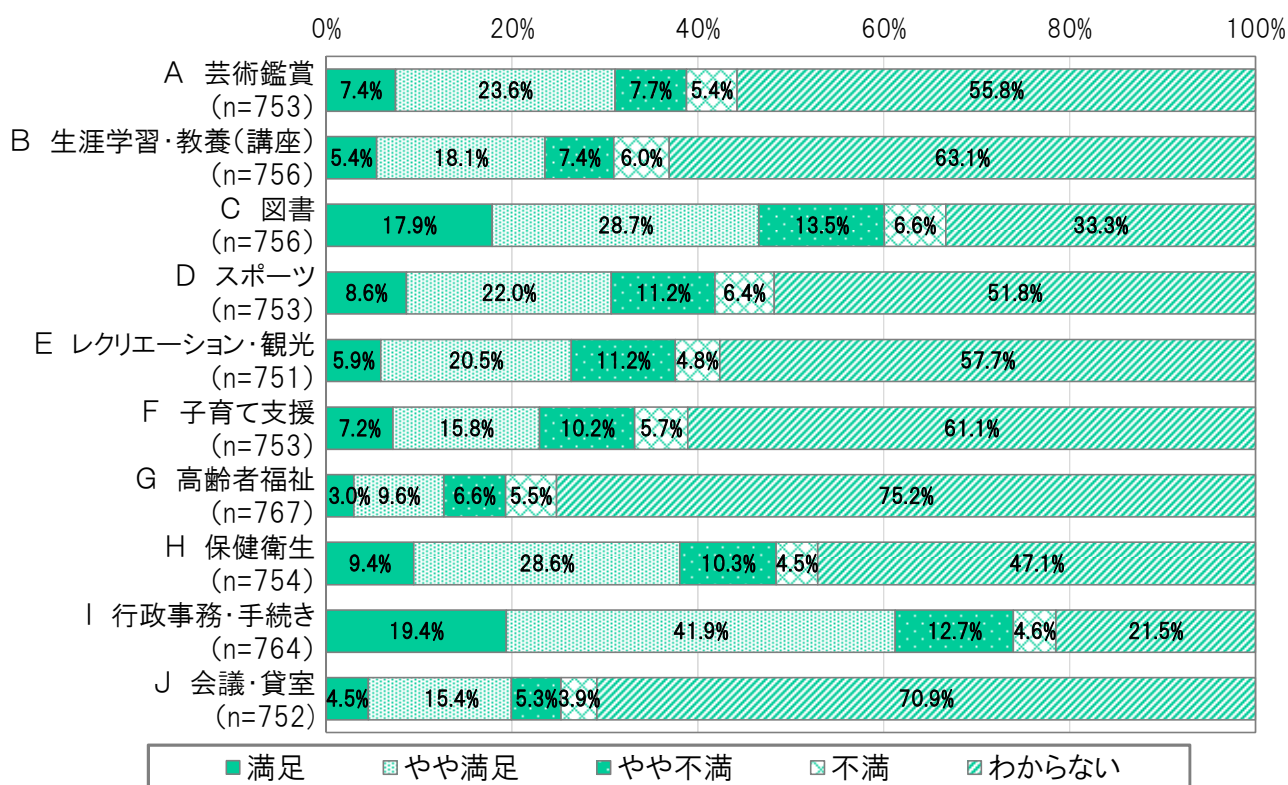
3. サービスの満足度について

問7 サービスの満足度（利便性、料金設定、職員の対応など）について、A～Jのサービス分野ごとにあなたの考えを教えてください。

<集計結果>

《全体集計》

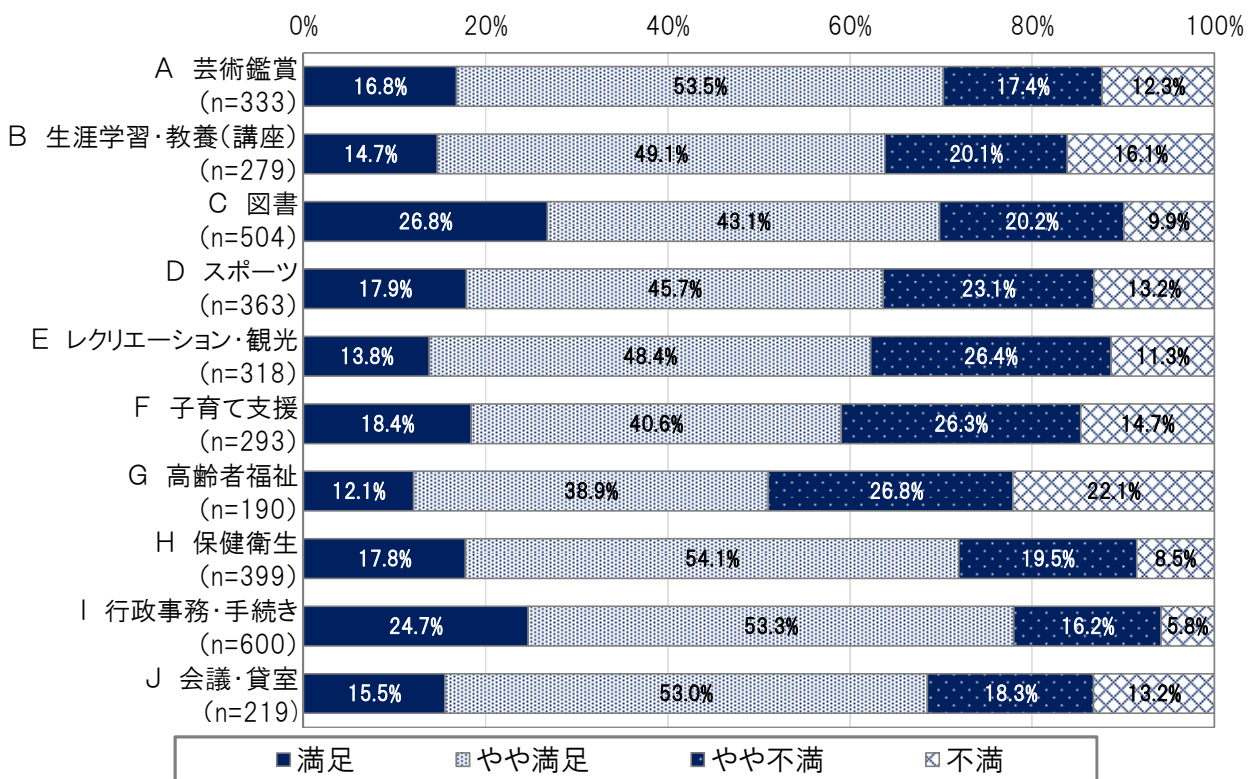
- 「満足」の割合が高いサービス分野は「I 行政事務・手続き」と「C 図書」で、それぞれ約2割となっています。
- 「やや満足」の割合が最も高いサービス分野は「I 行政事務・手続き」で、41.9%となっています。
- 「やや不満」の割合が最も高いサービス分野は「C 図書」で、13.5%となっており、全てのサービス分野で約1割となっています。
- 「不満」の割合が最も高いサービス分野は「C 図書」で、6.6%となっており、全てのサービス分野で1割未満となっています。
- 「満足」と「やや満足」を合わせた割合では「I 行政事務・手続き」が61.3%と最も高くなっています。
- 「不満」と「やや不満」を合わせた割合では「C 図書」が20.1%と最も高くなっています。



＜結果の傾向＞

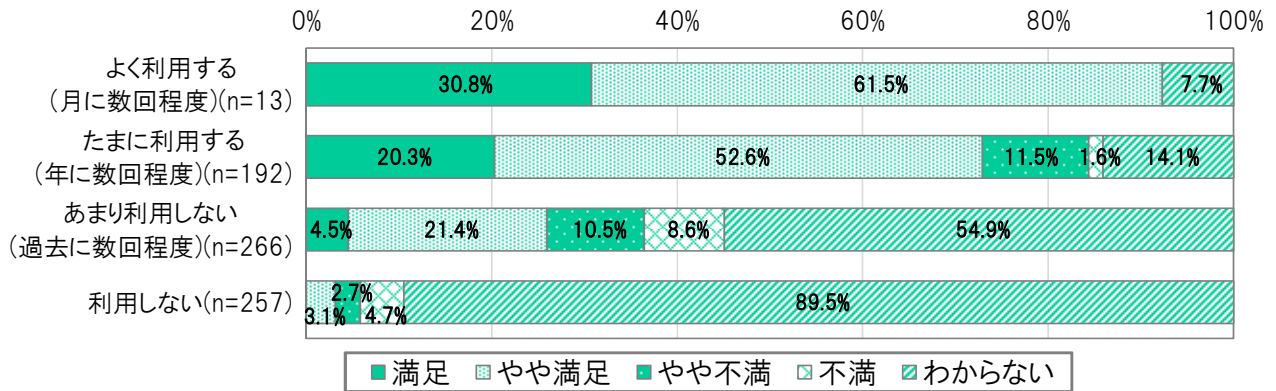
【「わからない」を除いた場合】

- ◆ 「満足」の割合が高いサービス分野は「C 図書」と「I 行政事務・手続き」で、それぞれ2割以上となっています。
- ◆ 「やや満足」の割合が高いサービス分野は「H 保健衛生」、「A 芸術鑑賞」、「I 行政事務・手続き」、「J 会議・貸室」で、それぞれ5割以上となっています。
- ◆ 「やや不満」の割合が高いサービス分野は「G 高齢者福祉」、「E レクリエーション・観光」、「F 子育て支援」で、それぞれ約3割となっています。
- ◆ 「不満」の割合が最も高いサービス分野は「G 高齢者福祉」で、22.1%となっています。
- ◆ 「満足」と「やや満足」を合わせた割合では、「I 行政事務・手続き」が78.0%と最も高くなっています。
- ◆ 「不満」と「やや不満」を合わせた割合では、「G 高齢者福祉」が48.9%と最も高くなっています。

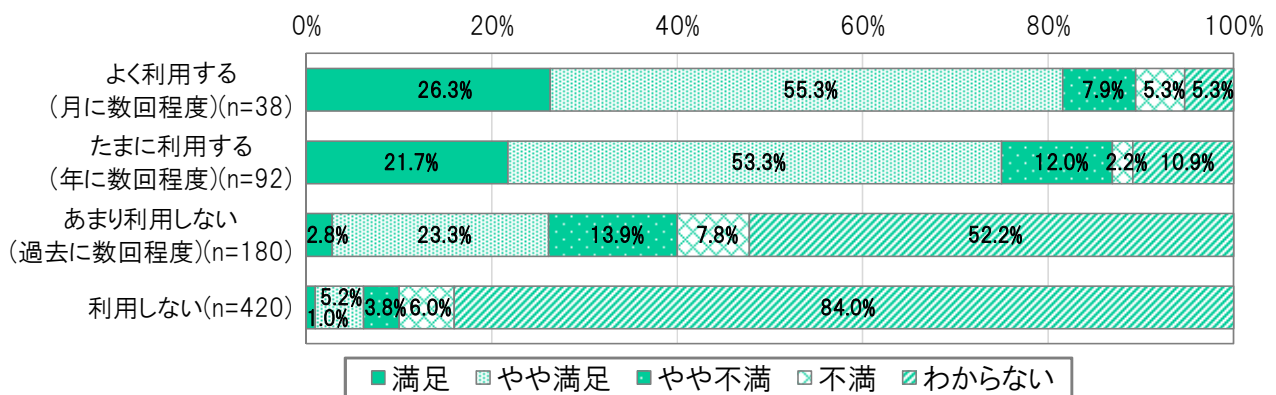


《利用頻度別集計》

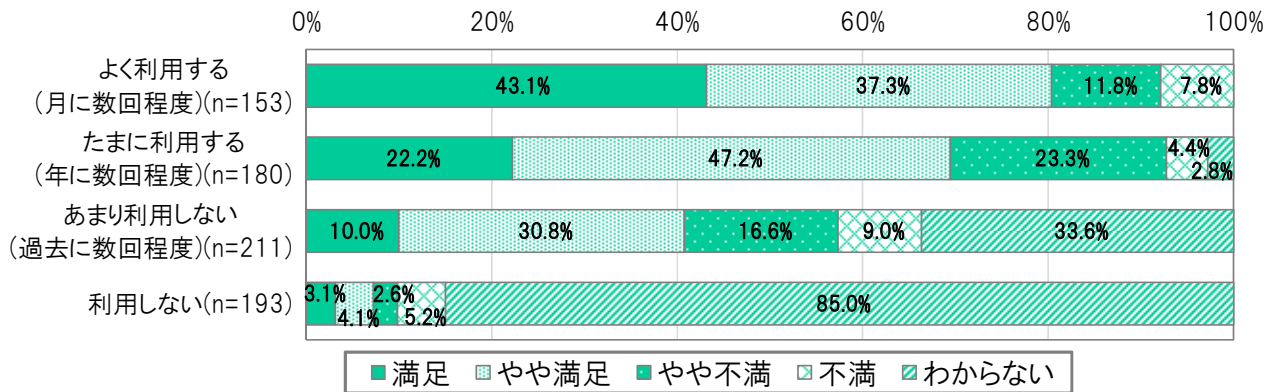
A 芸術鑑賞



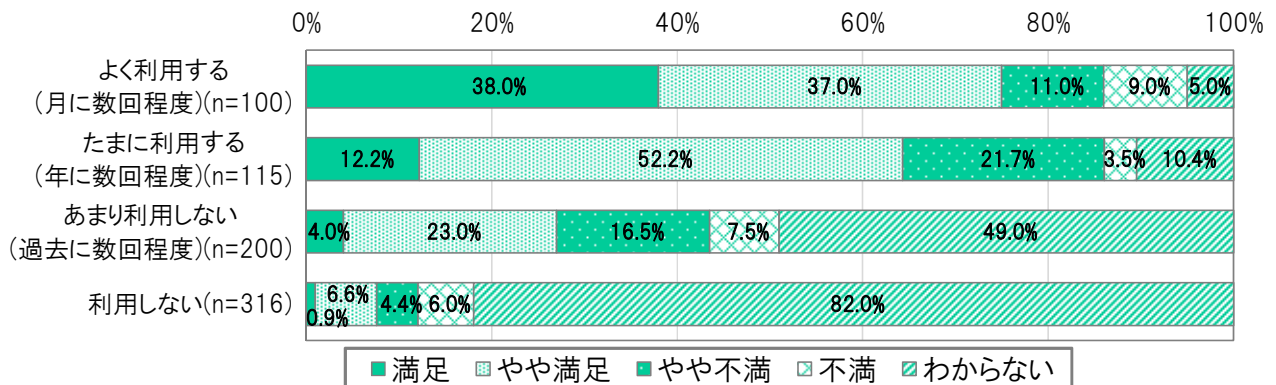
B 生涯学習・教養（講座）



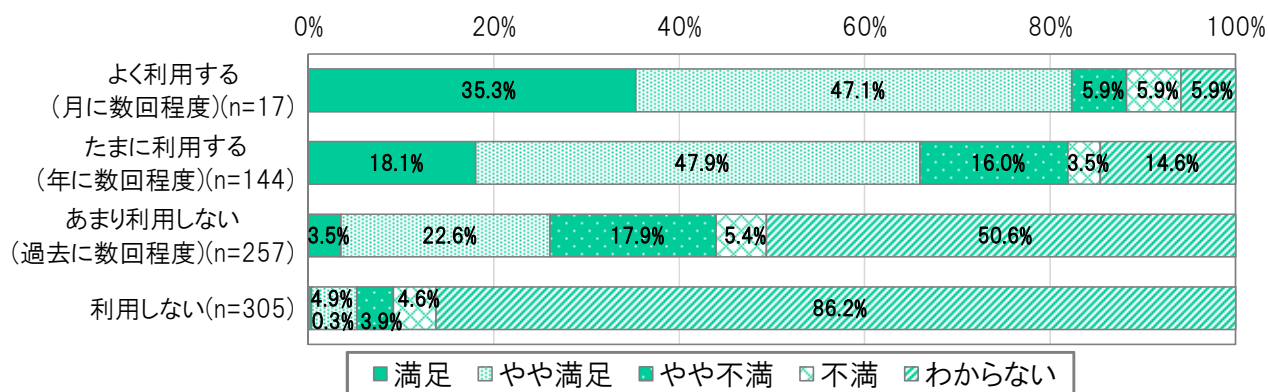
C 図書



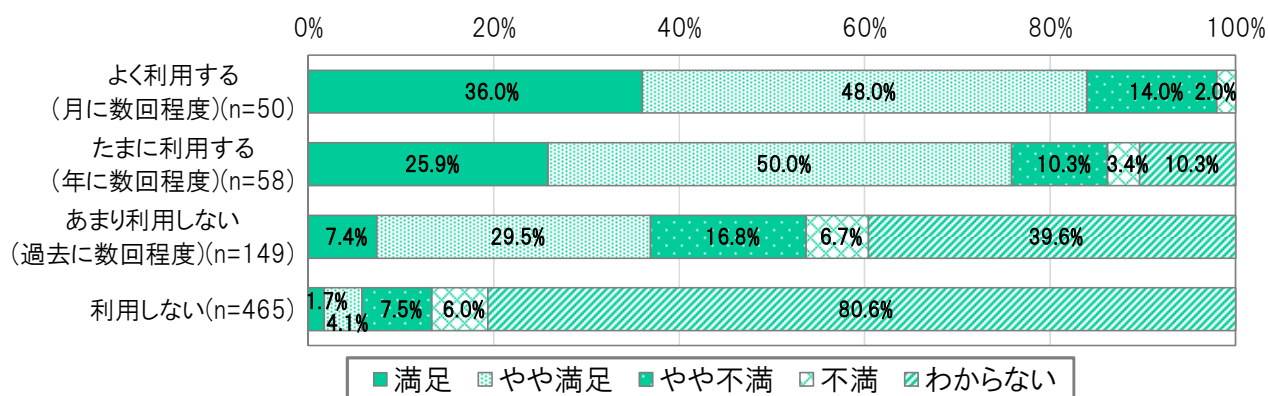
D スポーツ



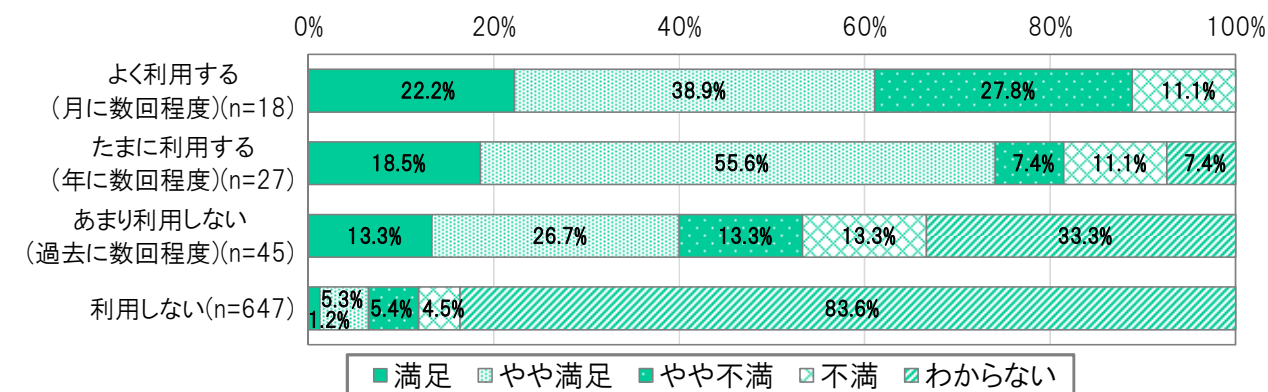
E レクリエーション・観光



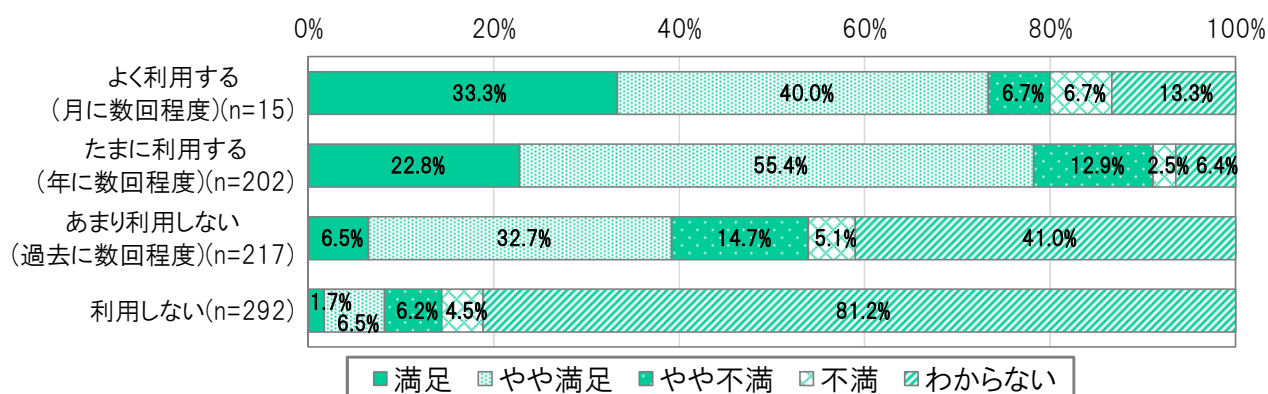
F 子育て支援



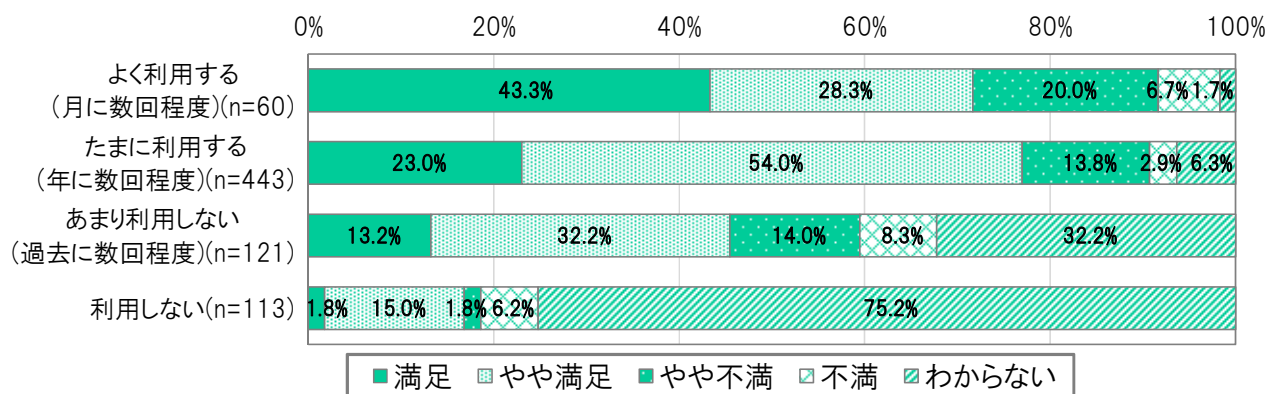
G 高齢者福祉



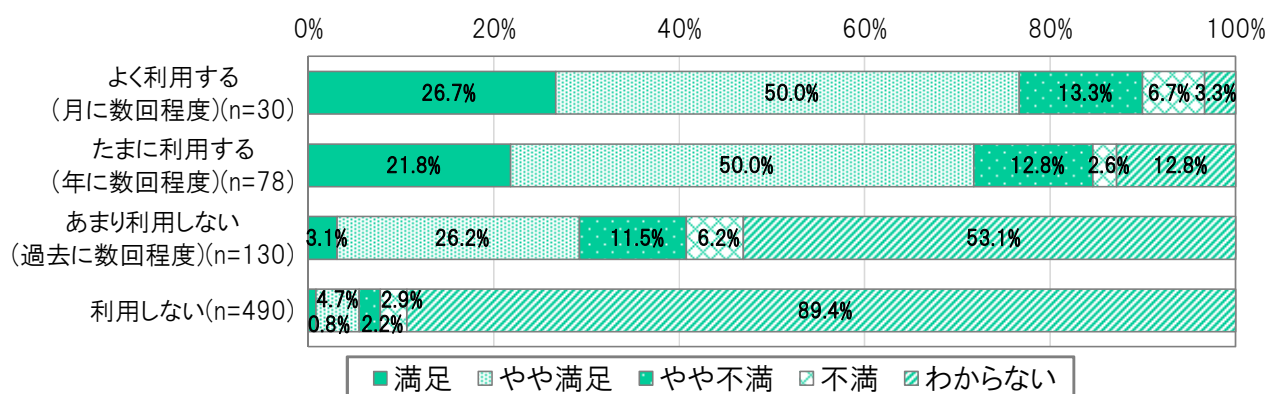
H 保健衛生



I 行政事務・手続き



J 会議・貸室



<結果の傾向>

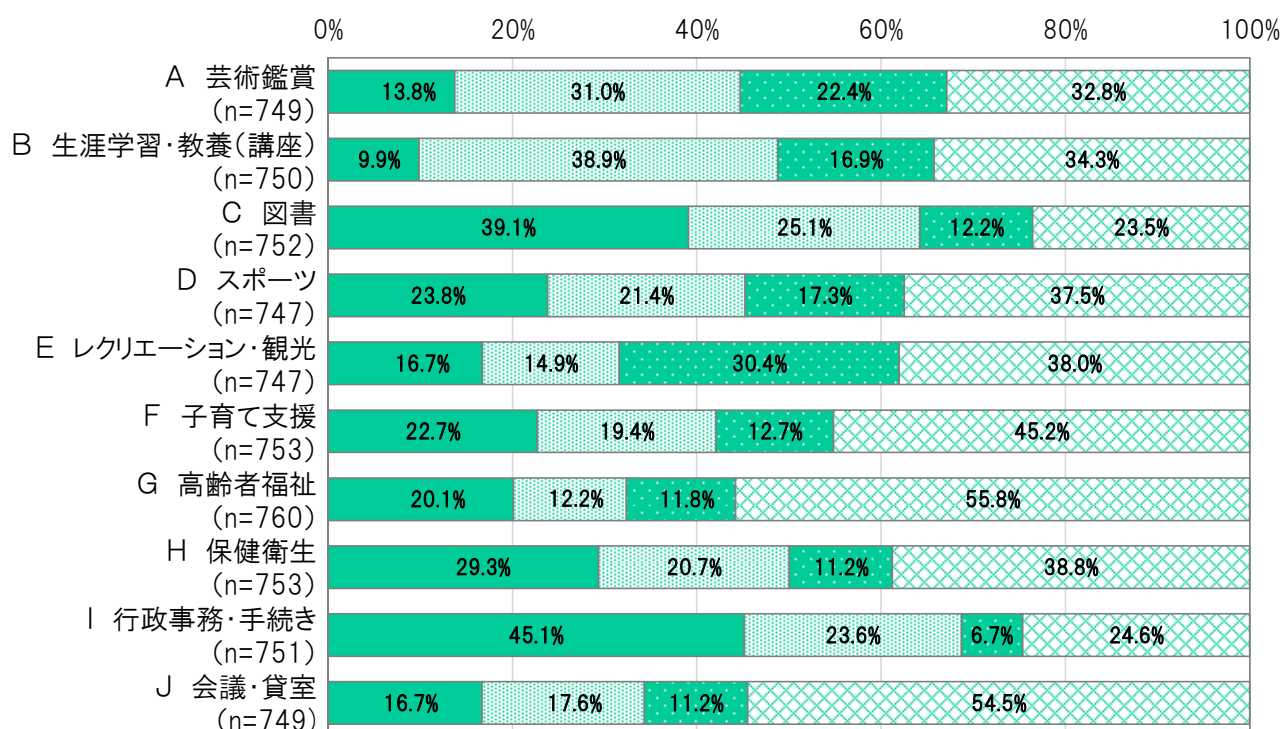
- ◆ どのサービス分野においても、利用頻度が高い市民ほど、「満足」や「やや満足」と回答していることがわかります。

問8 サービスの満足度をさらに向上させるために必要な取組について、A～Jのサービス分野ごとにあなたの考えを教えてください。

<集計結果>

《全体集計》

- 「利用快適性を高める(職員の対応や館内設備の充実など)」の割合が最も高いサービス分野は「I 行政事務・手続き」で、45.1%となっています。
- 「サービスの提供機会(開館時間や講座開催回数等)を増やす」の割合が最も高いサービス分野は「B 生涯学習・教養(講座)」で、38.9%となっています。
- 「他のサービスと組み合わせる(サービスの複合)」の割合が最も高いサービス分野は「E レクリエーション・観光」で、30.4%となっています。

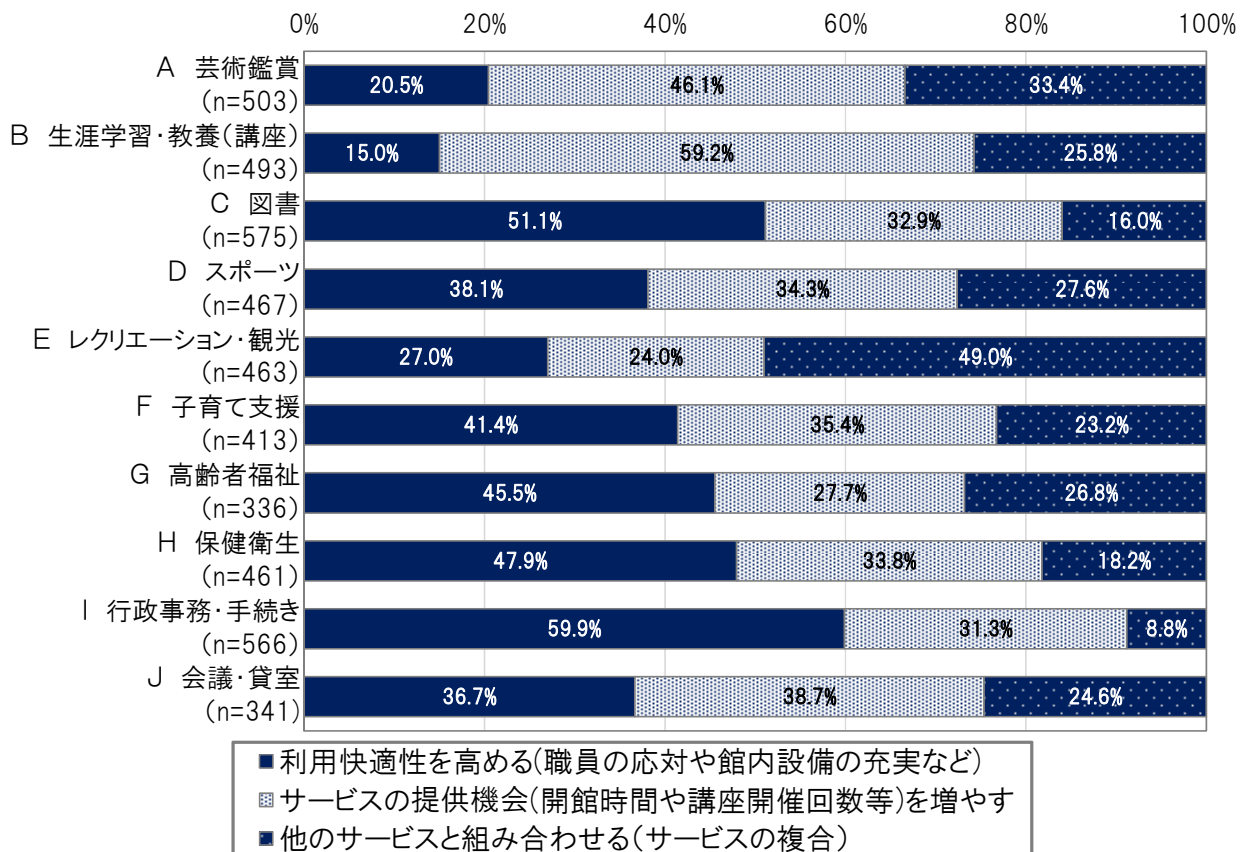


- 利用快適性を高める(職員の対応や館内設備の充実など)
- ▨ サービスの提供機会(開館時間や講座開催回数等)を増やす
- 他のサービスと組み合わせる(サービスの複合)
- ▨ わからない

＜結果の傾向＞

【「わからない」を除いた場合】

- ◆ 「利用快適性を高める（職員の応対や館内設備の充実など）」の割合が最も高いサービス分野は「Ⅰ 行政事務・手続き」で、59.9%となっています。
- ◆ 「サービスの提供機会（開館時間や講座開催回数等）を増やす」の割合が最も高いサービス分野は「B 生涯学習・教養（講座）」で、59.2%となっています。
- ◆ 「他のサービスと組み合わせる（サービスの複合）」の割合が最も高いサービス分野は「E レクリエーション・観光」で、49.0%となっています。



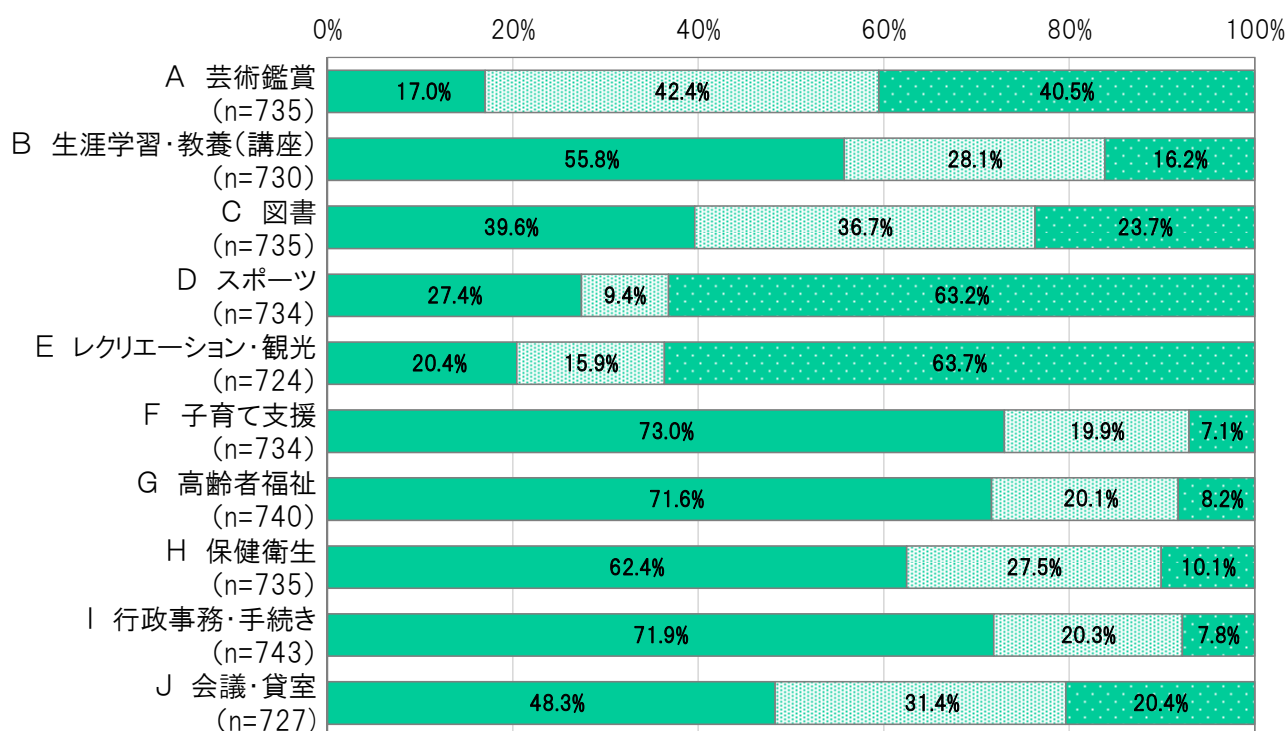
4. サービスの提供場所について

問9 サービスの提供場所のイメージについて、A～Jのサービス分野ごとにあなたの考えを教えてください。ただし、公共施設は保有量を増やさず適正に配置することとします。

＜集計結果＞

《全体集計》

- 「施設自体は小規模であっても、市内各地に分散して立地している方がよい」の割合が高いサービス分野は、「F 子育て支援」、「I 行政事務・手続き」、「G 高齢者福祉」で、それぞれ7割以上となっています。
- 「商業施設や病院など、周辺に多くの施設が集積している地域に立地している方がよい」の割合が最も高いサービス分野は「A 芸術鑑賞」で、42.4%となっています。
- 「広い駐車場が設置可能な土地がある郊外部に立地している方がよい」の割合が高いサービス分野は「E レクリエーション・観光」と「D スポーツ」で、それぞれ6割以上となっています。



- 施設自体は小規模であっても、市内各地に分散して立地している方がよい
- 商業施設や病院など、周辺に多くの施設が集積している地域に立地している方がよい
- 広い駐車場が設置可能な土地がある郊外部に立地している方がよい

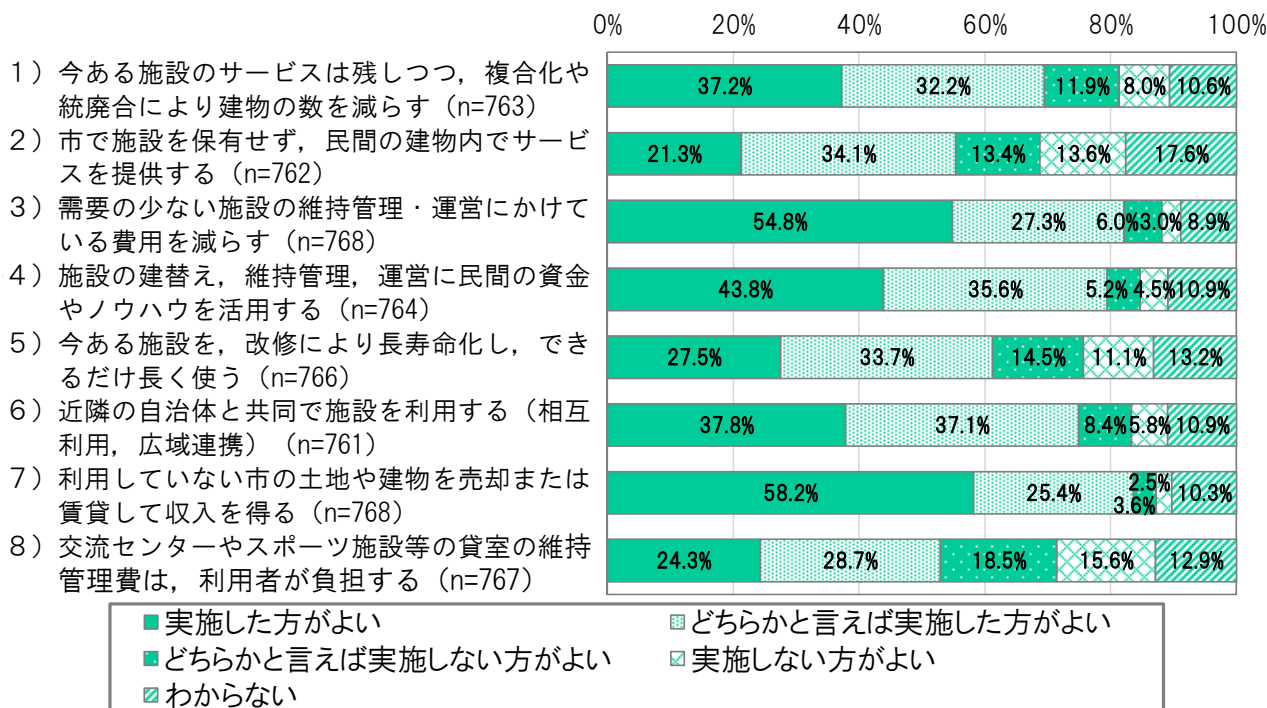
5. 公共施設に関する今後の取組について

問 10 つくば市では将来、限られた財源のなかで、老朽化した公共施設の修繕・更新を行っていかねばならないという課題があります。その課題に対応するため、より効率的な公共施設の管理・運営について、様々な取組を検討する必要があります。そこで、以下の取組例について、あなたの考えを教えてください。

<集計結果>

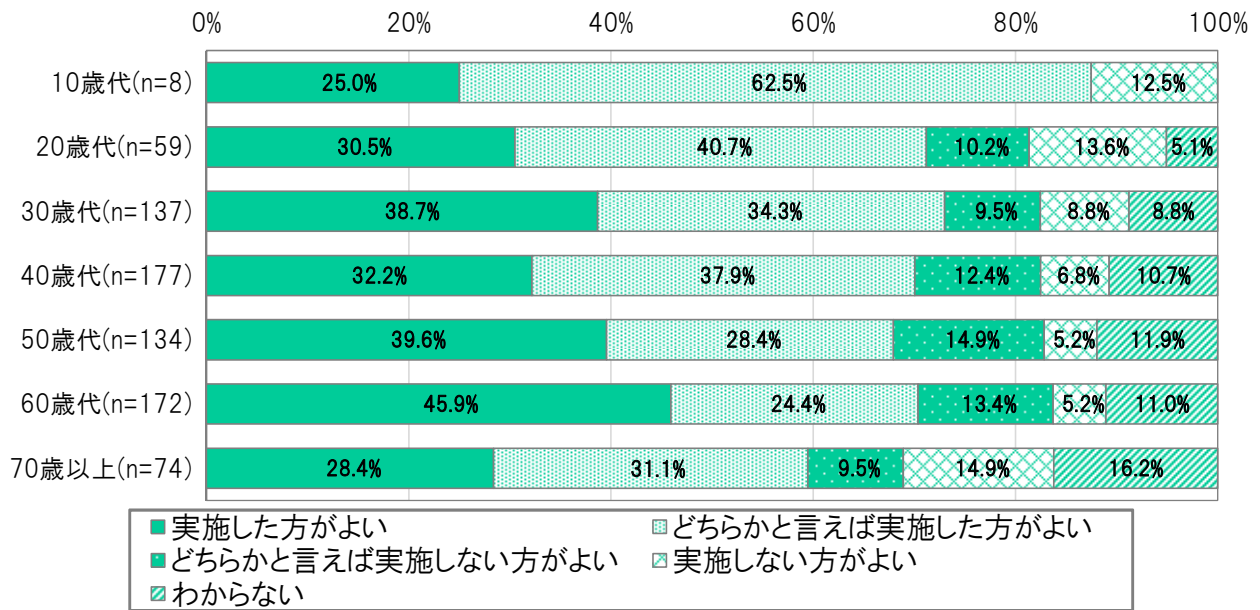
《全体集計》

- 「実施した方がよい」の割合が最も高い取組は「7）利用していない市の土地や建物を売却または賃貸して収入を得る」で、58.2%となっています。
- 「どちらかと言えば実施した方がよい」の割合が最も高い取組は「6）近隣の自治体と共同で施設を利用する」で、37.1%となっています。
- 「どちらかと言えば実施しない方がよい」の割合が最も高い取組は「8）交流センターやスポーツ施設等の貸室の維持管理費は、利用者が負担する」で、18.5%となっています。
- 「実施しない方がよい」の割合が高い取組は「8）交流センターやスポーツ施設等の貸室の維持管理費は、利用者が負担する」、「2）市で施設を保有せず、民間の建物内でサービスを提供する」、「5）今ある施設を、改修により長寿命化し、できるだけ長く使う」で、それぞれ1割以上となっています。
- 「実施した方がよい」と「どちらかと言えば実施した方がよい」を合わせた割合では、1）～8）全ての取組で5割以上となっています。

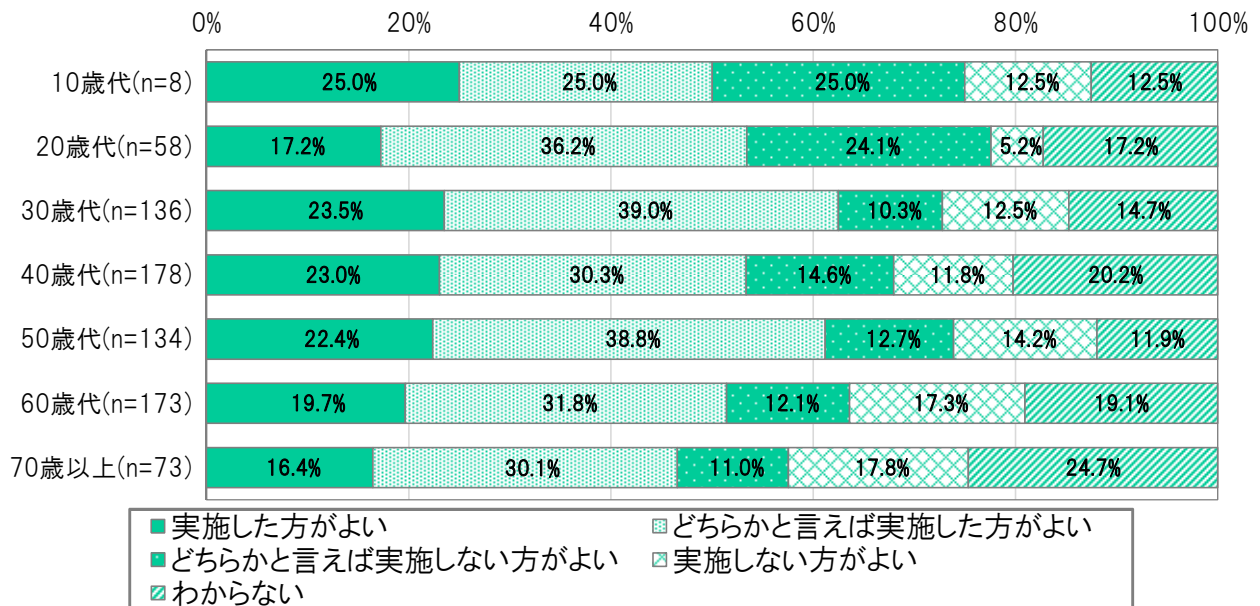


《年齢別集計》

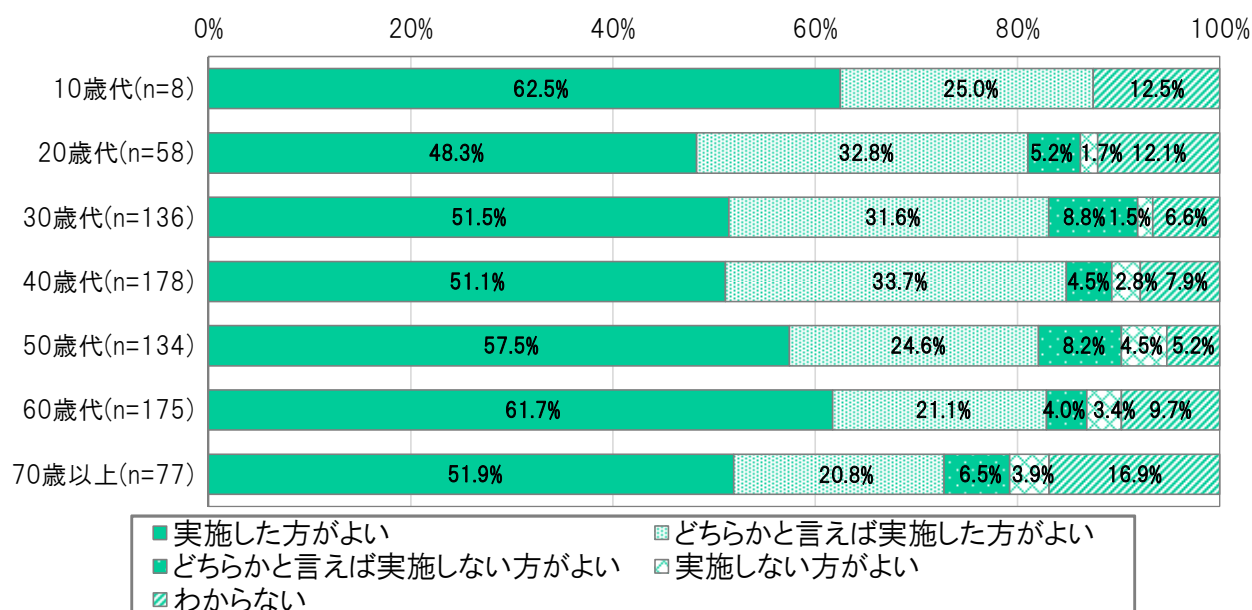
1) 今ある施設のサービスは残しつつ、複合化や統廃合により建物の数を減らす



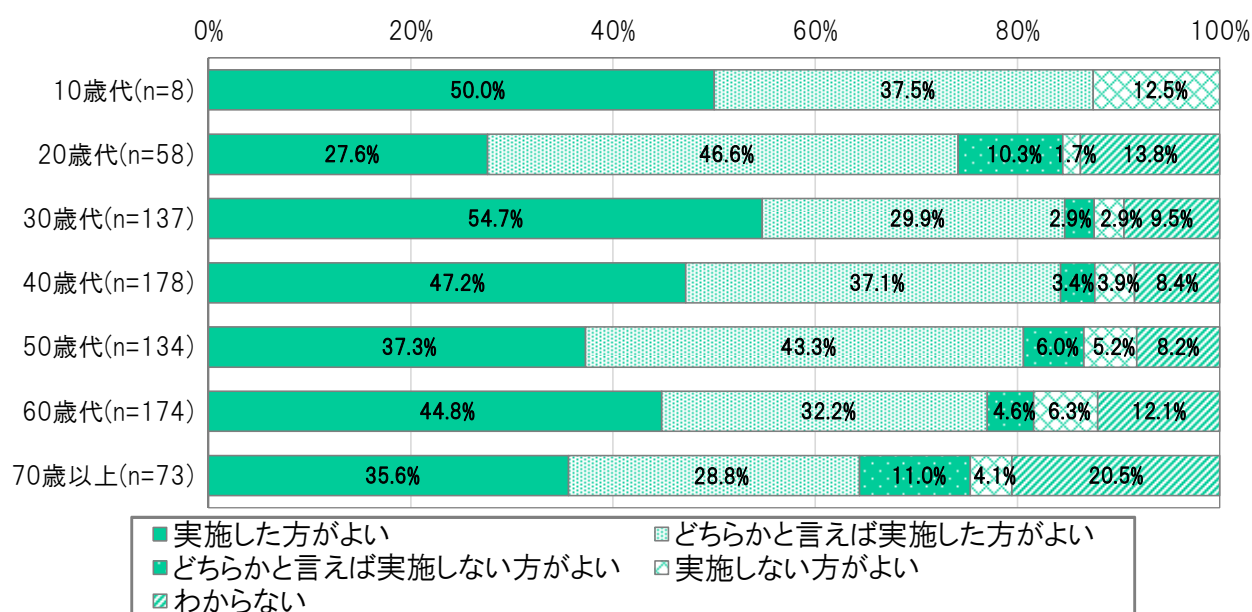
2) 市で施設を保有せず、民間の建物内でサービスを提供する



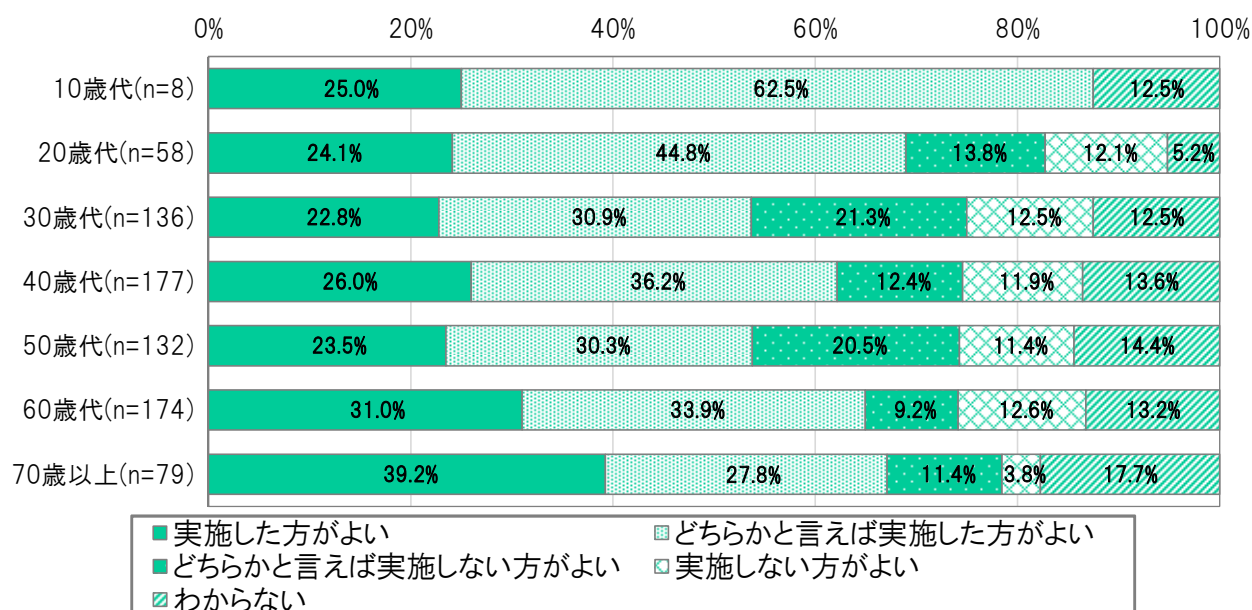
3) 需要の少ない施設の維持管理・運営にかけている費用を減らす



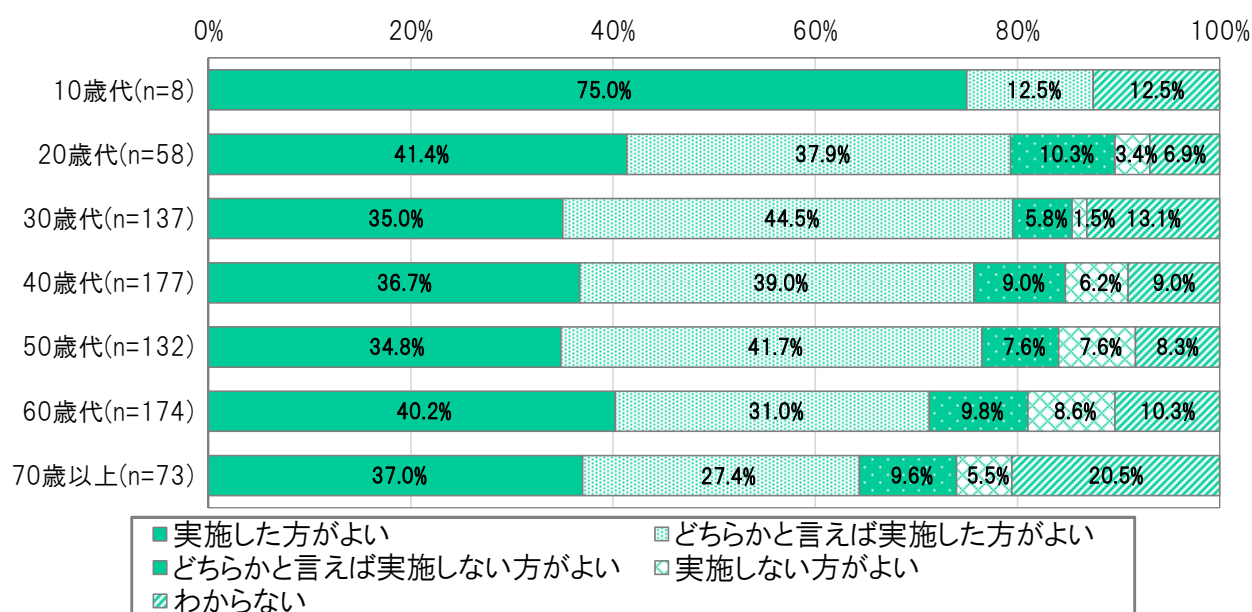
4) 施設の建替え，維持管理，運営に民間の資金やノウハウを活用する



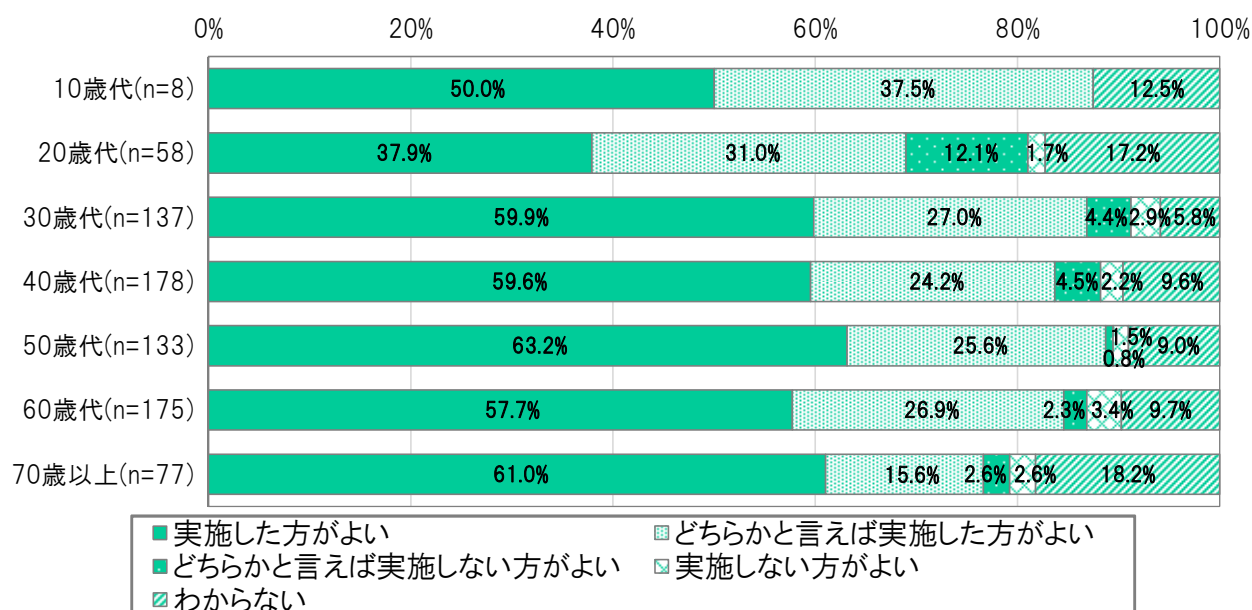
5) 今ある施設を、改修により長寿命化し、できるだけ長く使う



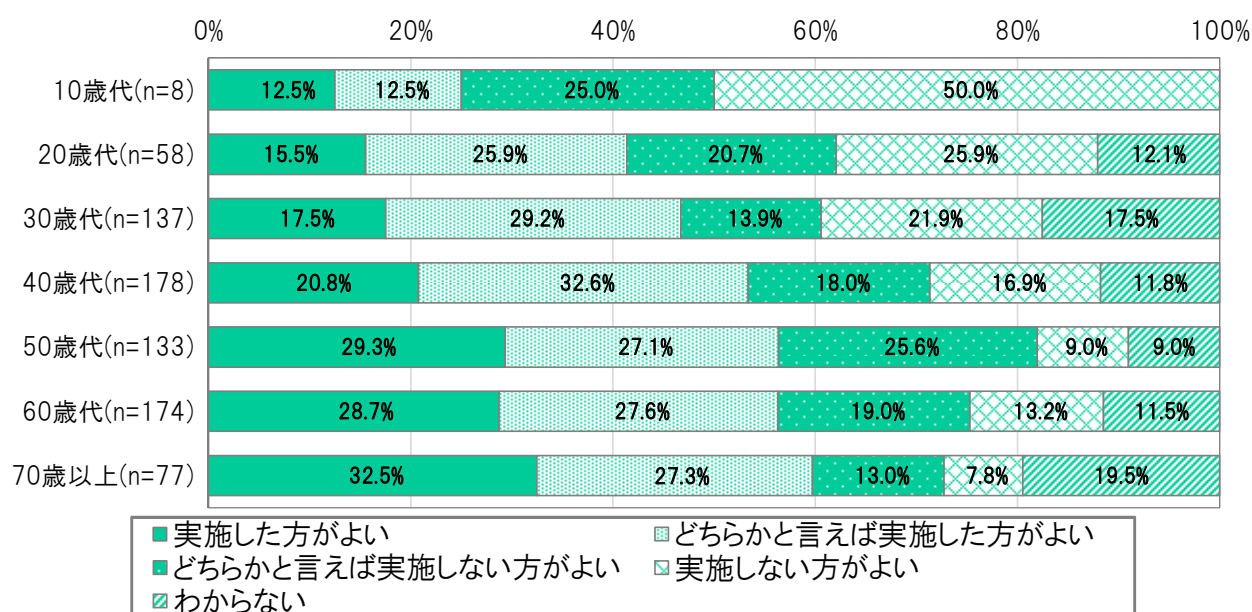
6) 近隣の自治体と共同で施設を利用する（相互利用，広域連携）



7) 利用していない市の土地や建物を売却または賃貸して収入を得る



8) 交流センターやスポーツ施設等の貸室の維持管理費は、利用者が負担する

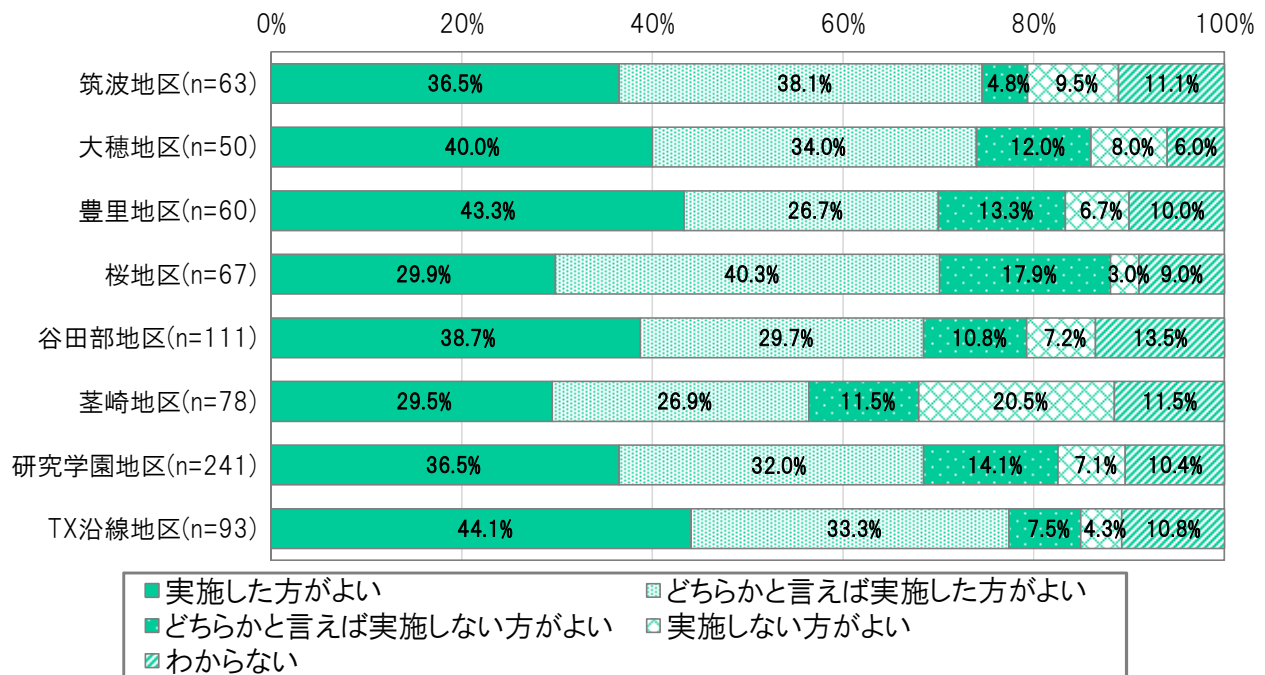


<結果の傾向>

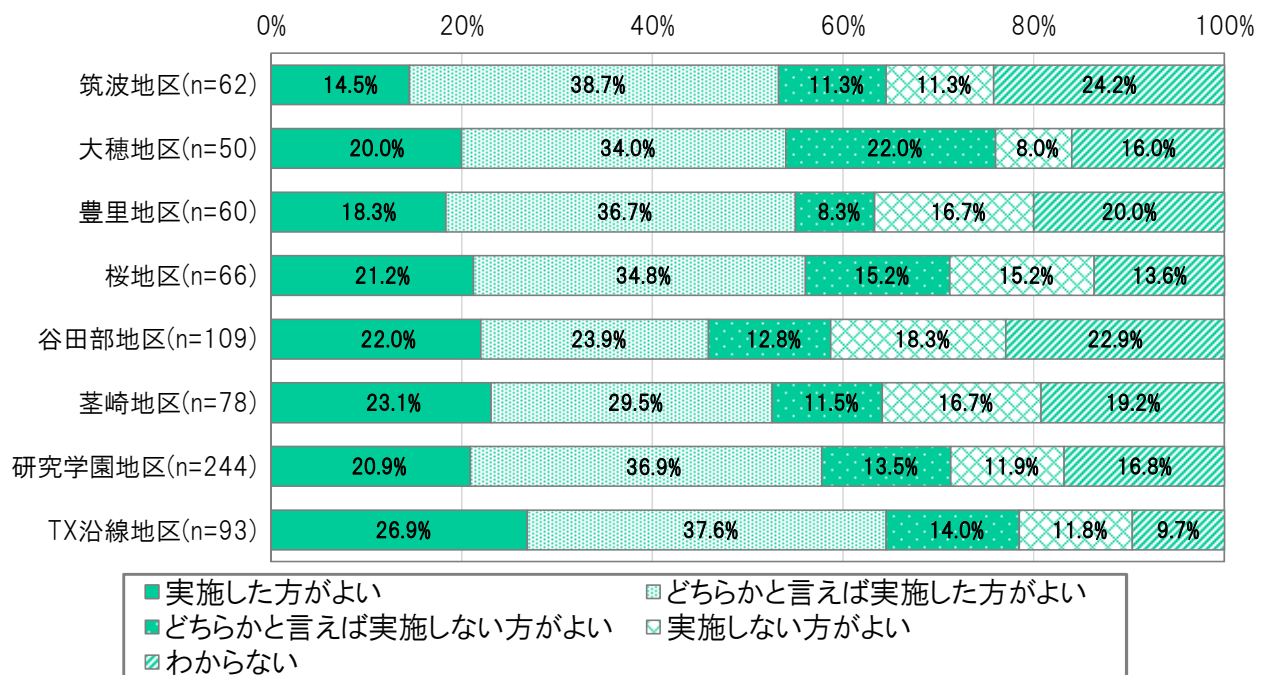
- ◆ 「6) 近隣の自治体と共同で施設を利用する（相互利用，広域連携）」という取組については，「実施した方がよい」と「どちらかと言えば実施した方がよい」の割合の合計が，年齢層が上がるにつれて低くなる傾向が見られます。
- ◆ 「8) 交流センターやスポーツ施設等の貸室の維持管理費は，利用者が負担する」という取組については，「実施した方がよい」と「どちらかと言えば実施した方がよい」の割合の合計が，年齢層が上がるにつれて高くなる傾向が見られます。

《居住地区別集計》

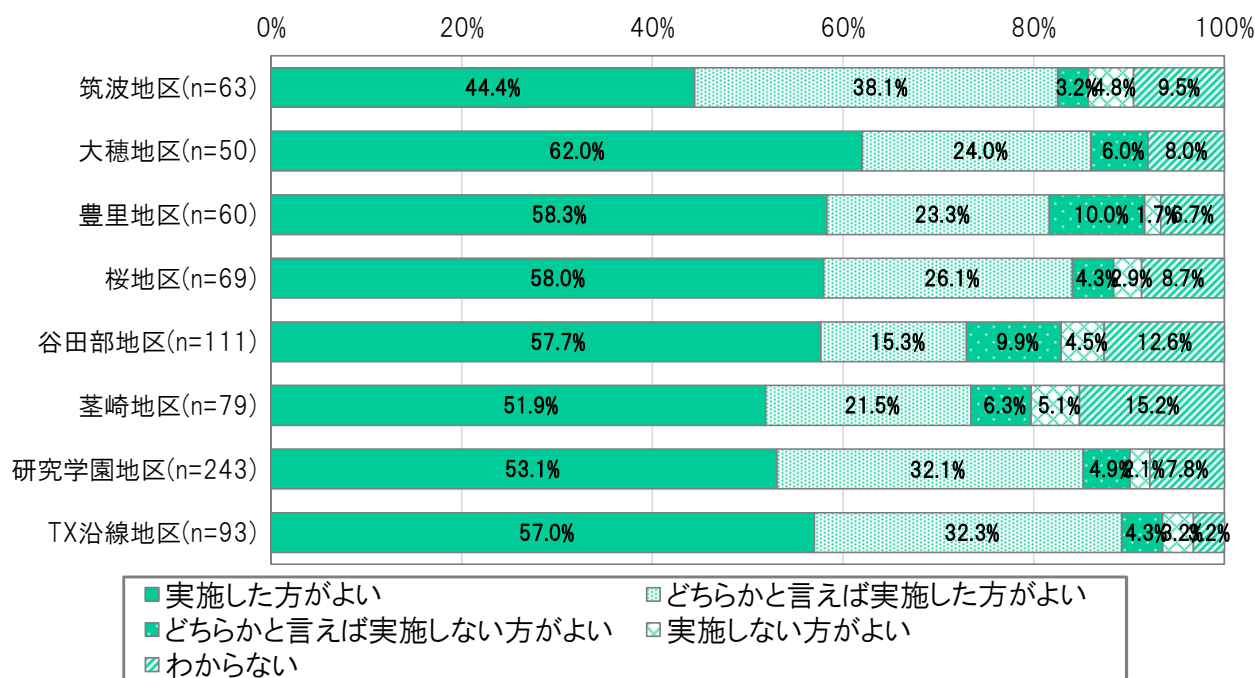
1) 今ある施設のサービスは残しつつ、複合化や統廃合により建物の数を減らす



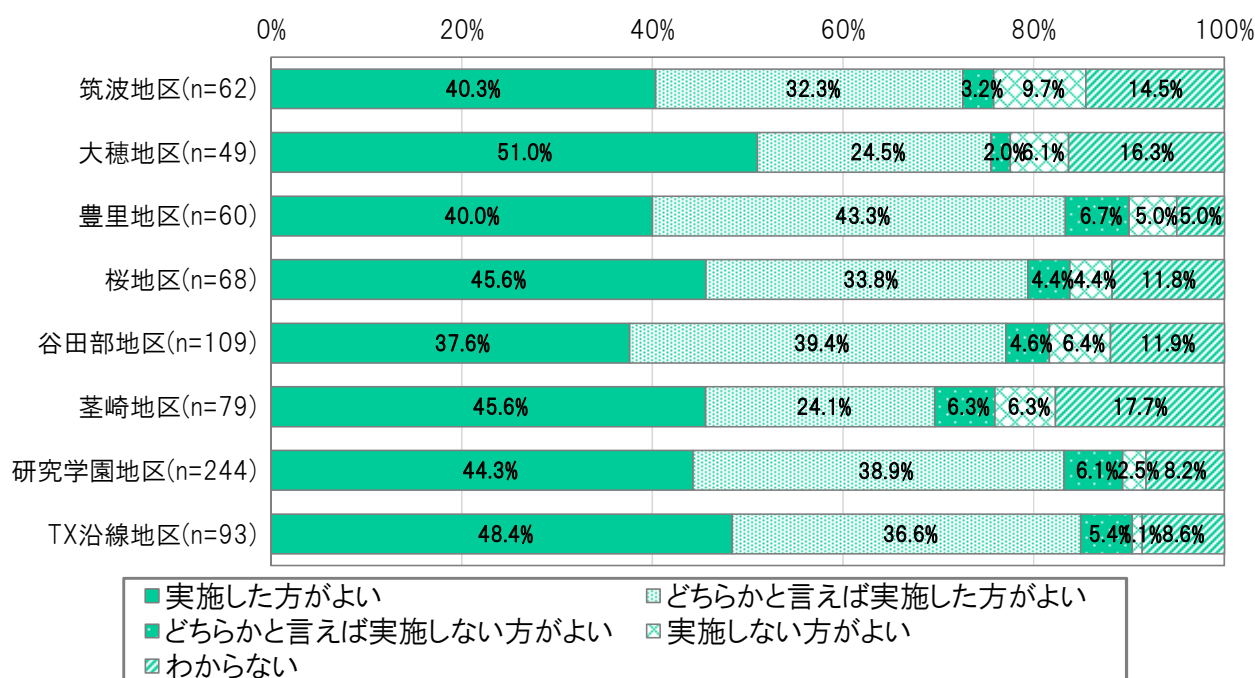
2) 市で施設を保有せず、民間の建物内でサービスを提供する



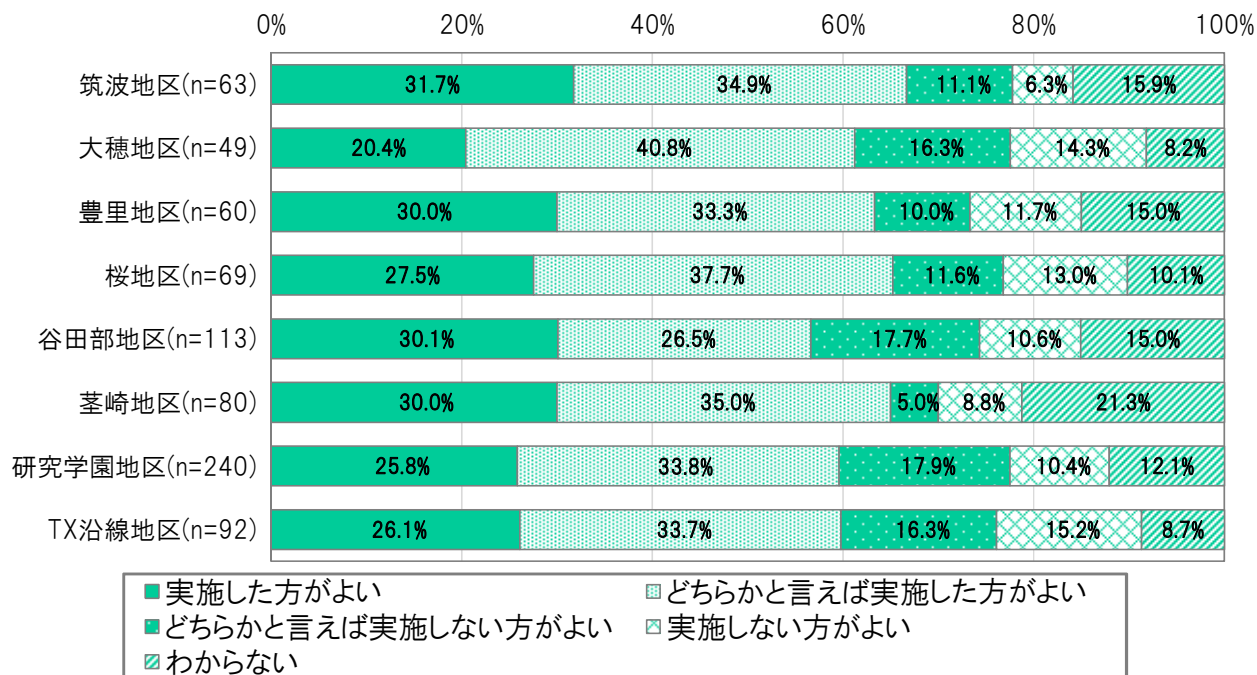
3) 需要の少ない施設の維持管理・運営にかけている費用を減らす



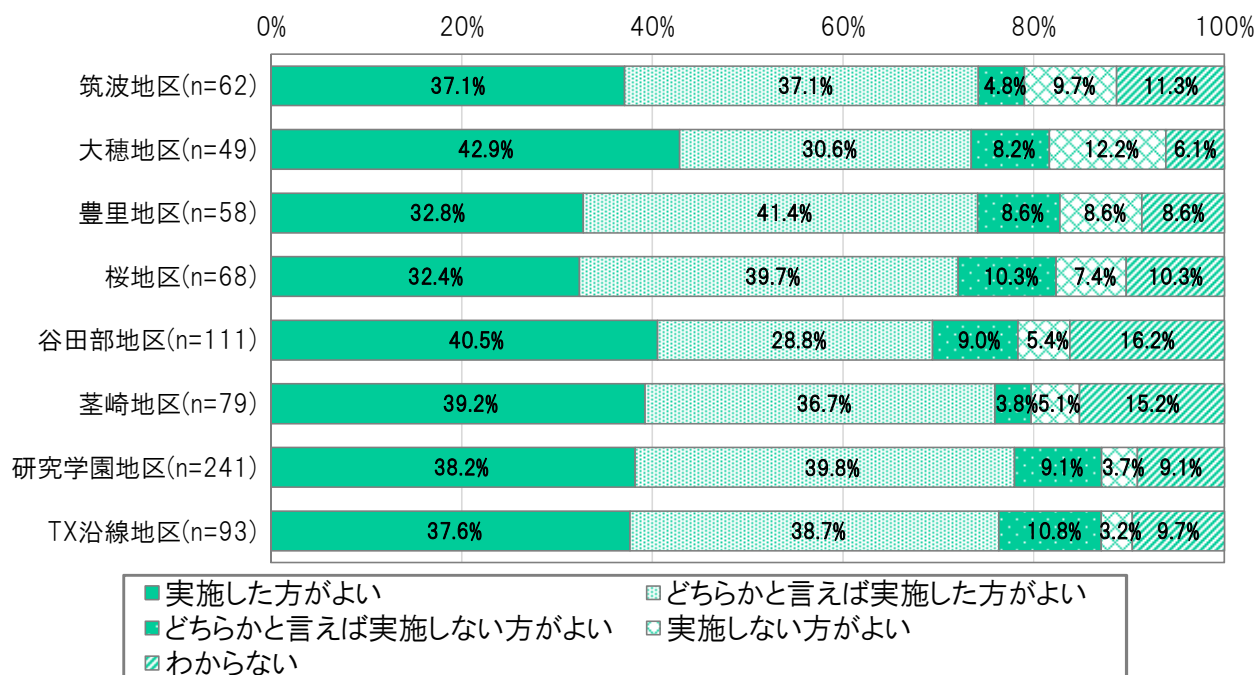
4) 施設の建替え、維持管理、運営に民間の資金やノウハウを活用する



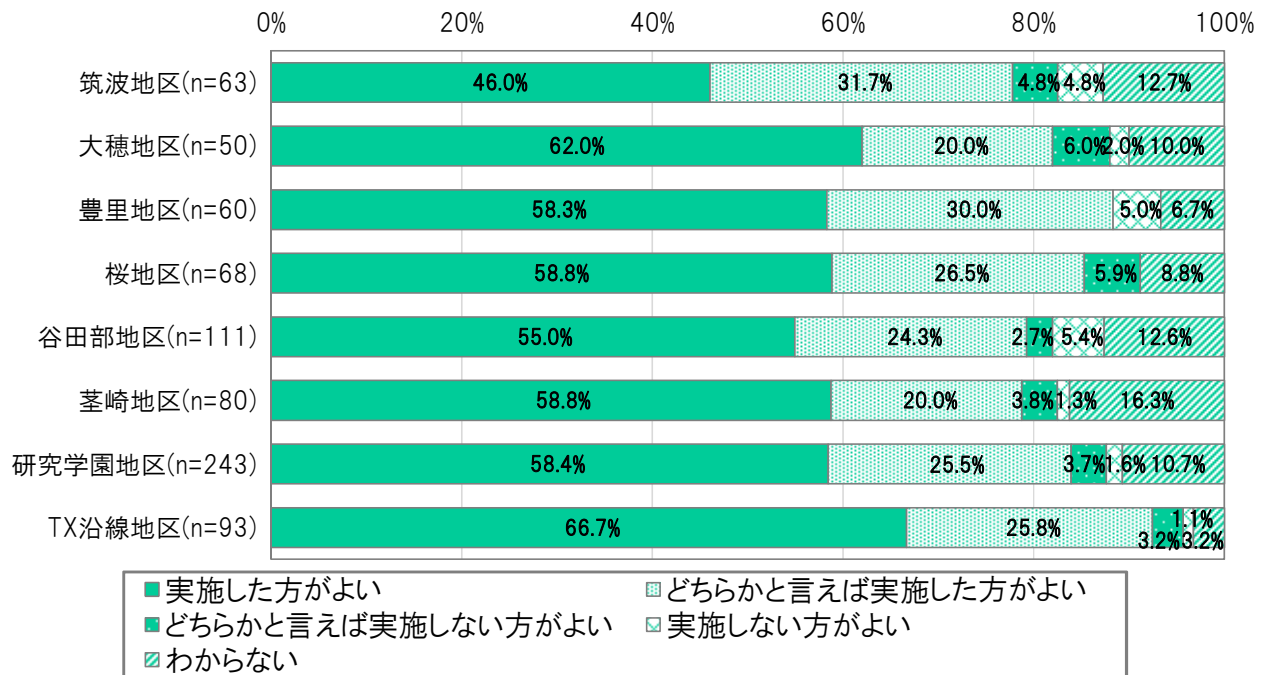
5) 今ある施設を、改修により長寿命化し、できるだけ長く使う



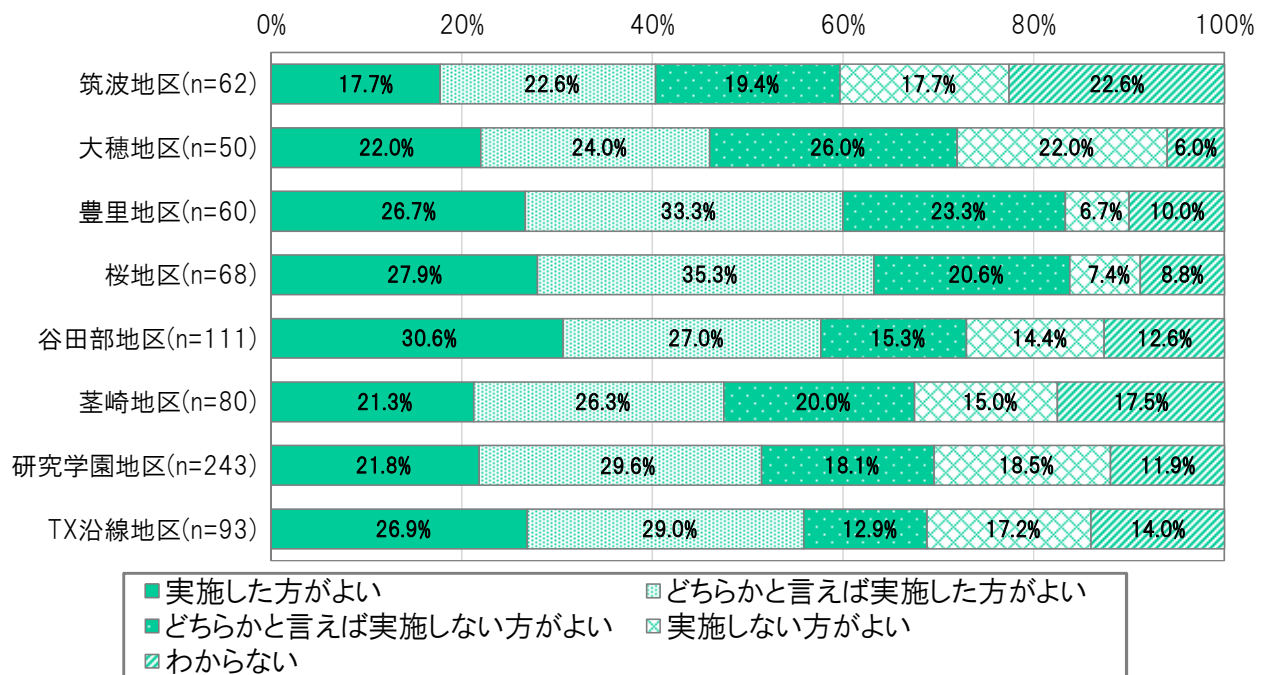
6) 近隣の自治体と共同で施設を利用する（相互利用，広域連携）



7) 利用していない市の土地や建物を売却または賃貸して収入を得る



8) 交流センターやスポーツ施設等の貸室の維持管理費は、利用者が負担する



＜結果の傾向＞

- ◆ 「１）今ある施設のサービスは残しつつ、複合化や統廃合により建物の数を減らす」という取組については、「実施した方がよい」と「どちらかと言えば実施した方がよい」を合わせた割合が、荃崎地区で約６割となっており、他の地区より低くなっています。
- ◆ 「４）施設の建替え、維持管理、運営に民間の資金やノウハウを活用する」という取組については、「実施した方がよい」と「どちらかと言えば実施した方がよい」を合わせた割合が、荃崎地区と筑波地区で約７割となっており、他の地区より低くなっています。
- ◆ 「８）交流センターやスポーツ施設等の貸室の維持管理費は、利用者が負担する」という取組については、「実施した方がよい」と「どちらかと言えば実施した方がよい」を合わせた割合が、筑波地区で約４割となっており、他の地区より低くなっています。

6. 自由意見

自由意見は、293 名の方から 417 件の回答を頂きました。

そのうち、公共施設、サービスと関連のあるご意見を抜粋して、「サービス全般について」、「建物・設備について」、「施設職員の対応について」、「施設の利用料金について」、「つくば市の公共施設に関する方針・政策について」、「その他ご要望、ご提案等」の 6 つの項目に分けて整理しました。

【サービス全般についてのご意見】（計 70 件）

芸術鑑賞サービスについて（7 件）	・ 芸術関連の公演を増やしてほしい ・ 講演情報などの広報をしっかりとってほしい など
生涯学習・教養（講座）サービスについて（10 件）	・ 生涯学習、教養講座などを受講しようとするが、曜日や時間が合わないので気軽に利用できない ・ 平日夜間や休日にも講座を開催してほしい ・ 講座の定員、開催回数が少なく、なかなか受講できない ・ 交流センターのサービスが施設によってバラツキがある など
図書サービスについて（18 件）	・ 図書館の蔵書を充実させてほしい ・ 図書館の開館時間を延長してほしい など
スポーツサービスについて（2 件）	・ 柔剣道場の「上履き使用禁止」を止めてほしい ・ 市のスポーツ施設なのに一部の団体の私物がロッカーを専断している現状を改善してほしい
レクリエーション・観光サービスについて（2 件）	・ サービスの内容などに関する広報が足りない ・ 小田城跡の資料館をもっと観光施設として PR してもよいと思う
子育て支援サービスについて（4 件）	・ 全般的に改善してほしい ・ 若い家族が安心して子育てができるようなサービスを充実させてほしい など
高齢者福祉サービスについて（4 件）	・ 高齢者の健康増進のための講座を開催してほしい ・ 介護サービスを充実させてほしい など
行政事務・手続きサービスについて（7 件）	・ 証明書を発行できる施設を増やしてほしい ・ 出張所や窓口センターの交通の便が悪い ・ 土曜日の市役所の運営を平日同様にしてほしい など
会議・貸室サービスについて（10 件）	・ 現状では交流センターの会議室等の予約を数ヶ月まとめてとる仕組みになっているが、非常に使いづらい ・ 貸室の予約の手続きに時間がかかりすぎている など
その他（6 件）	・ 公共サービスがファミリー向けのものに偏っている。 ・ 予算が無いのであれば、サービスは減らしていくべきである ・ 開館時間などをフルタイム労働者が利用しやすいような設定にほしい など

【建物、設備についてのご意見】（計 71 件）

施設の規模について（13 件）	・ 図書館が狭い ・ スポーツ施設（陸上競技場やテニスコートなど）が小さい など
設備について（12 件）	・ 閲覧席など、図書館の設備を充実させてほしい ・ 小中学校に冷房を付けてほしい ・ トイレが使いづらい など
建物、設備の老朽化について（12 件）	・ 交流センターの老朽化が目立つ ・ スポーツ施設の老朽化が目立つ など
アクセスについて（34 件）	・ 図書館の駐車場が広さ、料金設定ともに不便 ・ 駐車場がない施設が多い ・ 駐車場が狭い施設が多い ・ 車でしか利用できないような場所にある施設が多い など

【施設職員についてのご意見】（計 22 件）

対応について（17 件）	・ 民間施設では考えられない対応が目立つ（交流センター、窓口センター） ・ 勤務中の私語が多い ・ 市役所の窓口の職員は親切で丁寧だった など
仕事内容について（2 件）	・ 行政手続きを行う職員は仕事に責任を持ってほしい ・ 交流センターに館長は必要なのか、業務内容を見直す必要がある
その他（3 件）	・ 仕事内容に対して職員の数が多い など

【施設の利用料金についてのご意見】（計 13 件）

施設の利用料金について（13 件）	・ ウェルネスパークの利用料金が低い ・ 公共サービスは低料金であってほしい ・ 利用者が適正な金額を負担するべきである など
-------------------	---

【つくば市の公共施設に関する方針、政策についてのご意見】（計 72 件）

公共施設に関する今後の取組について（43 件）	・ 新規整備はせず、現在ある施設の改修や維持管理に財源を使ってはどうか ・ 利用率の低い施設は統合、集約を行ってはどうか ・ 積極的に民間活用によってコスト縮減を進めてはどうか ・ 民間活用も重要だがまずは業務効率化を図るべきである ・ 近隣自治体との共同利用が実現すれば便利になると思う ・ 遊休地等を売却し、その収入を施設の改修や維持管理の財源としてはどうか など
公共施設整備の方針等について（25 件）	・ 大型のスポーツ施設を整備してほしい ・ 市の中心部だけでなく、郊外部にも目を向けてほしい ・ 学校などの教育関連施設に重点的に投資するべきである ・ 子どもと高齢者のための施設を充実させてはどうか など
その他（4 件）	・ 市外から人をたくさん呼べるような施設があるとよい など

【その他公共施設に関するご意見，ご要望等】（123 件）

新たな施設整備について（41 件）	・ コンサートホールなど，大型の集客施設を整備してほしい ・ 健康維持のためのスポーツ施設を整備してほしい ・ 公園や児童館など，子どもが安全に遊べる施設を増やしてほしい ・ 駅に近い場所に保育所や託児所を整備して，待機児童をなくしてほしい ・ 防災性に留意して施設整備，インフラ整備を行ってほしい ・ 市民が誇れる施設を整備してほしい など
現状の改善策について（30 件）	・ 公共施設に関する情報を広く周知してはどうか ・ 街灯を増やしてほしい ・ 交通量が多い道路に歩道を整備してほしい など
その他（52 件）	・ 公共交通機関を充実させてほしい ・ 上郷高校の跡地はどう活用されるのか ・ 空き家の活用を検討してはどうか など

【その他のご意見】（46 件）

その他のご意見（46 件）	・ 公共施設をあまり利用しないので答えづらかった ・ 暮らしやすい街であってほしい など
---------------	---

卷末資料(調査票)

つくば市 公共施設に関する市民アンケート

《アンケートご協力のお願い》

皆様には、つくば市政に対して、日頃から深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

つくば市では、保有する公共施設の老朽化の進行や将来の人口減少、財政状況や市民ニーズの変化に対応し、必要な公共サービス・公共施設を維持していくために、「つくば市公共施設等資産マネジメント計画」の策定を進めています。そこでこの度、計画の策定に当たり市民の皆様のご意見をお伺いするため、本アンケートを実施いたします。

調査票は、住民基本台帳に記載された18歳以上の男女2,400人を無作為に選び、郵送させていただきます。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年6月

つくば市長 市原 健一

【ご記入に当たってのお願い】

1. 調査票は、あて名のご本人がご記入ください。（どなたかに代筆いただいても結構です。）それが無理な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
2. 設問には、当てはまる選択肢を「1つ」選んで番号に○印をつけるもの、また、当てはまる選択肢を「複数」選んで番号に○印をつけるものがありますので、案内にしたがってご回答ください。
3. 所要時間は、約15分です。
4. ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、6月28日（火）までに、切手を貼らずに郵便ポストに投かんしてください。
5. その他
 - ・お名前やご連絡先をご記入いただく必要はございません。
 - ※すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定できないことはもとより、他の目的には利用いたしません。
 - ・調査結果は、市ホームページで公表いたします。

＜お問合せ先＞

つくば市 財務部 管財課 公共施設マネジメント推進室
TEL 029-883-1111（代表）内線 2351
FAX 029-868-7548

※つくば市を8つのエリア（筑波地区、大穂地区、豊里地区、谷田部地区、桜地区、荃崎地区、研究学園地区、TX沿線地区）に分け、地区ごとに調査票を配布しています。

※返信用封筒の受取人あて先の下にある「バーコード」は、料金受取人払のため郵便局が使用するものです。個人を特定するためのものではありません。

アンケートに入る前に、つくば市の状況についてお伝えします

公共施設とは

公共施設には、建築物があるもの（公共建築物）と、建築物のないもの（駐車場など）があります。そのほか、インフラ施設（道路や下水道施設など）があります。

公共建築物の保有量（図1参照）

つくば市が保有する公共建築物は、495施設、1,302棟、延床面積の合計は64.4万㎡です。学校教育系施設（学校、給食センターなど）が最も多く、全体の46%を占めています。

老朽化の状況（図2、図3参照）

つくば市の公共建築物は現在、延床面積の割合で54%が築30年以上経過しています。10年後には、築30年以上の建築物が全体の76%を占めます。

特に、1974（昭和49）年度から1984（昭和59）年度までの11年間に、集中して整備してきました。

公共施設の更新費用（図4参照）

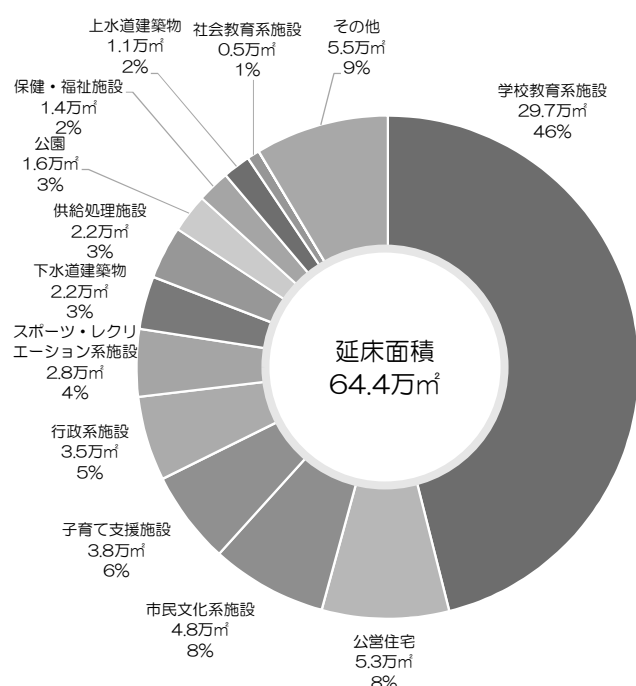
現在保有する公共建築物やインフラ施設を、将来にわたって同じ条件（面積や延長、構造等）で維持・更新していくと仮定して試算した場合、今後40年間の更新費用総額は8,525億円となります。

今後の課題

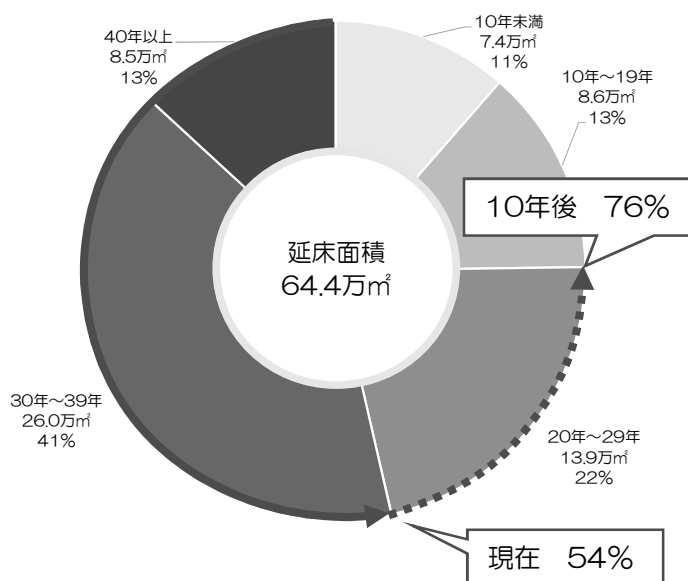
つくば市の公共施設は、老朽化の進行により、更新・修繕費用の増加が見込まれます。社会状況の変化（将来の人口減少や高齢化の進行）等により、限られた財源の中で、より効率的・効果的な公共施設の維持管理を行う必要があります。

そこで、「つくば市公共施設等資産マネジメント計画」を策定し、より効率的・効果的な公共施設の管理・運営により、必要な公共サービス・公共施設を維持していきます。

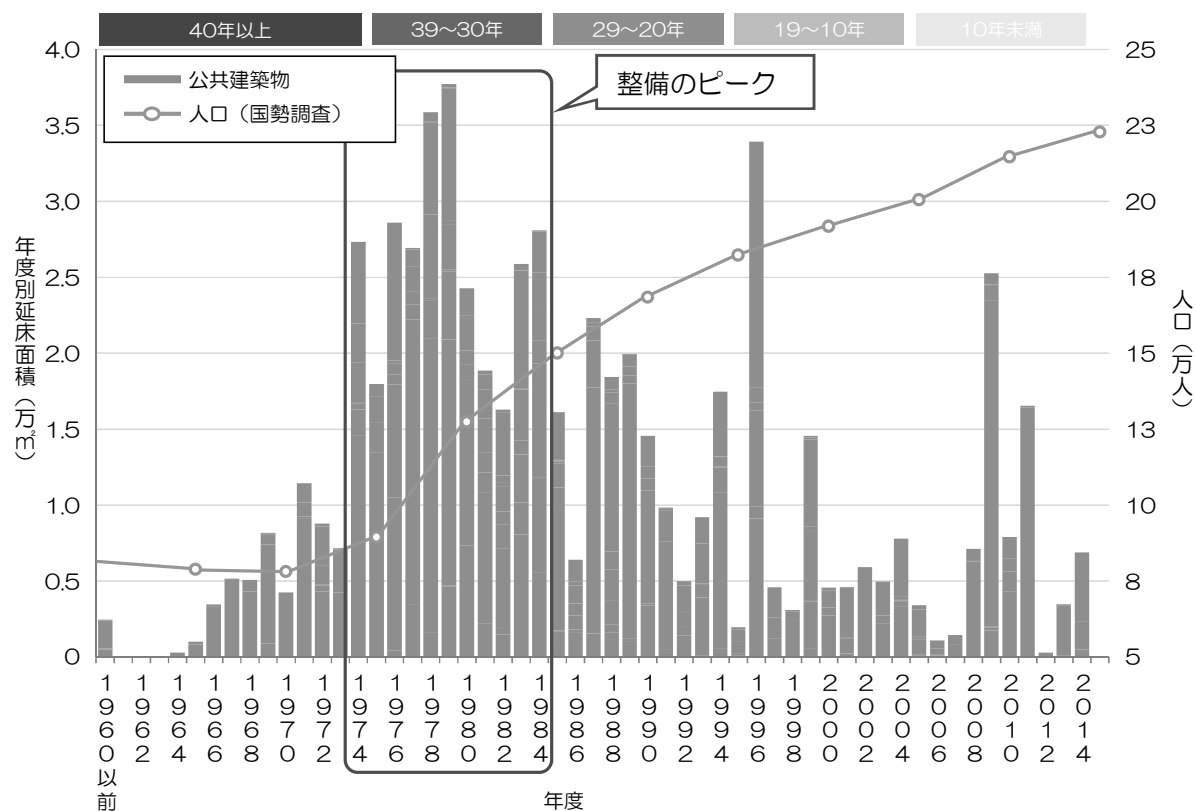
《図1 公共建築物の類型別延床面積の割合》



《図2 経過年数と延床面積の割合》



《図3 建築年度別整備状況》



《図4 公共施設の更新費用》

「公共施設等更新費用試算ソフト」（総務省）による試算

	40年間の更新費用		
	公共建築物	建築物以外 (管路など)	合 計
一般公共施設	2,713億円	—	2,713億円
インフラ施設	165億円	5,647億円	5,812億円
道 路	—	2,117億円	2,117億円
橋 り ょ う	—	145億円	145億円
上水道施設	50億円	1,333億円	1,383億円
下水道施設	115億円	2,052億円	2,167億円
合 計	2,878億円	5,647億円	<u>8,525億円</u>

「つくば市公共施設白書」を基に数値等のデータを掲載しています。

このアンケートでは、市内の公共施設を、そこで利用できるサービスの分野によって以下のように定義しています。これ以降、各設問にご回答いただく際は、以下のサービス一覧をご参照ください。

＜つくば市の公共施設で提供されている主なサービス一覧＞

サービス分野	サービスの説明	施設の例
A 芸術鑑賞	音楽、演劇などの文化・芸術作品の鑑賞	ノバホール、つくばカピオ、市民ホール 等
B 生涯学習・教養(講座)	交流センター講座・講習会の受講、郷土資料の見学	交流センター、歴史民俗資料館 等
C 図書	図書の閲覧、貸し出し	中央図書館、交流センター 等
D スポーツ	スポーツ施設の利用	総合体育館、野球場 等
E レクリエーション・観光	自然学習や観光	筑波ふれあいの里、豊里ゆかりの森 等
F 子育て支援	児童預かりや子育て関係の相談	児童館、子育て支援センター 等
G 高齢者福祉	高齢者の健康増進	老人福祉センター 等
H 保健衛生	健康診断、健康相談	保健センター 等
I 行政事務・手続き	証明書の交付、各種手続き	窓口センター、出張所 等
J 会議・貸室	会合などに利用できる部屋の使用	交流センター 等

※このアンケートは、不特定多数の市民の方がいつでも利用できる施設を対象としています。学校や保育所等、特定の方のみ利用する施設は除きます。

つくば市 公共施設に関する市民アンケート

設問には、当てはまる選択肢を「１つ」選んで番号に○印をつけるもの、また、当てはまる選択肢を「複数」選んで番号に○印をつけるものがありますので、案内にしたがってご回答ください。

つくば市の公共施設で提供されているサービスの利用状況についておたずねします

問1 以下の表をご参照の上、つくば市の公共施設で提供されているサービスの利用頻度を教えてください。また、利用しない場合はその理由について、最も当てはまるものをA～Jのサービス分野ごとに教えてください。

<○は1つ>

サービス分野	【利用頻度】					【利用しない理由】				
	1. よく利用する (月に数回程度)	2. たまに利用する (年に数回程度)	3. あまり利用しない (過去に数回程度)	4. 利用したことがない		1. サービスの内容や提供場所(施設)を知らないから	2. 利用する必要がないから	3. 利用時間, 料金などの条件が合わないから	4. 提供場所(施設)へアクセスしづらいから	5. 他の施設で提供されているサービスを利用しているから
A 芸術鑑賞	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5
B 生涯学習・教養(講座)	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5
C 図書	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5
D スポーツ	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5
E レクリエーション・観光	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5
F 子育て支援	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5
G 高齢者福祉	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5
H 保健衛生	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5
I 行政事務・手続き	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5
J 会議・貸室	1	2	3	4	⇒	1	2	3	4	5

3または4を選んだ方は、
【利用しない理由】をお答えください

問2 【問1でサービスを利用しない理由として「5」を選択した方のみご回答ください。】
実際に利用している「他の施設」とは、どのような施設ですか。問1で「5」を選択したサービス分野について教えてください。

＜問1で「5」を選択したサービス分野にのみ○を1つ＞

サービス分野	他の自治体の施設	民間の施設
A 芸術鑑賞	1	2
B 生涯学習・教養(講座)	1	2
C 図書	1	2
D スポーツ	1	2
E レクリエーション・観光	1	2
F 子育て支援	1	2
G 高齢者福祉	1	2
H 保健衛生	1	2
I 行政事務・手続き	1	2
J 会議・貸室	1	2

問3 問1のうち、最もよく利用するサービス分野をA～Jの中から1つ選び、下の解答欄にアルファベットを記入してください。

回答欄	
-----	--

問4 問3でお答えいただいた「最もよく利用するサービス分野」の利用方法では、個人利用と団体利用、どちらの方が多いですか。

＜○は1つ＞

1. 個人利用	2. 団体利用
---------	---------

問5 問3でお答えいただいた「最もよく利用するサービス分野」の利用目的では、講座・講習会等への参加とサークルや個人等の活動場所としての利用、どちらの方が多いですか。

＜○は1つ＞

1. 講座・講習会等への参加	2. サークルや個人等の活動場所としての利用
----------------	------------------------

つくば市の公共施設で提供されているサービスの提供主体についておたずねします

問6 つくば市のサービス提供への関わり方について、A～Jのサービス分野ごとにあなたの考えを教えてください。

＜○は1つ＞

サービス分野	つくば市が責任を持ってサービスを提供した方がよい	国や県、近隣の自治体と協同してサービスを提供した方がよい	サービスの一部を民間事業者等へ移管してもよい	全てのサービスを民間事業者等へ移管してもよい
A 芸術鑑賞	1	2	3	4
B 生涯学習・教養(講座)	1	2	3	4
C 図書	1	2	3	4
D スポーツ	1	2	3	4
E レクリエーション・観光	1	2	3	4
F 子育て支援	1	2	3	4
G 高齢者福祉	1	2	3	4
H 保健衛生	1	2	3	4
I 行政事務・手続き	1	2	3	4
J 会議・貸室	1	2	3	4

つくば市の公共施設で提供されているサービスの満足度についておたずねします

問7 サービスの満足度（利便性，料金設定，職員の対応など）について，A～Jのサービス分野ごとにあなたの考えを教えてください。

＜○は1つ＞

サービス分野	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
A 芸術鑑賞	1	2	3	4	5
B 生涯学習・教養(講座)	1	2	3	4	5
C 図書	1	2	3	4	5
D スポーツ	1	2	3	4	5
E レクリエーション・観光	1	2	3	4	5
F 子育て支援	1	2	3	4	5
G 高齢者福祉	1	2	3	4	5
H 保健衛生	1	2	3	4	5
I 行政事務・手続き	1	2	3	4	5
J 会議・貸室	1	2	3	4	5

問8 サービスの満足度をさらに向上させるために必要な取組について、A～Jのサービス分野ごとにあなたの考えを教えてください。

＜○は1つ＞

サービス分野	利用快適性を高める (職員の対応や館内 設備の充実など)	サービスの提供機会 (開館時間や講座開 催回数等)を増やす	他のサービスと 組み合わせる (サービスの複合)	わからない
A 芸術鑑賞	1	2	3	4
B 生涯学習・教養(講座)	1	2	3	4
C 図書	1	2	3	4
D スポーツ	1	2	3	4
E レクリエーション・観光	1	2	3	4
F 子育て支援	1	2	3	4
G 高齢者福祉	1	2	3	4
H 保健衛生	1	2	3	4
I 行政事務・手続き	1	2	3	4
J 会議・貸室	1	2	3	4

つくば市の公共施設で提供されているサービスの提供場所についておたずねします

問9 サービスの提供場所のイメージについて、A～Jのサービス分野ごとにあなたの考えを教えてください。ただし、公共施設は保有量を増やさず適正に配置することとします。

＜○は1つ＞

サービス分野	施設自体は小規模であっても、市内各地に分散して立地している方がよい	商業施設や病院など、周辺に多くの施設が集積している地域に立地している方がよい	広い駐車場が設置可能な土地がある郊外部に立地している方がよい
A 芸術鑑賞	1	2	3
B 生涯学習・教養(講座)	1	2	3
C 図書	1	2	3
D スポーツ	1	2	3
E レクリエーション・観光	1	2	3
F 子育て支援	1	2	3
G 高齢者福祉	1	2	3
H 保健衛生	1	2	3
I 行政事務・手続き	1	2	3
J 会議・貸室	1	2	3

公共施設に関する今後の取組について、あなたの考えをおたずねします

問 10 つくば市では将来、限られた財源のなかで、老朽化した公共施設の修繕・更新を行っていかねばならないという課題があります。その課題に対応するため、より効率的な公共施設の管理・運営について、様々な取組を検討する必要があります。そこで、以下の取組例について、あなたの考えを教えてください。

＜○は1つ＞

あなたの考え 取組例	実施した方がよい	どちらかと言えば実施した方がよい	どちらかと言えば実施しない方がよい	実施しない方がよい	わからない
1) 今ある施設のサービスは残しつつ、複合化や統廃合により建物の数を減らす	1	2	3	4	5
2) 市で施設を保有せず、民間の建物内でサービスを提供する	1	2	3	4	5
3) 需要の少ない施設の維持管理・運営にかけている費用を減らす	1	2	3	4	5
4) 施設の建替え、維持管理、運営に民間の資金やノウハウを活用する	1	2	3	4	5
5) 今ある施設を、改修により長寿命化し、できるだけ長く使う	1	2	3	4	5
6) 近隣の自治体と共同で施設を利用する（相互利用、広域連携）	1	2	3	4	5
7) 利用していない市の土地や建物を売却または賃貸して収入を得る	1	2	3	4	5
8) 交流センターやスポーツ施設等の貸室の維持管理費は、利用者が負担する	1	2	3	4	5

あなたご自身のことについておたずねします

問 11 性別を教えてください。

＜○は1つ＞

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問 12 年齢を教えてください。

＜○は1つ＞

- | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 |
| 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 | 7. 70 歳以上 | |

問 13 職業を教えてください。

＜○は1つ＞

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 会社員・公務員 | 2. 学生 | 3. パート・アルバイト |
| 4. 専業主婦（主夫） | 5. 農業 | 6. 自営業 |
| 7. 無職 | 8. その他（具体的に： | ） |

問 14 あなたの世帯には、（あなたも含めて）以下に当てはまる方はいますか。

＜○は当てはまるものすべて＞

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 6 歳未満の乳幼児 | 2. 小中学生 |
| 3. 65～74 歳の方 | 4. 75 歳以上の方 |
| 5. いずれにも当てはまらない | |

問 15 普段の生活で、よく利用する交通手段を教えてください。

＜○は当てはまるものすべて＞

- | | | |
|-------|--------------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車・オートバイ | 3. 自家用車 |
| 4. バス | 5. タクシー | 6. 電車 |

公共施設で提供されているサービスの現状や将来の公共施設管理等について、ご意見など
をご自由にお書きください

[illegible]

アンケートは以上です。
6月28日（火）までに郵便ポストに投かんしてください。
ご協力いただきまして、ありがとうございました。